

富田林市 若者の生活や意識に関する
アンケート調査
結果報告書

令和7年10月
富田林市

目次

I アンケート調査概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の対象者・期間・方法・回答状況	1
3 報告書の見方	1
4 全体から見える傾向.....	2
II アンケート調査結果	4
1 あなたのことについて	4
2 居場所や人とのかかわりについて	15
3 仕事・経済面について	23
4 結婚・出産について.....	31
5 地域・まちづくり・行政等について.....	49
III その他回答まとめ.....	54
IV 調査票.....	68

I アンケート調査概要

I 調査の目的

富田林市では、子どもや若者がいきいきと自分らしく暮らせる社会の実現に向け、「富田林市子ども計画」の策定をめざしています。

本調査は、市内に住む「若者世代（18～39歳までの方）」（無作為抽出）を対象に、みなさまの現状やご意見を幅広くお聞きし、計画に反映するために実施しました。

調査結果は、以下に活用していきます。

- ・「子ども計画※」の策定に向けた参考資料

※「子ども計画」とは子ども基本法に基づき、子ども大綱等を勘案し、各法令等に基づく子どもに関する計画等を一体のものとして策定する総合的な子ども施策を定める計画のこと。

2 調査の対象者・期間・方法・回答状況

項目	若者の生活や意識に関するアンケート調査
対象者	富田林市内在住の若者世代（18～39歳までの方）（無作為抽出）
期間	令和7年7月31日（木）～8月15日（金）
送付方法	はがきによる郵送
回答方法	WEBによる回答
配布数	5,000件
有効回収数	800件
有効回収率	16.0%

3 報告書の見方

◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。

◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いものを**第1位**・**第2位**・**第3位**に網掛けをしています。

◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、コメント対象外としています。

4 全体から見える傾向

相談先や安心できる居場所は、自己肯定感や幸福度と関係している

悩みや心配ごとの相談相手として、全体で「家族・親族」が68.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が49.0%となっていました（P21）。安心できる居場所としても「家庭」が71.3%と最も重要視されていました（P15）。

しかし、自己肯定感や幸福度が低下するにつれて、相談先の「家族・親族」の割合が低下し、「誰にも相談しない・相談する人がいない」の割合が高くなる傾向がみられました（P22）。

また、安心できる居場所についても、自己肯定感や幸福度の低下に伴い、「家庭」の割合が低くなっており、「自分のことが好き」や「今、幸せだと思う」について「そう思わない」と回答した層では、「安心できる居場所はない」の割合が他の区分と比べて高くなる傾向がみられました（P17）。

経済的不安が将来への希望を低下させる

悩みや心配ごととして、「お金のこと」が59.0%と最も高く、次いで「就職や仕事のこと」（47.8%）、「自分の将来のこと」（43.3%）と、経済・将来への不安が顕著でした（P19）。

また、現在の経済状況の認識は、若者の将来への希望と関わりがあります。経済状況が「苦しい」と感じている層では、自分の将来に明るい希望を持っていると『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が33.0%となっており、他の区分と比べて低い数値となっていました（P26）。

このことから、若者が将来に対して明るい希望を持つためには、まず経済的な基盤の安定が不可欠であると言えます。

結婚・出産への意欲は高いが、希望の実現には様々な課題がある

将来の結婚願望について、「結婚したい」が33.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば結婚したい」が29.4%となっていました（P32）。「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」人が現在、結婚していない理由について、「よい相手にめぐり合わない・めぐり会う機会がない」（48.2%）のほか、「経済的な余裕がない」（27.0%）、「今は仕事（学業）に打ち込みたい」（20.9%）、「自由さや気楽さを失いたくない（時間やお金、趣味などの面を含む）」（20.9%）が高くなっていました（P36）。

理想のこどもの人数は「2人」が46.3%と最も高くなっていました（P40）。理想の子どもの人数を持ってない（望めない）理由として、「子育てや教育にお金がかかる」が82.9%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が57.9%となっていました（P45）。

結婚や出産を望む方が実現しやすい環境づくりとして、最も必要な支援は「結婚・出産後も働きやすい職場づくり」（63.8%）であり、次いで「妊娠・出産・不妊治療等に関する経済的支援」（45.9%）が求められています（P47）。

このことから、若者が結婚や出産に対する希望は一定みられるものの、経済的負担や仕事との両立などが、それを実現する上での課題となっていることがわかります。

総括（結果を踏まえて）

調査の結果、若者の相談できる相手や安心できる居場所の存在が、自己肯定感や幸福度の向上と関係することがわかりました。また、経済状況や仕事、将来への不安を抱える若者が多く、結婚・出産に係る意向にも影響しています。

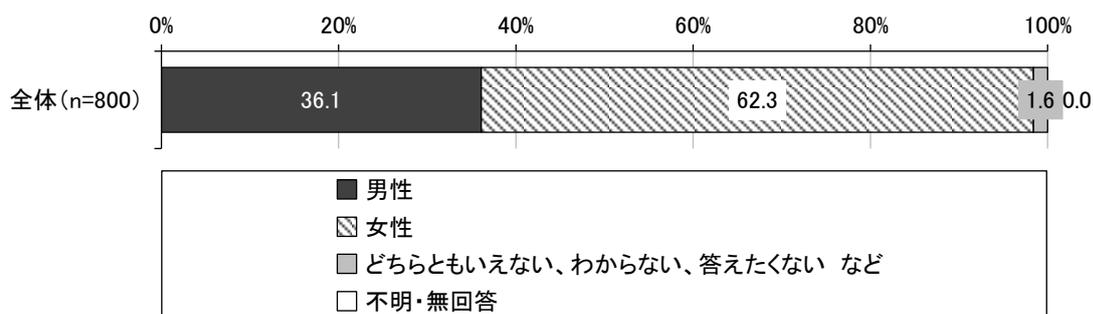
以上を踏まえて、若者が安心して幸せに過ごすためには、主体性を尊重しつつ、自尊感情を育てていくとともに、相談先や居場所の提供を行っていくことが重要になると考えます。また、若者が将来に希望を持てるよう、経済的支援制度の強化や周知、ワークライフバランスの推進に向けた周知啓発など、経済的・精神的負担の軽減に向けた取組も必要となります。

Ⅱ アンケート調査結果

Ⅰ あなたのことについて

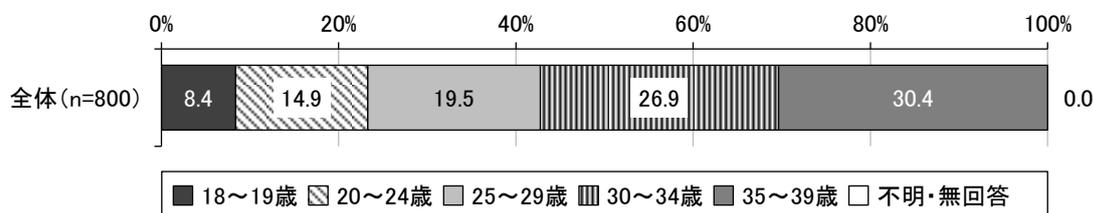
問Ⅰ あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

「男性」が36.1%、「女性」が62.3%、「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」が1.6%となっています。



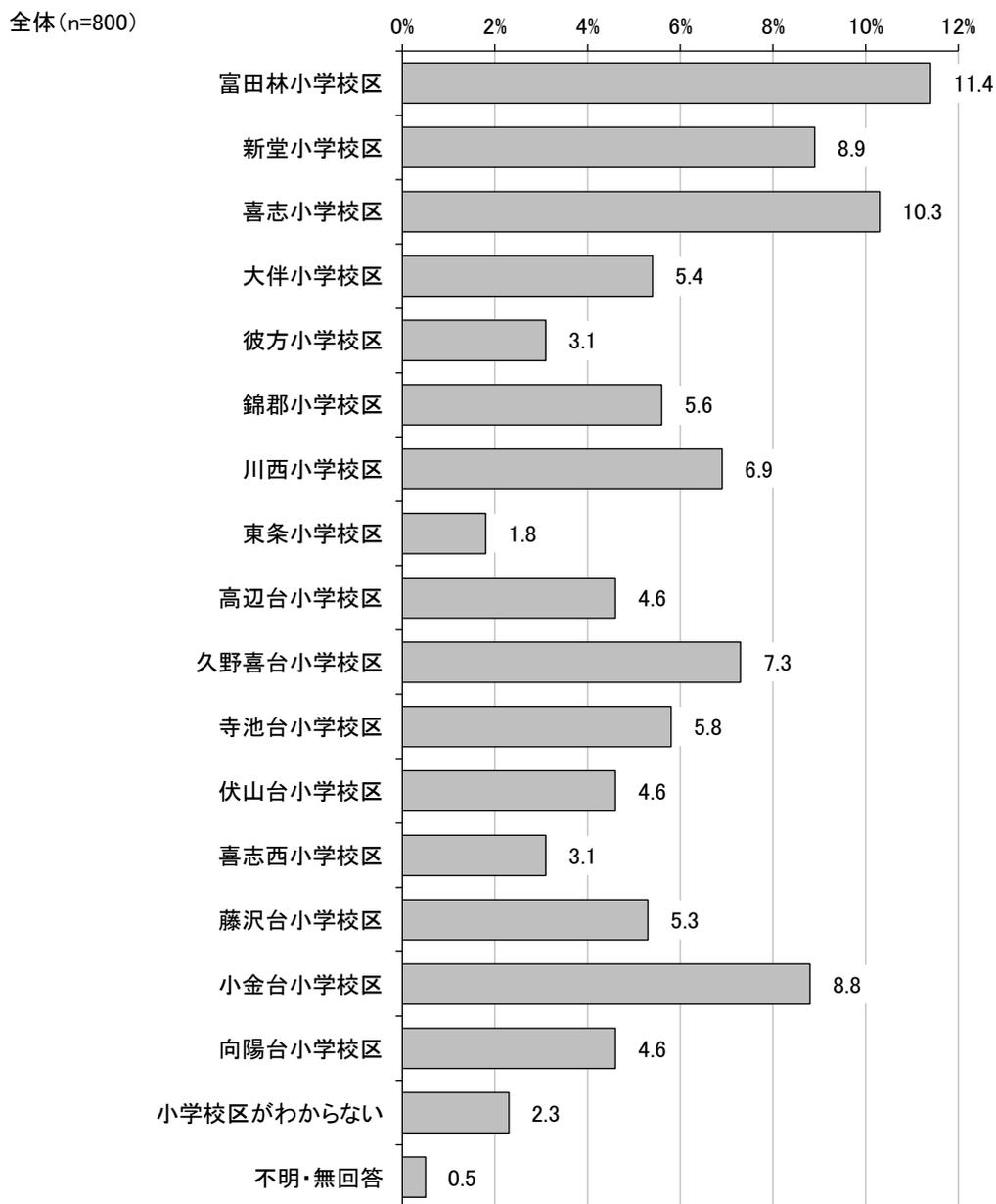
問Ⅱ あなたの年齢(令和7年7月1日時点)をお答えください。(1つを選択)

「35～39歳」が30.4%と最も高く、次いで「30～34歳」が26.9%、「25～29歳」が19.5%となっています。



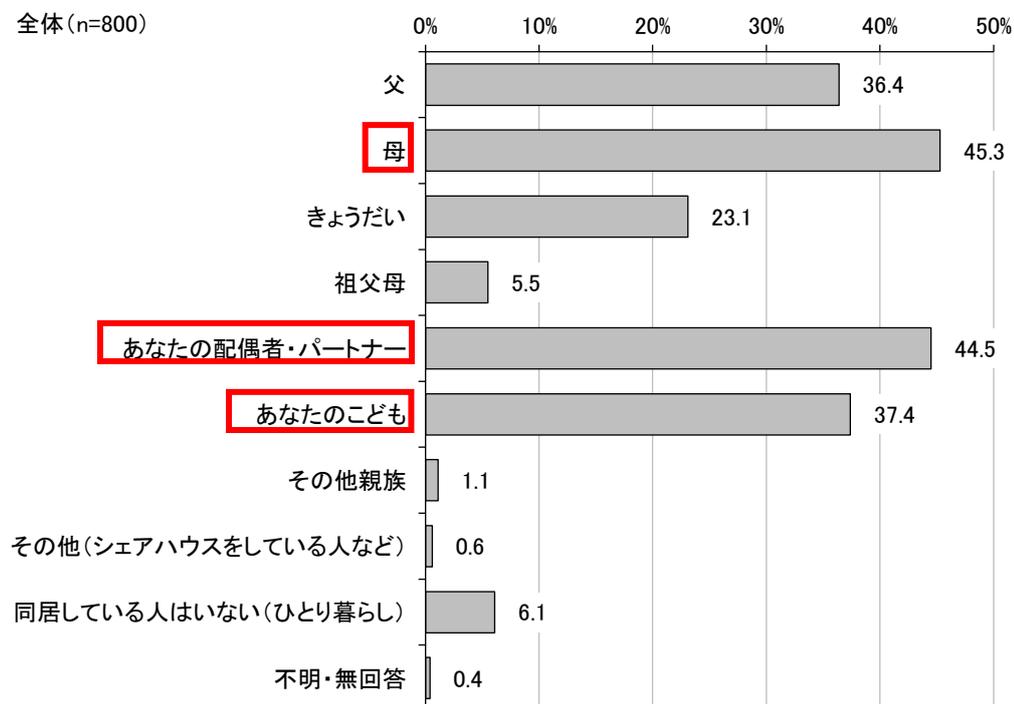
問3 あなたのお住まいの小学校区をお答えください。(1つを選択)

「富田林小学校区」が11.4%と最も高く、次いで「喜志小学校区」が10.3%、「新堂小学校区」が8.9%となっています。



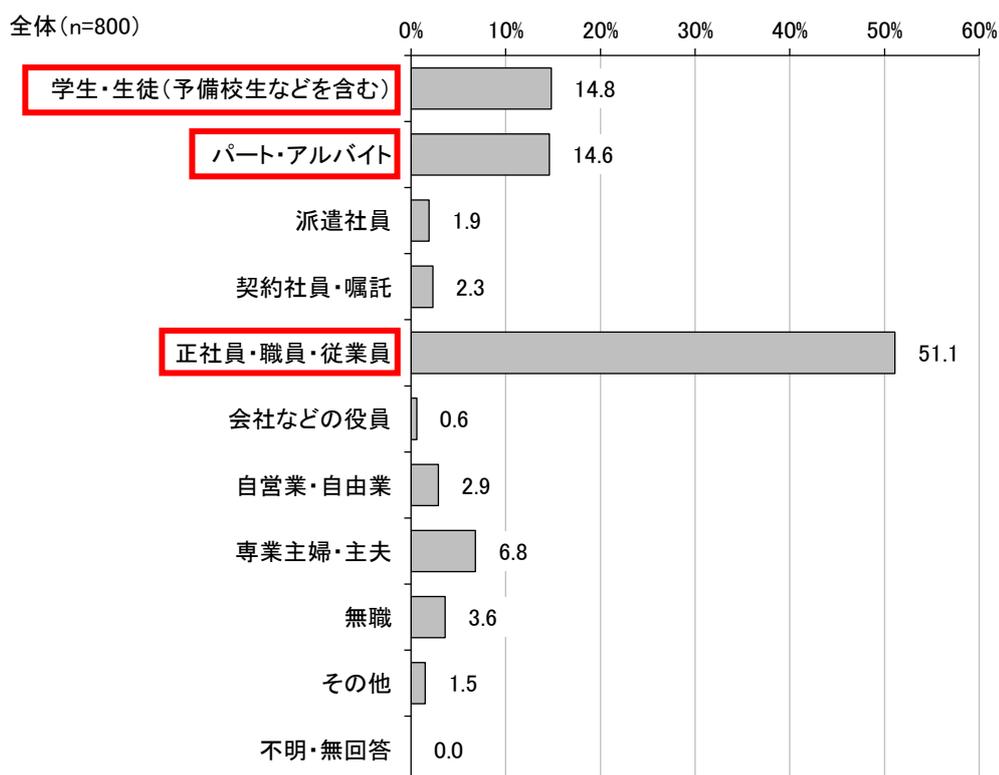
問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。(あてはまる番号すべてを選択)

「母」が45.3%と最も高く、次いで「あなたの配偶者・パートナー」が44.5%、「あなたの子ども」が37.4%となっています。



問5 あなたの現在について、あてはまるものをお答えください。(1つを選択)

「正社員・職員・従業員」が51.1%と最も高く、次いで「学生・生徒(予備校生などを含む)」が14.8%、「パート・アルバイト」が14.6%となっています。



問1 性別、問2 年齢別×問5 現在の就労形態

性別でみると、いずれも「正社員・職員・従業員」が最も高くなっています。女性とその他※では男性よりも「パート・アルバイト」の割合が17.0ポイント以上高い一方、男性では女性とその他よりも「正社員・職員・従業員」の割合が22.0ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、25～29歳は「正社員・職員・従業員」の割合が67.9%と、他の年齢と比べて高くなっており、25歳以降は年齢が上がるほど「パート・アルバイト」の割合が高くなっています。

単位:%		ど学生・生徒(予備校生を含む)	パート・アルバイト	派遣社員	契約社員・嘱託	正社員・職員・従業員	会社などの役員	自営業・自由業	専業主婦・主夫	無職	その他	不明・無回答
全体(n=800)		14.8	14.6	1.9	2.3	51.1	0.6	2.9	6.8	3.6	1.5	0.0
性別	男性(n=289)	15.6	3.5	1.0	2.1	65.4	1.0	4.8	0.7	3.5	2.4	0.0
	女性(n=498)	14.1	20.9	2.4	2.4	43.2	0.4	1.8	10.2	3.6	1.0	0.0
	どちらともいえない、わからない、答えたくない など(n=13)	23.1	23.1	0.0	0.0	38.5	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
年齢	18～19歳(n=67)	91.0	1.5	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0
	20～24歳(n=119)	40.3	5.9	2.5	1.7	41.2	0.0	1.7	0.8	4.2	1.7	0.0
	25～29歳(n=156)	1.3	13.5	1.3	2.6	67.9	0.0	1.9	3.8	5.1	2.6	0.0
	30～34歳(n=215)	2.8	16.7	1.9	3.3	54.9	1.4	2.8	11.2	3.7	1.4	0.0
	35～39歳(n=243)	0.4	21.4	2.5	2.1	55.1	0.8	4.9	9.5	2.1	1.2	0.0

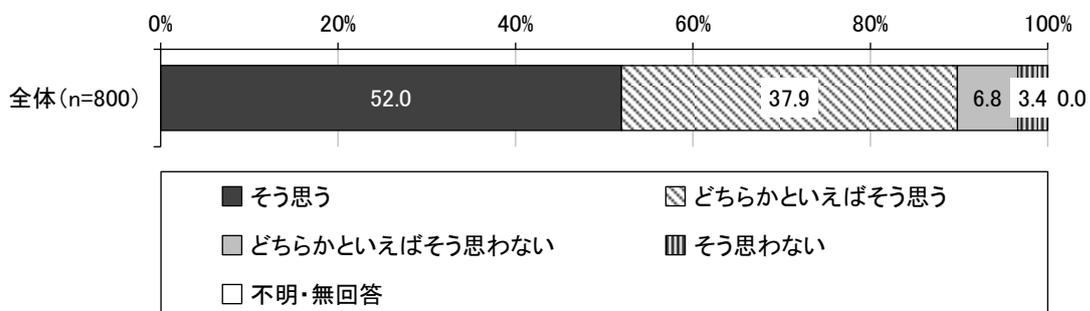
※その他…「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」

問8 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

(①～⑥のそれぞれについて、1つを選択)

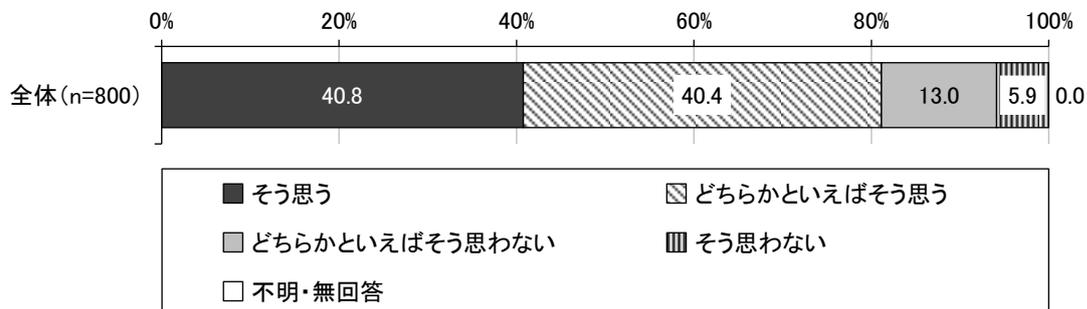
①身体的に健康である

「そう思う」が52.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が37.9%、「どちらかといえばそう思わない」が6.8%となっています。



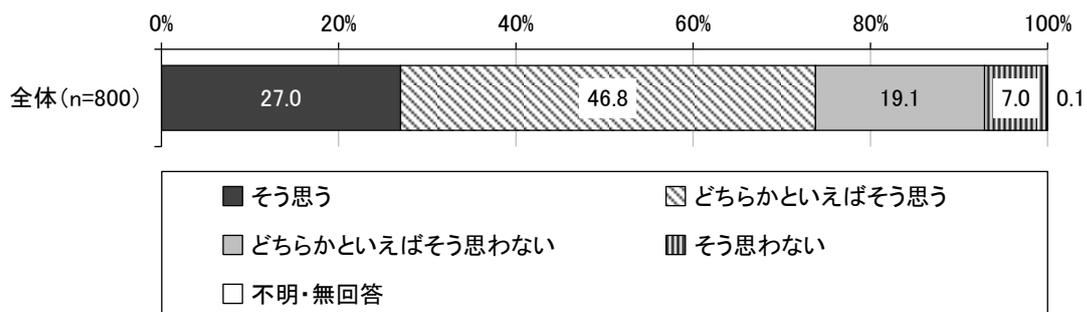
②精神的に健康である

「そう思う」が40.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が40.4%、「どちらかといえばそう思わない」が13.0%となっています。



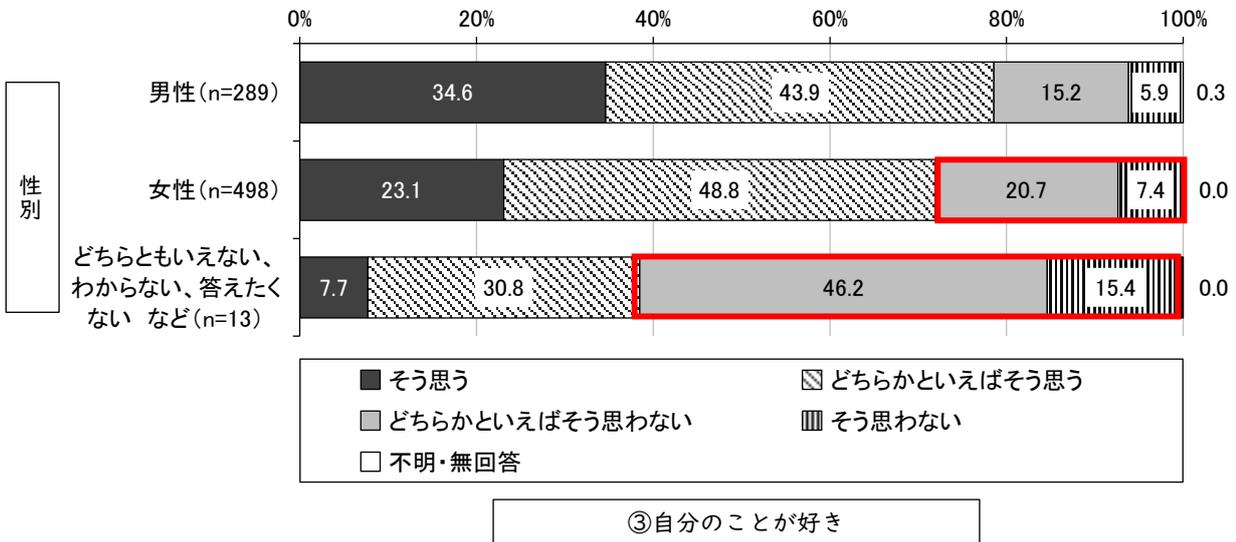
③自分のことが好き

「どちらかといえばそう思う」が46.8%と最も高く、次いで「そう思う」が27.0%、「どちらかといえばそう思わない」が19.1%となっています。



問1 性別×問8 ③自分のことが好き

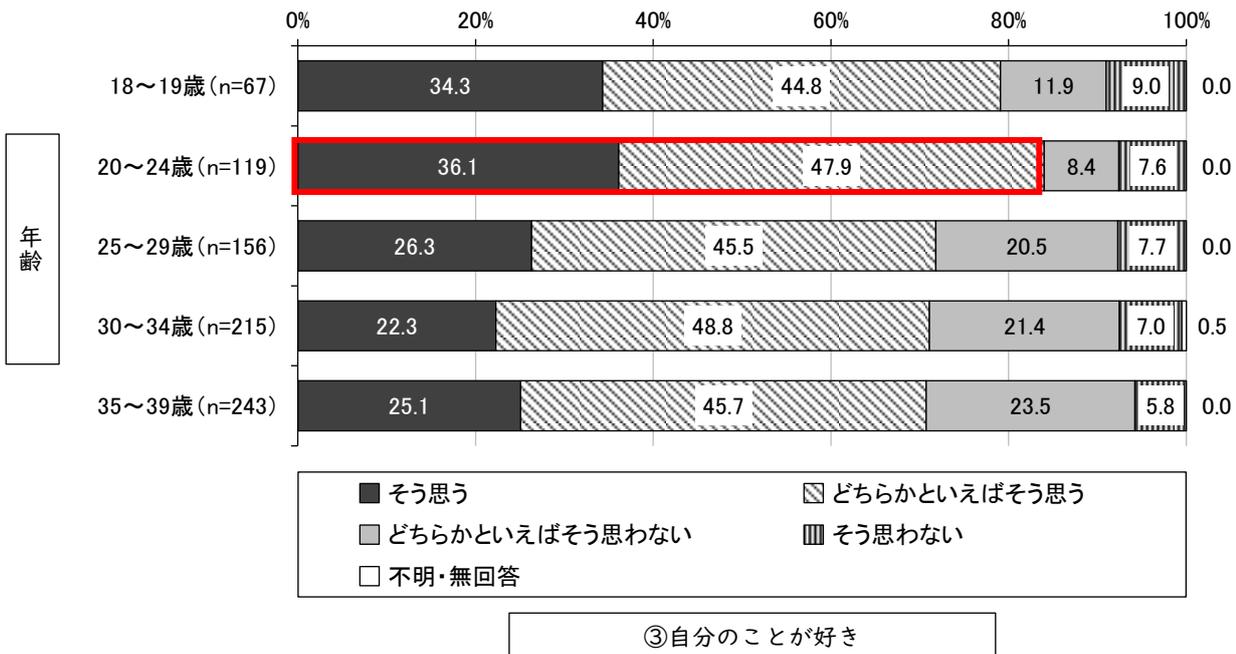
性別でみると、男性、女性ともに「どちらかといえばそう思う」、その他※では「どちらかといえばそう思わない」が最も高くなっています。自分のことが好きだと『思わない』（そう思わない+どちらかといえばそう思わない）の割合では、女性が男性よりも7.0ポイント高く、その他が男性と女性よりも33.0ポイント以上高くなっています。



※その他…「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」

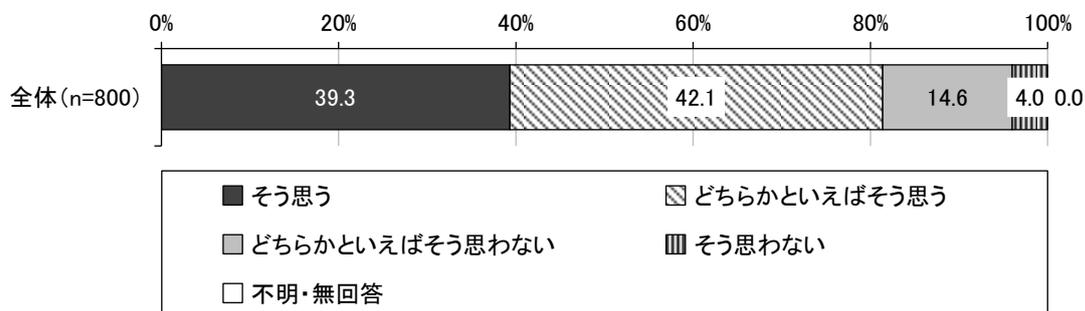
問2 年齢別×問8 ③自分のことが好き

年齢別でみると、すべての年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。20～24歳では、自分のことが好きだと『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が84.0%と、他の年齢と比べて高くなっています。



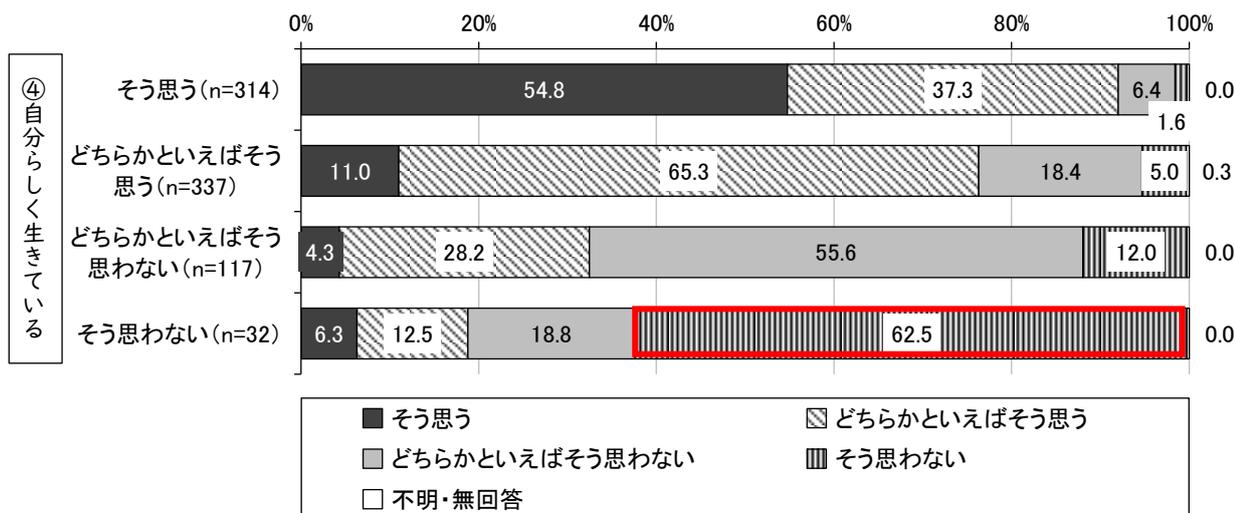
④自分らしく生きている

「どちらかといえばそう思う」が42.1%と最も高く、次いで「そう思う」が39.3%、「どちらかといえばそう思わない」が14.6%となっています。



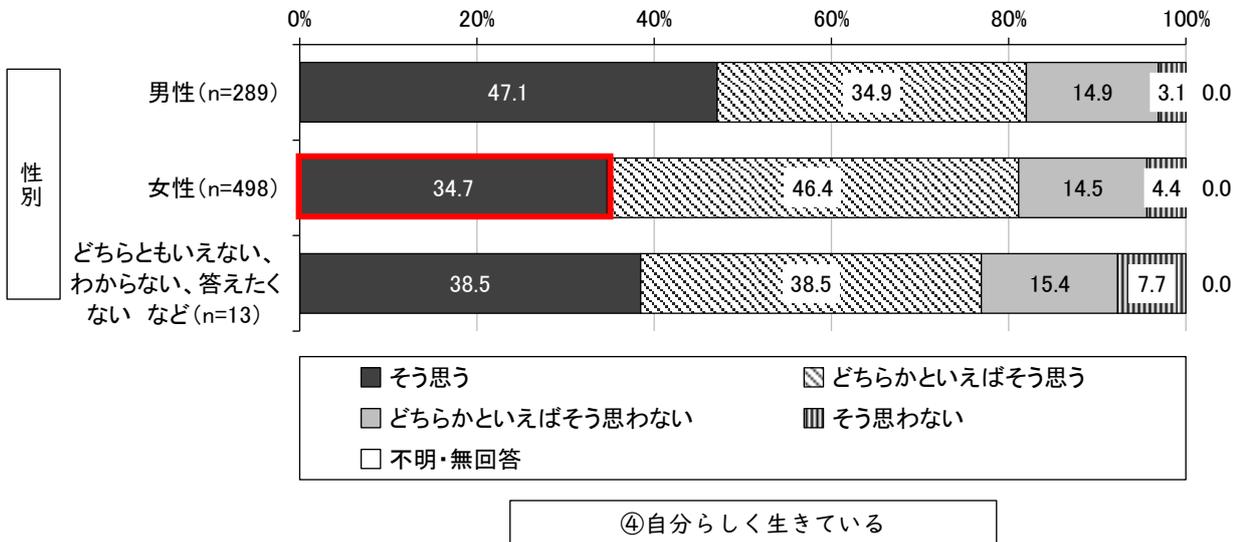
問8 ④自分らしく生きている × 問8 ③自分のことが好き

自分らしく生きているかで見ると、そう思わない人ほど、自分のことが好きだと『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっており、自分のことが好きと「そう思わない」が62.5%と、他の区分と比べて高くなっています。



問1 性別×問8 ④自分らしく生きている

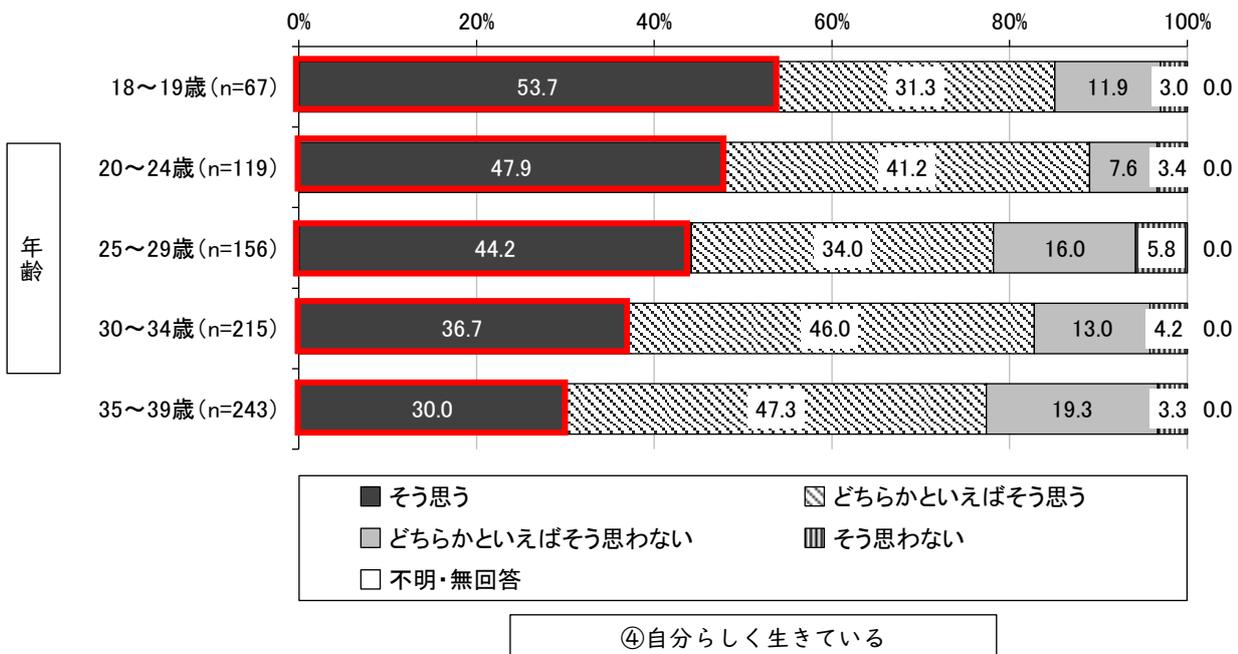
性別で見ると、男性では「そう思う」、女性では「どちらかといえばそう思う」、その他※では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。女性の「そう思う」の割合が、他の区分よりも低くなっています。



※その他…「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」

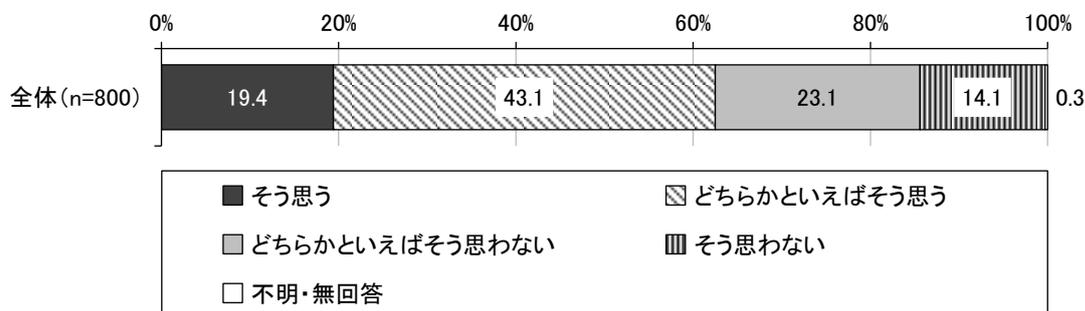
問2 年齢別×問8 ④自分らしく生きている

年齢別で見ると、年齢が上がるほど、「そう思う」の割合が低くなっています。



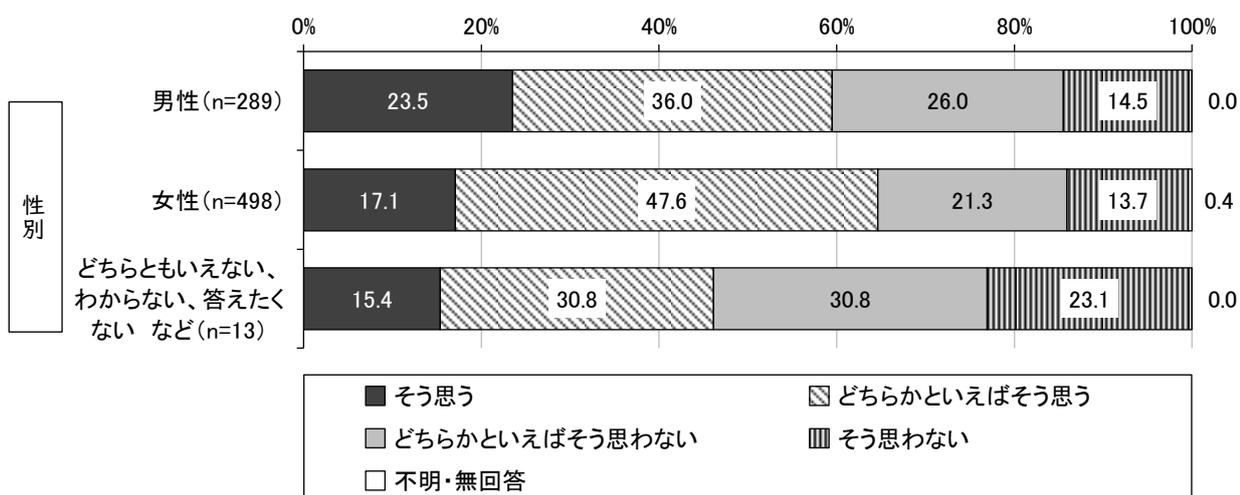
⑤自分の将来について明るい希望を持っている

「どちらかといえばそう思う」が43.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が23.1%、「そう思う」が19.4%となっています。



問1 性別×問8 ⑤自分の将来について明るい希望を持っている

性別でみると、男女では『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）が過半数、その他※では『思わない』（そう思わない+どちらかといえばそう思わない）が過半数です。

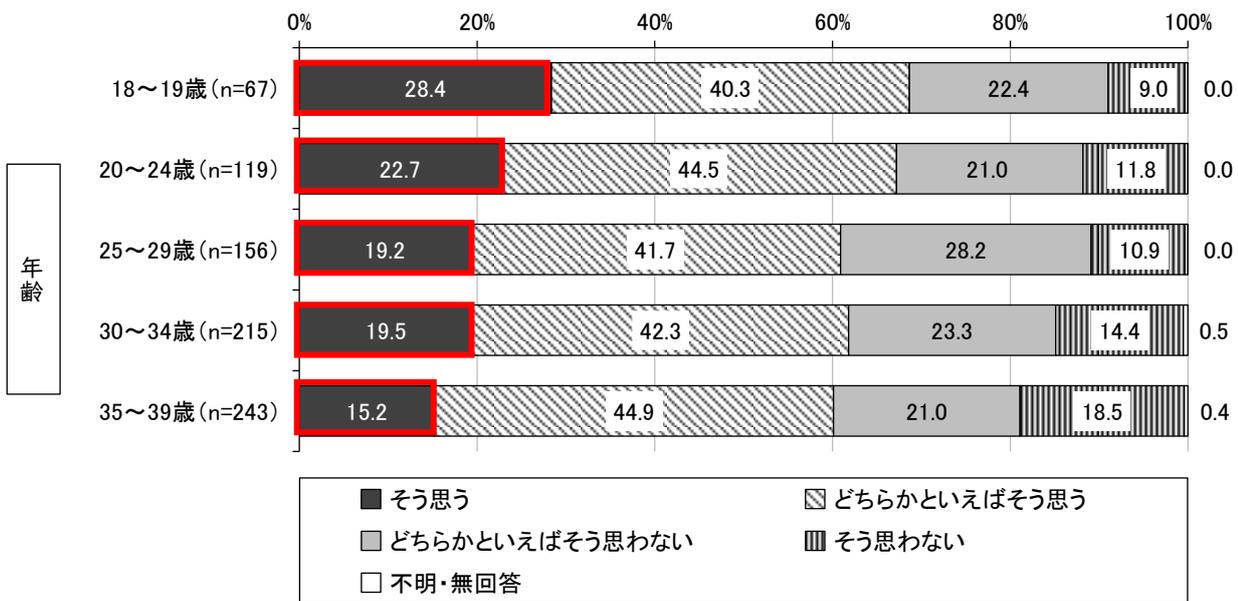


⑤自分の将来について明るい希望を持っている

※その他…「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」

問2 年齢別×問8 ⑤自分の将来について明るい希望を持っている

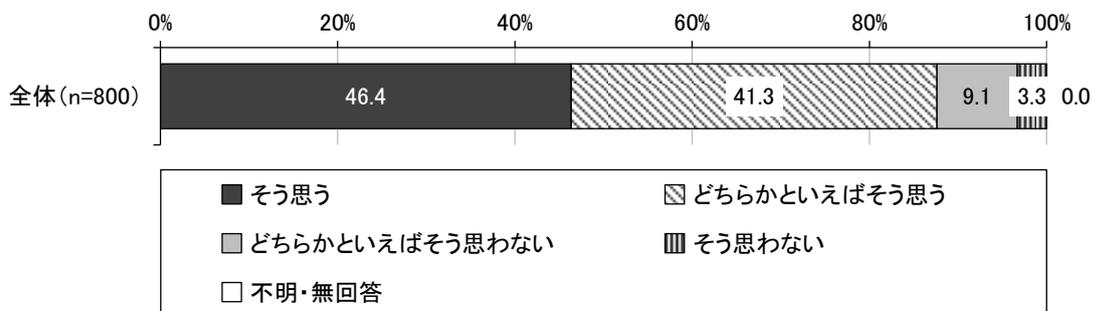
年齢別で見ると、年齢が上がるほど、「そう思う」の割合が概ね低くなる傾向です。



⑤自分の将来について明るい希望を持っている

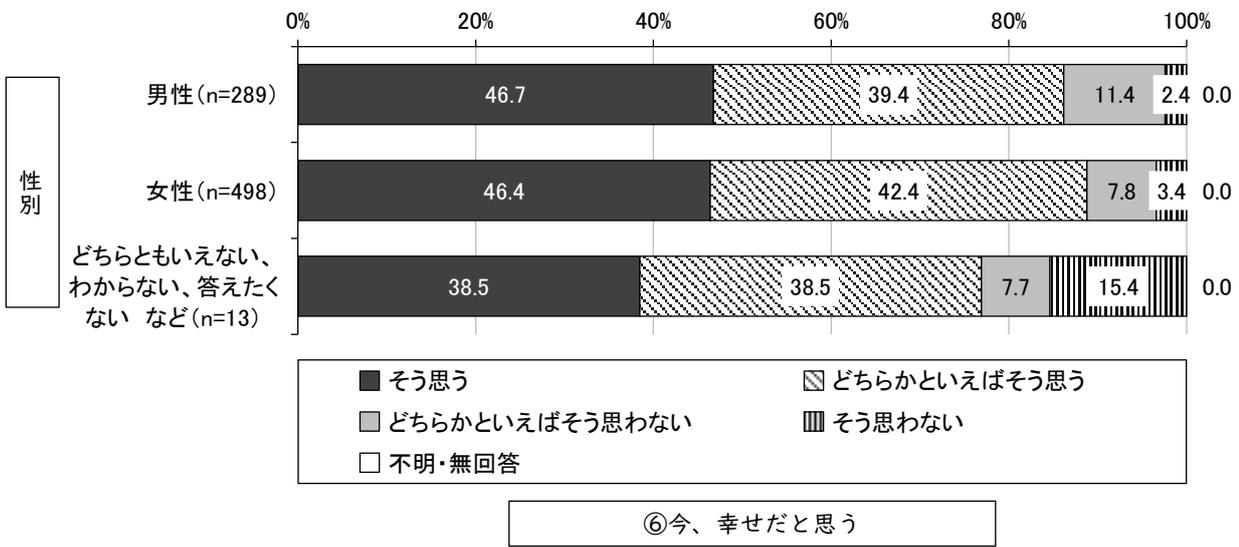
⑥今、幸せだと思う

「そう思う」が46.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が41.3%、「どちらかといえばそう思わない」が9.1%となっています。



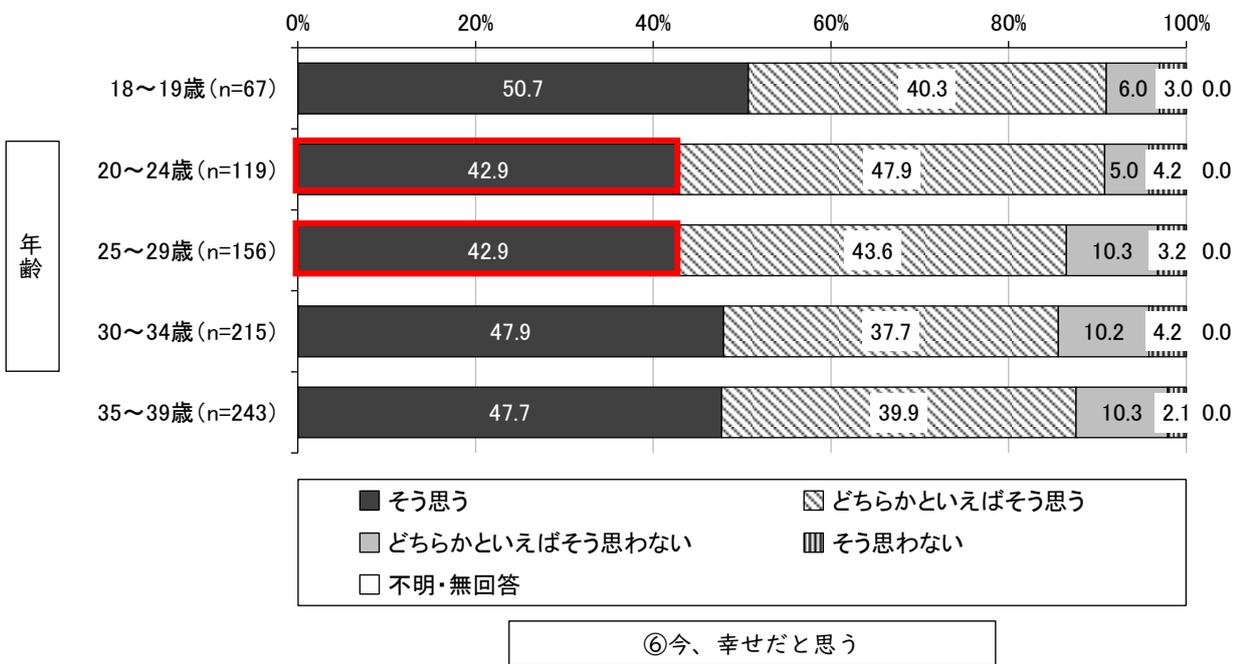
問1 性別×問8 ⑥今、幸せだと思う

性別でみると、いずれも『思う』(そう思う+どちらかといえばそう思う)の割合が高くなっています。



問2 年齢別×問8 ⑥今、幸せだと思う

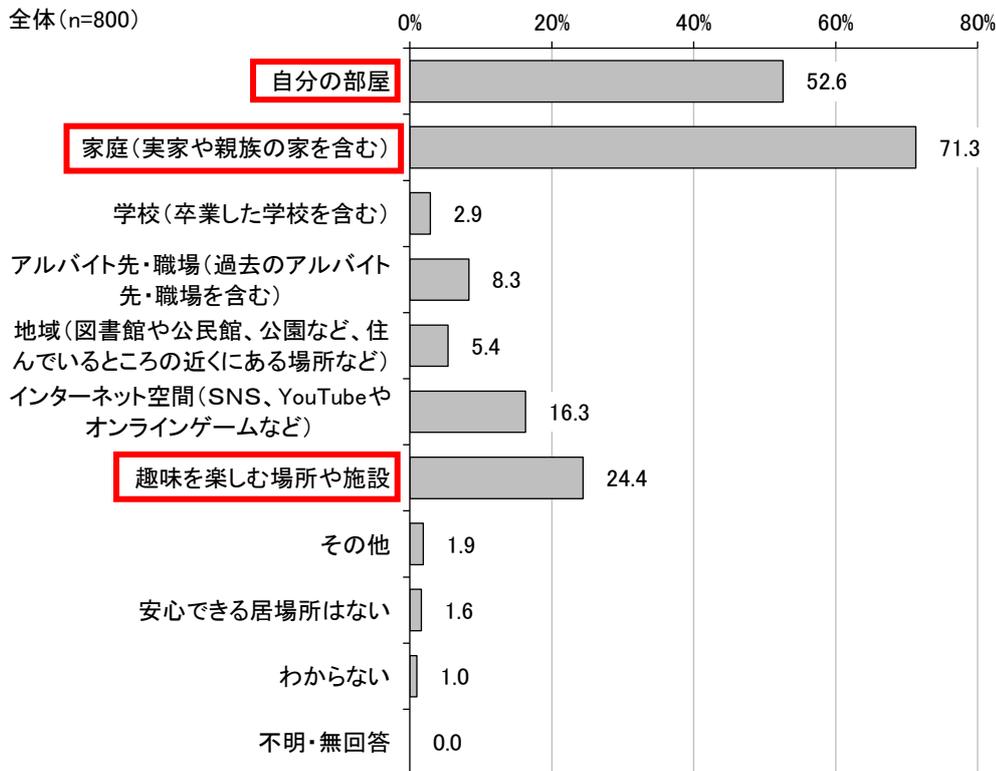
年齢別でみると、20～24歳、25～29歳では「そう思う」が他の年齢よりも低い傾向がみられました。



2 居場所や人とのかかわりについて

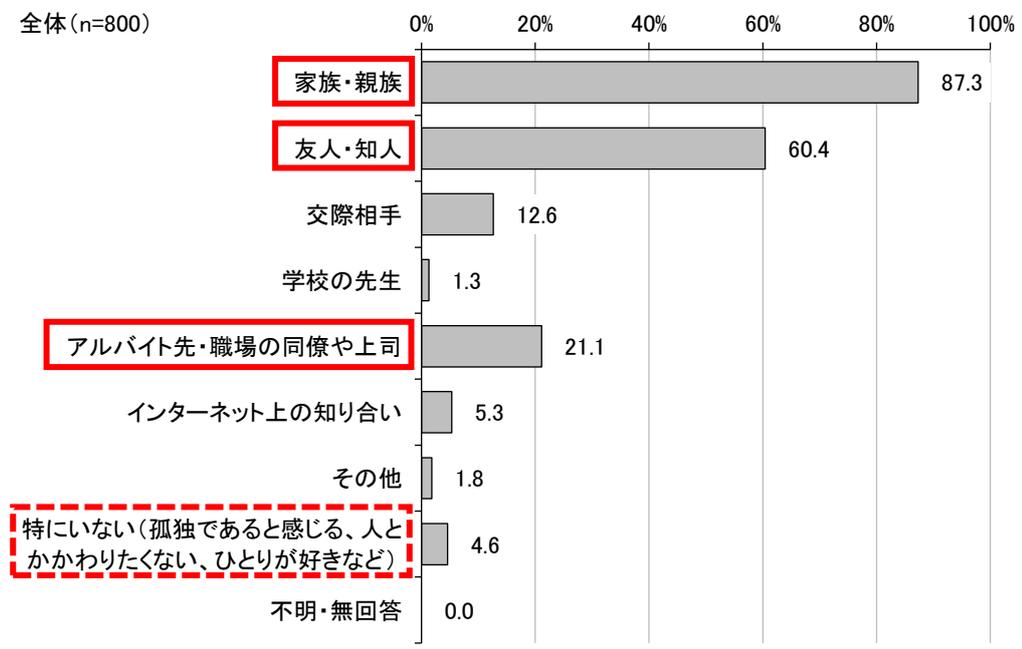
問6 あなたにとって安心できる居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）はどこですか。（3つまで選択）

「家庭（実家や親族の家を含む）」が71.3%と最も高く、次いで「自分の部屋」が52.6%、「趣味を楽しむ場所や施設」が24.4%となっています。



**問7 あなたがよく会話をする人や、一緒にいたいと思う人はどなたですか。
(3つまで選択)**

「家族・親族」が87.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が60.4%、「アルバイト先・職場の同僚や上司」が21.1%となっています。「特にいない(孤独であると感じる、人とかかわりたくない、ひとりが好きなど)」は4.6%となっています。



問7 人との関わり、問8 ③自分のことが好き、問8 ④自分らしく生きている、
問8 ⑥今、幸せだと思う ×問6 安心できる居場所

人との関わりでみると、全体的に「自分の部屋」「家庭」の回答割合が高くなっています。インターネット上の知り合いでは、「インターネット空間」「趣味を楽しむ場所や施設」が他の区分と比べて高くなっています。また、「特にいない」では、「インターネット空間」の回答が32.4%と高い割合となりました。

自分のことが好きか、自分らしく生きているかでみると、そう思わないでは「自分の部屋」、それ以外の区分では「家庭」が最も高くなっています。

今、幸せだと思うかでみると、そう思う、どちらかといえばそう思うでは「家庭」が最も高くなっています。どちらかといえばそう思わない、そう思わないでは「自分の部屋」が最も高く、「インターネット空間」「趣味を楽しむ場所や施設」が他の区分と比べて高くなっています。また、そう思わないでは「安心できる居場所はない」が他の区分と比べて高くなっています。

自己肯定感や幸福度の低下に伴い、「家庭」の割合が低く、「自分の部屋」「インターネット空間」「趣味を楽しむ場所や施設」の割合が高くなっています。

単位：%		自分の部屋	家庭（実家や親族の家を含む）	学校（卒業した学校を含む）	アルバイト先・職場（過去の近くにある場所など）	園地（図書館や公民館、公民館など）	インターネット空間（SNSやオンラインゲームなど）	趣味を楽しむ場所や施設	その他	安心できる居場所はない	わからない	不明・無回答
全体 (n=800)		52.6	71.3	2.9	8.3	5.4	16.3	24.4	1.9	1.6	1.0	0.0
人との関わり	家族・親族 (n=698)	50.1	79.9	2.7	9.0	5.4	14.3	23.5	1.7	0.7	0.4	0.0
	友人・知人 (n=483)	57.8	73.5	4.3	9.7	5.6	15.7	30.8	1.7	0.8	0.4	0.0
	交際相手 (n=101)	70.3	66.3	5.9	10.9	1.0	13.9	26.7	2.0	3.0	0.0	0.0
	学校の先生 (n=10)	50.0	70.0	60.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	アルバイト先・職場の同僚や上司 (n=169)	52.1	72.8	2.4	23.1	5.3	14.8	30.8	2.4	1.2	0.0	0.0
	インターネット上の知り合い (n=42)	76.2	42.9	2.4	7.1	7.1	64.3	45.2	2.4	4.8	0.0	0.0
	その他 (n=14)	71.4	64.3	0.0	14.3	21.4	0.0	28.6	14.3	0.0	7.1	0.0
	特にいない (n=37)	64.9	10.8	2.7	0.0	8.1	32.4	16.2	0.0	10.8	8.1	0.0
③ 自分が好き	そう思う (n=216)	51.9	81.0	2.8	12.0	6.0	8.8	22.2	2.3	0.5	0.5	0.0
	どちらかといえばそう思う (n=374)	50.8	75.1	3.7	7.2	5.9	16.0	24.1	0.8	0.5	0.8	0.0
	どちらかといえばそう思わない (n=153)	52.9	59.5	1.3	7.8	4.6	21.6	26.8	3.3	2.0	1.3	0.0
	そう思わない (n=56)	66.1	39.3	1.8	1.8	1.8	30.4	28.6	3.6	12.5	3.6	0.0
④ 自分らしく生きている	そう思う (n=314)	53.8	78.7	4.5	10.8	6.7	12.4	25.2	1.9	0.3	0.3	0.0
	どちらかといえばそう思う (n=337)	51.9	72.7	2.4	6.2	3.6	17.8	22.6	1.2	0.6	1.2	0.0
	どちらかといえばそう思わない (n=117)	52.1	57.3	0.9	7.7	8.5	21.4	26.5	3.4	3.4	2.6	0.0
	そう思わない (n=32)	50.0	34.4	0.0	6.3	0.0	18.8	28.1	3.1	18.8	0.0	0.0
⑥ 今、幸せだと思う	そう思う (n=371)	45.0	85.4	3.0	11.3	5.4	11.1	21.8	1.6	0.0	0.3	0.0
	どちらかといえばそう思う (n=330)	57.3	66.1	3.3	7.3	5.8	18.8	27.0	1.5	0.6	0.9	0.0
	どちらかといえばそう思わない (n=73)	68.5	39.7	1.4	0.0	4.1	30.1	21.9	5.5	5.5	4.1	0.0
	そう思わない (n=26)	57.7	23.1	0.0	0.0	3.8	19.2	34.6	0.0	26.9	3.8	0.0

問8 ③自分のことが好き、問8 ⑥今、幸せだと思う

×問7 よく会話をする人や一緒にいたいと思う人

自分のことが好きかで見ると、すべての区分で「家族・親族」が最も高くなっています。一方で、そう思わないでは「インターネット上の知り合い」「特にいない」の割合が他の区分よりも高く、「家族・親族」「友人・知人」「アルバイト先・職場の同僚や上司」の割合が他の区分よりも低くなっています。

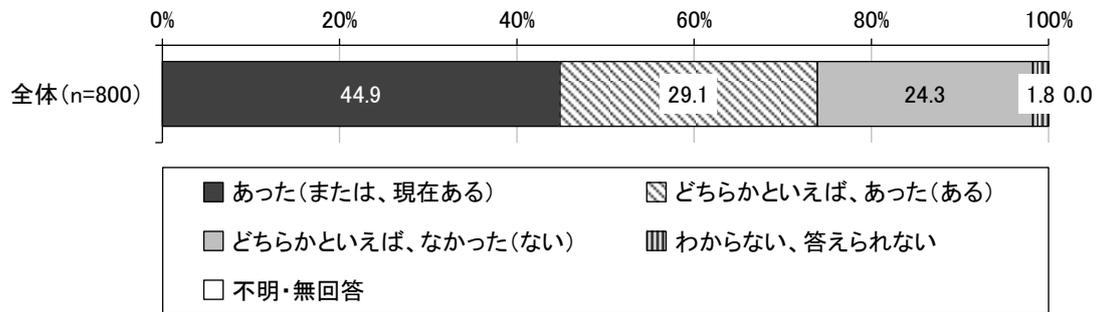
今、幸せだと思うかで見ると、すべての区分で「家族・親族」が最も高くなっています。一方で、そう思わないでは「インターネット上の知り合い」「特にいない」の割合が他の区分よりも高く、「家族・親族」「友人・知人」「アルバイト先・職場の同僚や上司」の割合が他の区分よりも低くなっています。

自己肯定感、幸福度の低下に伴い、「家族・親族」「友人・知人」の割合が低く、「インターネット上の知り合い」「特にいない」の割合が高くなっています。

単位：%		家族・親族	友人・知人	交際相手	学校の先生	アルバイト先・職場の同僚	インターネット上の知り合い	その他	感じる、ひとりごとが好きなど	特にいない（孤独である）	不明・無回答
全体(n=800)		87.3	60.4	12.6	1.3	21.1	5.3	1.8	4.6	0.0	
③ 自分のことが好き	そう思う(n=216)	90.7	67.6	16.2	0.9	19.9	5.1	2.8	2.3	0.0	
	どちらかといえばそう思う(n=374)	89.3	62.3	11.8	1.3	21.7	3.2	1.6	3.5	0.0	
	どちらかといえばそう思わない(n=153)	85.6	54.2	9.2	1.3	25.5	7.2	1.3	5.9	0.0	
	そう思わない(n=56)	64.3	37.5	14.3	1.8	10.7	14.3	0.0	17.9	0.0	
⑥ 今、幸せだと思う	そう思う(n=371)	92.5	63.6	12.4	0.8	23.5	3.5	3.0	1.9	0.0	
	どちらかといえばそう思う(n=330)	87.9	59.4	11.8	1.8	19.4	4.8	0.6	4.2	0.0	
	どちらかといえばそう思わない(n=73)	71.2	56.2	17.8	0.0	20.5	12.3	1.4	11.0	0.0	
	そう思わない(n=26)	50.0	38.5	11.5	3.8	11.5	15.4	0.0	30.8	0.0	

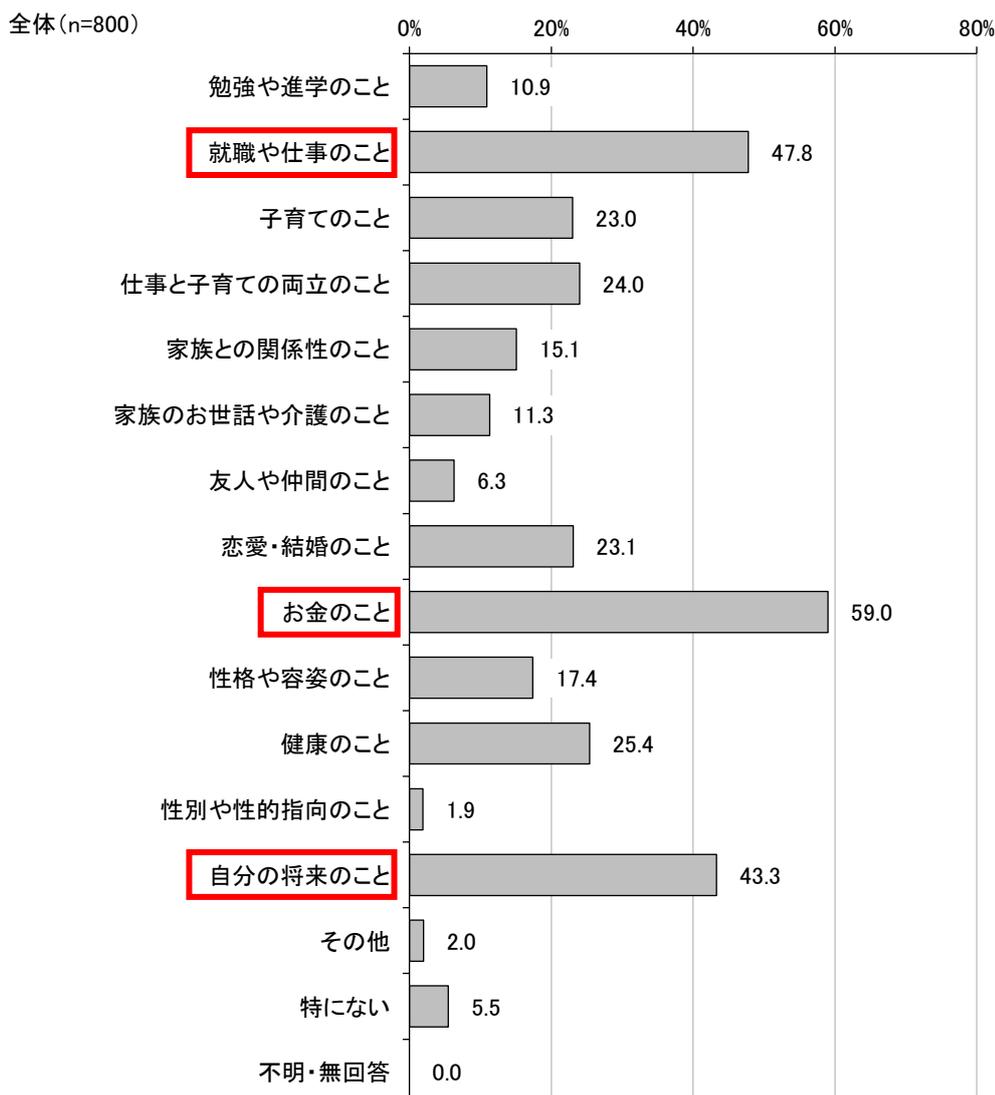
問9 あなたは今までに、学校生活や社会生活、日常生活に影響がでるような辛い経験はありましたか（または、現在ありますか）。（1つを選択）

「あった（または、現在ある）」が44.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あった（ある）」が29.1%、「どちらかといえば、なかった（ない）」が24.3%となっています。



問10 あなたは、現在どのような悩みや心配ごとがありますか。（あてはまる番号すべてを選択）

「お金のこと」が59.0%と最も高く、次いで「就職や仕事のこと」が47.8%、「自分の将来のこと」が43.3%となっています。



問1 性別、問2 年齢別、問5 現在の就労形態×問10 現在の悩みや心配ごと

性別でみると、いずれも「お金のこと」が最も高くなっています。

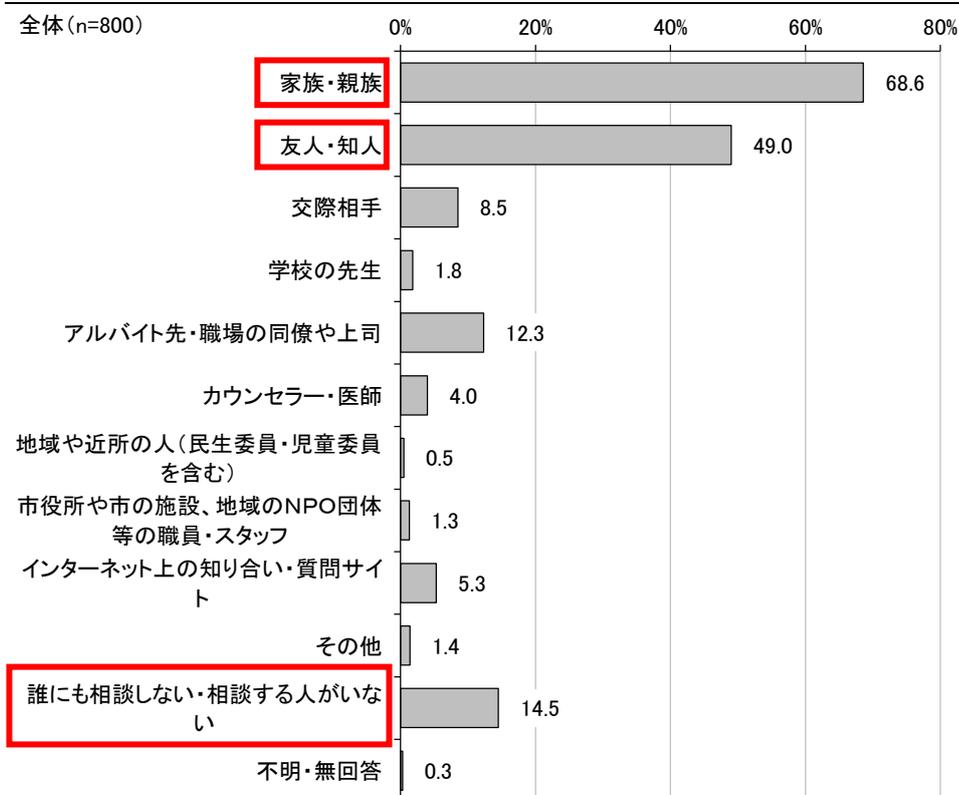
年齢別でみると、18～19歳では「勉強や進学のこと」、20～24歳では「就職や仕事のこと」、それ以外の年齢では「お金のこと」が最も高くなっています。年齢があがるにつれて、「子育てのこと」「仕事と子育ての両立のこと」「お金のこと」の割合が高く、「性格や容姿のこと」の割合が低くなっています。

現在の就労形態でみると、学生・生徒、無職では「就職や仕事のこと」、契約社員・嘱託、その他では「就職や仕事のこと」「自分の将来のこと」、専業主婦・主夫では「子育てのこと」、それ以外の区分では「お金のこと」が最も高くなっています。

単位：%		勉強や進学のこと	就職や仕事のこと	子育てのこと	仕事と子育ての両立のこと	家族との関係性のこと	家族のお世話や介護のこと	友人や仲間のこと	恋愛・結婚のこと	お金のこと	性格や容姿のこと	健康のこと	性別や性的指向のこと	自分の将来のこと	その他	特になし	不明・無回答
全体(n=800)		10.9	47.8	23.0	24.0	15.1	11.3	6.3	23.1	59.0	17.4	25.4	1.9	43.3	2.0	5.5	0.0
性別	男性(n=289)	13.8	50.9	14.5	14.2	13.5	10.7	4.2	23.5	57.1	12.1	23.9	1.4	42.2	1.7	8.3	0.0
	女性(n=498)	9.4	46.2	28.3	30.3	16.1	11.0	7.6	22.9	60.0	20.5	25.7	1.6	43.6	1.8	3.8	0.0
	どちらともいえない、わからない、答えたくない など(n=13)	0.0	38.5	7.7	0.0	15.4	30.8	0.0	23.1	61.5	15.4	46.2	23.1	53.8	15.4	7.7	0.0
年齢	18～19歳(n=67)	56.7	52.2	0.0	0.0	11.9	1.5	16.4	20.9	46.3	32.8	17.9	1.5	44.8	1.5	6.0	0.0
	20～24歳(n=119)	19.3	66.4	1.7	2.5	7.6	10.1	8.4	35.3	52.9	21.0	16.0	2.5	51.3	1.7	6.7	0.0
	25～29歳(n=156)	3.8	51.3	19.9	20.5	16.0	3.8	7.7	28.8	58.3	15.4	17.9	1.3	47.4	0.6	5.8	0.0
	30～34歳(n=215)	4.2	40.0	31.2	32.1	19.5	13.5	2.8	21.9	58.6	14.9	27.4	2.8	40.5	1.9	5.1	0.0
	35～39歳(n=243)	4.5	42.0	34.6	36.2	15.2	17.3	4.5	15.2	66.3	14.8	35.0	1.2	38.7	3.3	4.9	0.0
就労形態	学生・生徒(n=118)	49.2	59.3	0.8	0.8	7.6	2.5	11.0	26.3	45.8	22.9	13.6	0.8	47.5	1.7	5.1	0.0
	パート・アルバイト(n=117)	4.3	38.5	40.2	45.3	18.8	14.5	0.9	12.0	75.2	15.4	31.6	3.4	41.9	3.4	3.4	0.0
	派遣社員(n=15)	0.0	60.0	6.7	26.7	13.3	13.3	13.3	20.0	86.7	20.0	53.3	0.0	66.7	0.0	6.7	0.0
	契約社員・嘱託(n=18)	5.6	72.2	11.1	16.7	27.8	5.6	11.1	27.8	55.6	16.7	22.2	0.0	72.2	0.0	5.6	0.0
	正社員・職員・従業員(n=409)	3.9	45.7	21.0	24.7	13.0	11.5	5.6	27.6	57.7	15.2	23.0	1.7	39.9	1.0	5.6	0.0
	会社などの役員(n=5)	20.0	60.0	80.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	自営業・自由業(n=23)	0.0	39.1	17.4	17.4	8.7	17.4	8.7	26.1	60.9	17.4	26.1	4.3	39.1	8.7	8.7	0.0
	専業主婦・主夫(n=54)	3.7	33.3	61.1	35.2	27.8	16.7	7.4	1.9	51.9	18.5	33.3	0.0	37.0	1.9	9.3	0.0
	無職(n=29)	13.8	69.0	13.8	10.3	27.6	13.8	6.9	24.1	65.5	27.6	51.7	6.9	55.2	3.4	6.9	0.0
	その他(n=12)	0.0	66.7	16.7	16.7	25.0	8.3	0.0	33.3	50.0	33.3	33.3	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0

**問 11 あなたは普段悩みや心配ごとを誰に相談しますか（または相談しやすいですか）。
（あてはまる番号すべてを選択）**

「家族・親族」が68.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が49.0%、「誰にも相談しない・相談する人がいない」が14.5%となっています。



問8 ③自分のことが好き、問8 ④自分らしく生きている、問8 ⑤自分の将来について明るい希望を持っている、問8 ⑥今、幸せだと思う、問13 現在の経済状況×問11 悩みや心配ごとの相談先

自分のことが好きか、自分らしく生きているか、今、幸せだと思うかでみると、そう思わないでは「誰にも相談しない・相談する人がいない」、それ以外の区分では「家族・親族」が最も高くなっています。

自分の将来に明るい希望を持っているかでみると、すべての区分で「家族・親族」が最も高くなっています。一方で、そう思わないでは「誰にも相談しない・相談する人がいない」の割合が他の区分と比べて高くなっています。

自己肯定感や将来の希望、幸福度の低下に伴い、「家族・親族」「友人・知人」の割合が低くなっています。

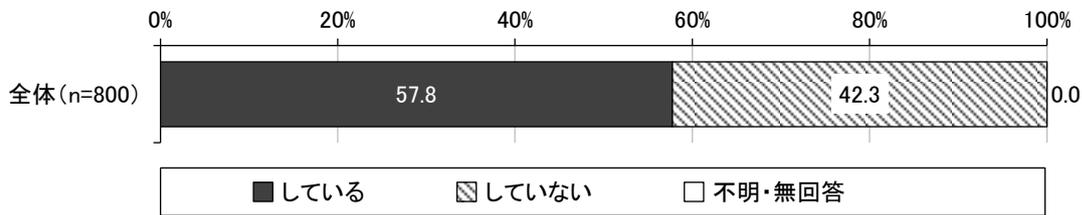
現在の経済状況でみると、すべての区分で「家族・親族」が最も高くなっています。経済状況が苦しいと感じている人では「誰にも相談しない・相談する人がいない」の割合が31.1%と、他の区分と比べて高くなっています。

単位：%		家族・親族	友人・知人	交際相手	学校の先生	アルバイト先・職場の同僚	カウンセラー・医師	地域や近所の人（民生委員・児童委員を含む）	市役所や市の施設、地域のNPO団体等の職員・スタッフ	インターネット上の知り合い・質問サイト	その他	誰にも相談しない・相談	不明・無回答
全体 (n=800)		68.6	49.0	8.5	1.8	12.3	4.0	0.5	1.3	5.3	1.4	14.5	0.3
③ 自分のことが好き	そう思う (n=216)	75.0	58.3	12.0	1.4	13.0	2.3	0.5	0.9	3.7	0.9	11.1	0.0
	どちらかといえばそう思う (n=374)	73.5	50.3	8.8	2.1	12.8	3.7	0.3	1.9	5.3	1.3	8.8	0.5
	どちらかといえばそう思わない (n=153)	60.1	43.1	3.3	1.3	13.1	3.9	1.3	0.7	6.5	0.7	22.9	0.0
	そう思わない (n=56)	33.9	21.4	7.1	1.8	1.8	12.5	0.0	0.0	7.1	5.4	42.9	0.0
④ 自分らしく生きている	そう思う (n=314)	75.5	56.1	9.9	1.9	10.8	1.9	0.3	1.9	5.4	1.3	11.1	0.0
	どちらかといえばそう思う (n=337)	70.3	49.3	9.5	1.5	14.8	3.0	0.9	0.9	4.7	0.9	11.3	0.6
	どちらかといえばそう思わない (n=117)	55.6	34.2	3.4	1.7	11.1	9.4	0.0	0.9	5.1	2.6	27.4	0.0
	そう思わない (n=32)	31.3	31.3	3.1	3.1	3.1	15.6	0.0	0.0	9.4	3.1	34.4	0.0
⑤ 自分の将来について明るい希望を	そう思う (n=155)	81.3	54.8	8.4	2.6	13.5	3.9	0.6	1.9	2.6	0.6	7.7	0.0
	どちらかといえばそう思う (n=345)	74.2	54.5	11.3	1.7	14.5	2.0	0.6	1.7	4.9	1.4	8.1	0.0
	どちらかといえばそう思わない (n=185)	64.3	47.6	5.9	1.6	10.3	4.3	0.5	0.0	7.6	2.2	16.8	0.5
	そう思わない (n=113)	41.6	27.4	4.4	0.9	7.1	9.7	0.0	0.9	6.2	0.9	38.9	0.9
⑥ 今、幸せだと思う	そう思う (n=371)	79.8	53.6	8.9	1.9	14.6	3.2	0.5	1.9	4.6	0.5	8.4	0.3
	どちらかといえばそう思う (n=330)	66.4	48.2	9.7	1.5	12.1	3.0	0.6	0.9	6.1	1.5	13.0	0.3
	どちらかといえばそう思わない (n=73)	42.5	38.4	2.7	1.4	4.1	8.2	0.0	0.0	5.5	4.1	37.0	0.0
	そう思わない (n=26)	11.5	23.1	3.8	3.8	3.8	15.4	0.0	0.0	3.8	3.8	57.7	0.0
現在の経済状況	豊か (n=67)	67.2	55.2	10.4	4.5	10.4	4.5	0.0	1.5	4.5	0.0	14.9	0.0
	やや豊か (n=155)	78.1	56.1	8.4	1.3	10.3	3.2	0.6	1.3	5.2	0.6	7.1	0.0
	豊かでも苦しくもない (n=312)	71.8	49.4	10.9	1.9	14.4	2.9	1.0	2.2	4.2	1.3	13.1	0.3
	やや苦しい (n=162)	70.4	47.5	5.6	1.2	11.7	4.3	0.0	0.0	5.6	2.5	13.6	0.6
	苦しい (n=103)	42.7	35.0	4.9	1.0	10.7	7.8	0.0	0.0	8.7	1.9	31.1	0.0

3 仕事・経済面について

問 12 あなたは、自身の収入で生活していますか。(1つを選択)

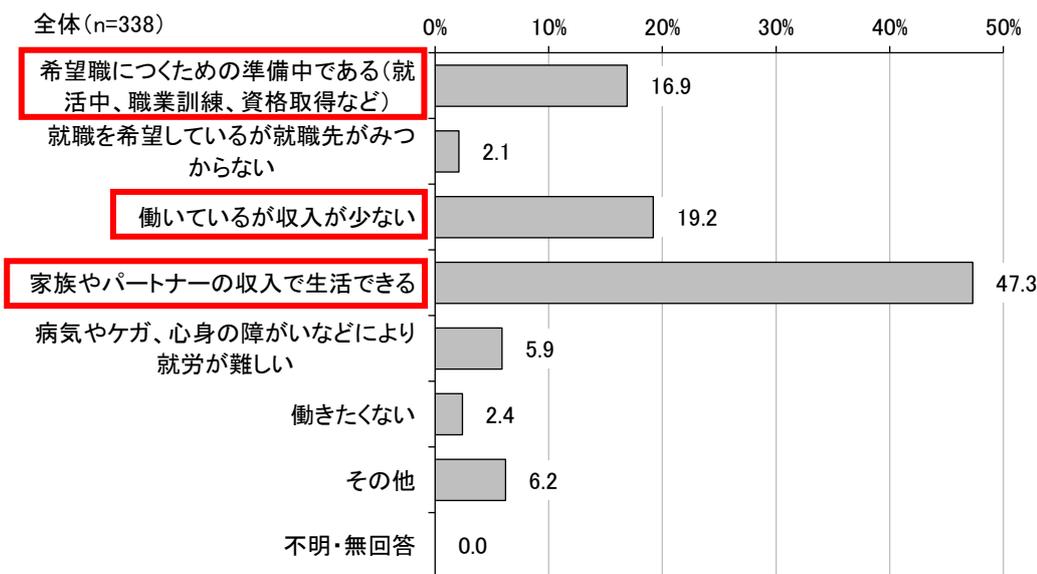
「している」が57.8%と、「していない」の42.3%を上回っています。



問 12 で「していない」を選んだ方

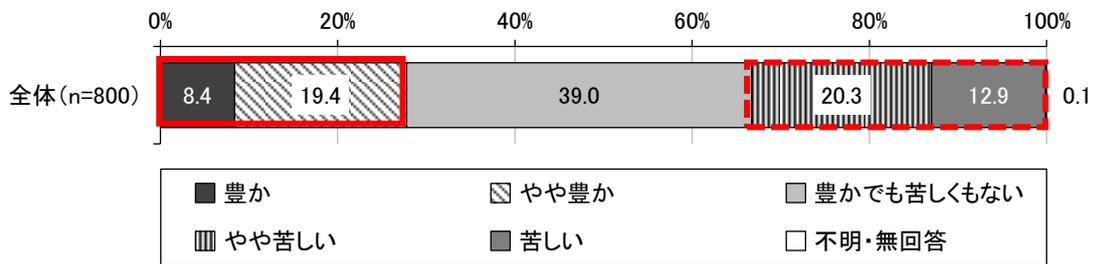
問 12 (1) その理由について最もあてはまる番号1つを選択してください。

「家族やパートナーの収入で生活できる」が47.3%と最も高く、次いで「働いているが収入が少ない」が19.2%、「希望職につくための準備中である(就活中、職業訓練、資格取得など)」が16.9%となっています。



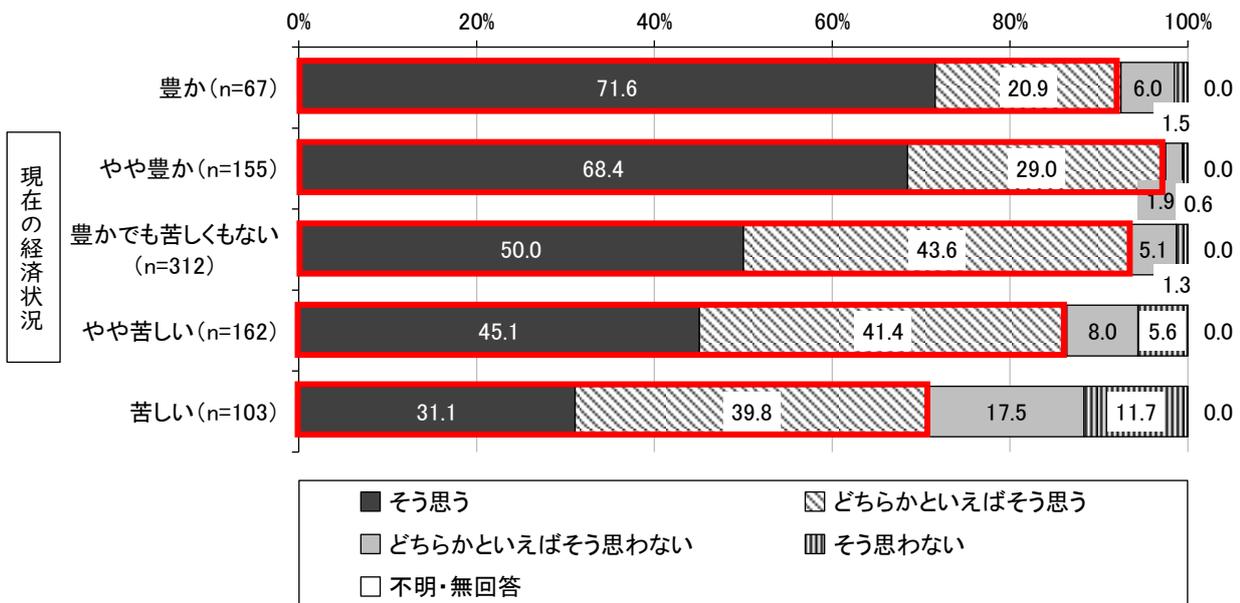
問 13 あなたは現在の経済状況をどのように感じていますか。(1つを選択)

『豊か』(豊か+やや豊か)が27.8%、『苦しい』(やや苦しい+苦しい)が33.2%となっており、『苦しい』が『豊か』を上回っています。



問 13 現在の経済状況×問 8 ①身体的に健康である

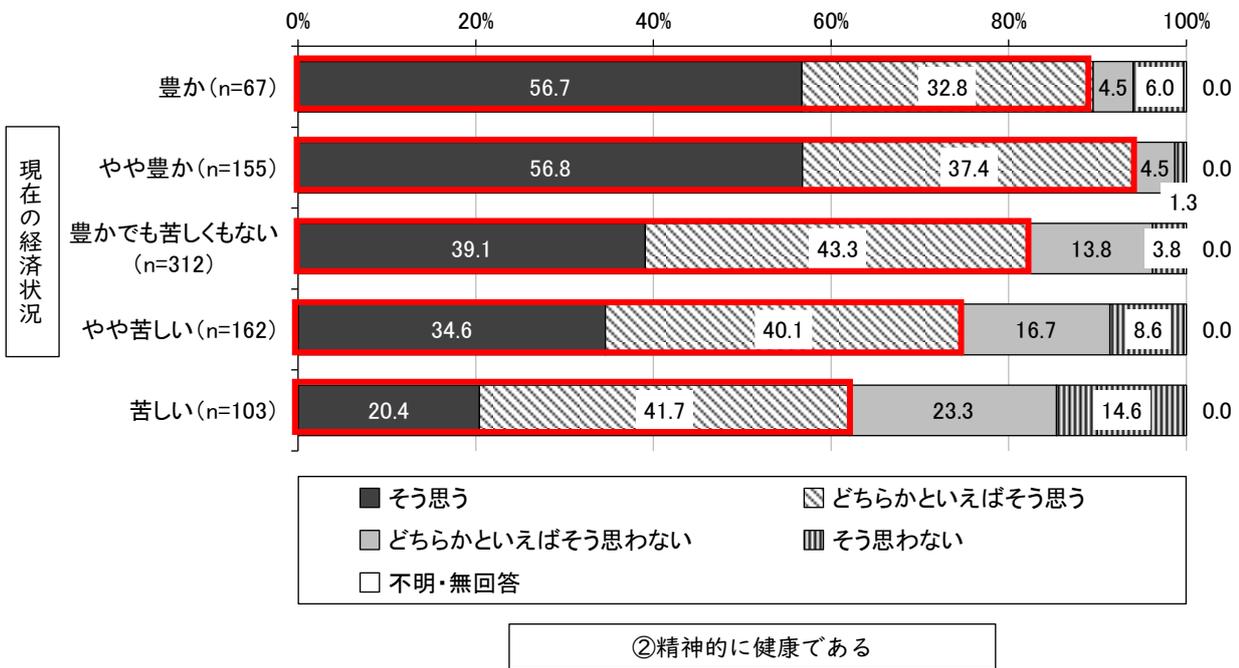
経済状況が苦しいと感じている人ほど、身体的に健康であると『思う』(そう思う+どちらかといえばそう思う)の割合が低くなっています。



①身体的に健康である

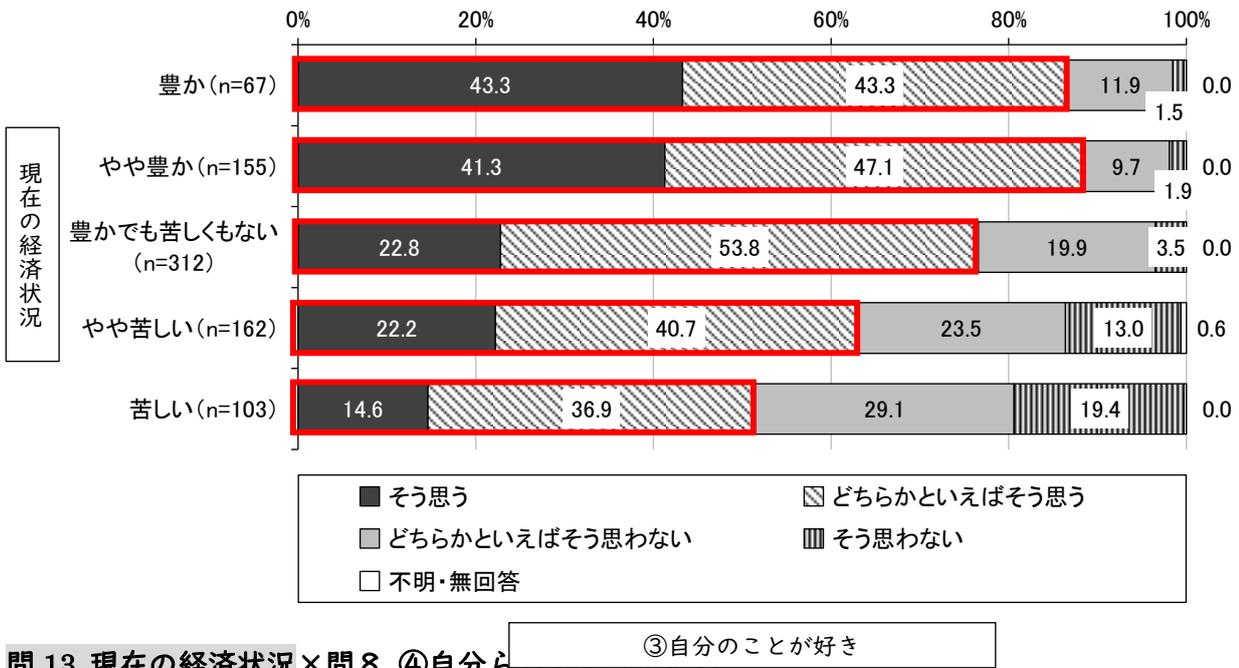
問 13 現在の経済状況×問 8 ②精神的に健康である

経済状況が苦しいと感じている人ほど、精神的に健康であると『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっています。



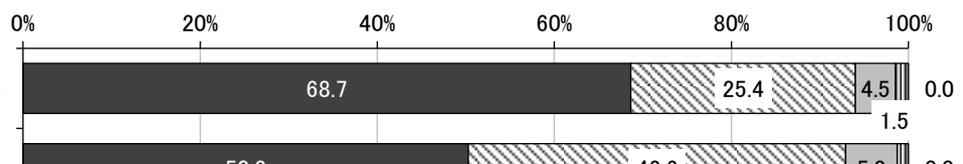
問 13 現在の経済状況×問 8 ③自分のことが好き

経済状況が苦しいと感じている人ほど、自分のことが好きだと『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっています。



問 13 現在の経済状況×問 8 ④自分らしく生きている

経済状況が苦しいと感じている人ほど、自分らしく生きていると『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっています。



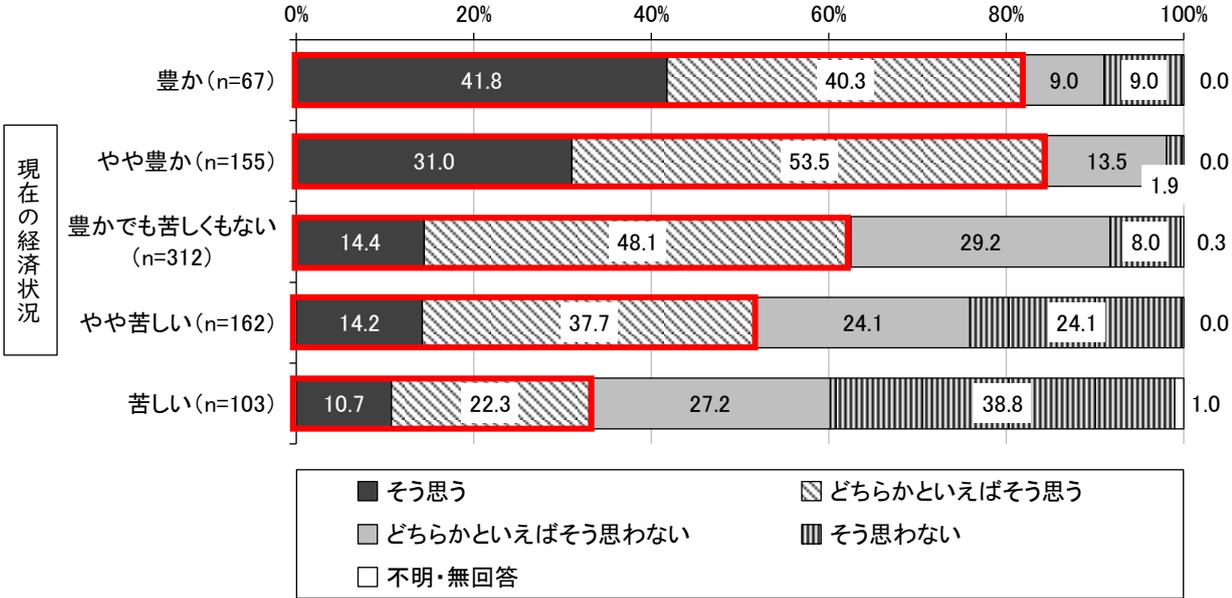
現在の経済状況



④自分らしく生きている

問 13 現在の経済状況×問 8 ⑤自分の将来について明るい希望を持っている

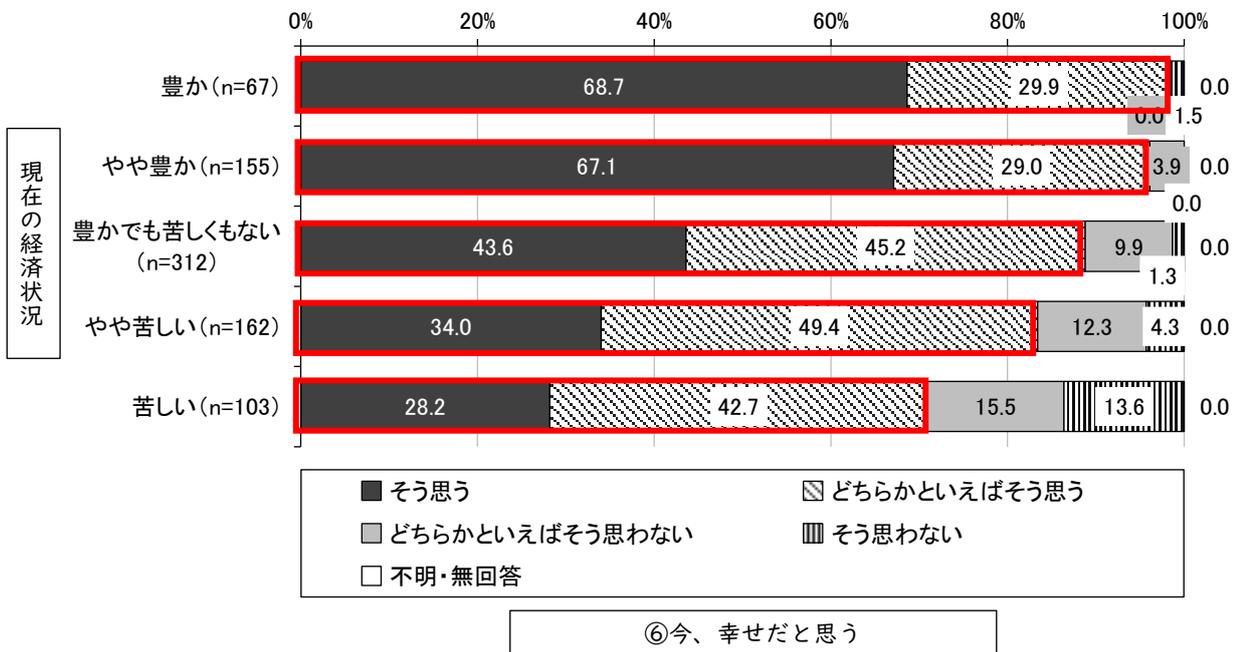
経済状況が苦しいと感じている人ほど、自分の将来に明るい希望を持っていると『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっています。



⑤自分の将来について明るい希望を持っている

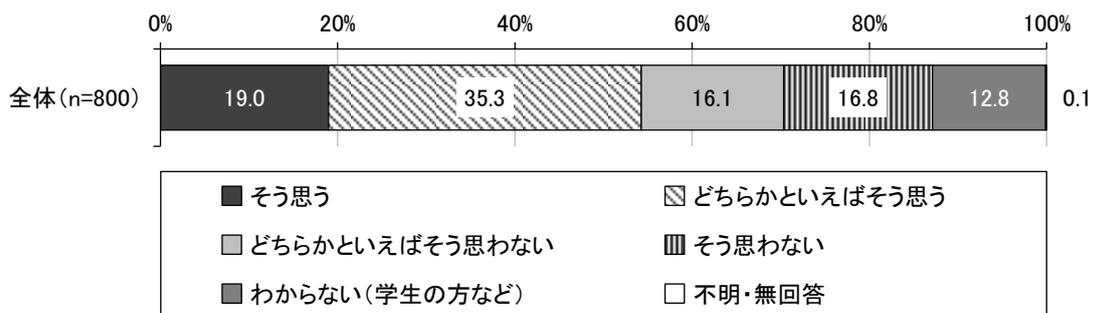
問 13 現在の経済状況×問 8 ⑥今、幸せだと思う

経済状況が苦しいと感じている人ほど、今、幸せだと『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっています。



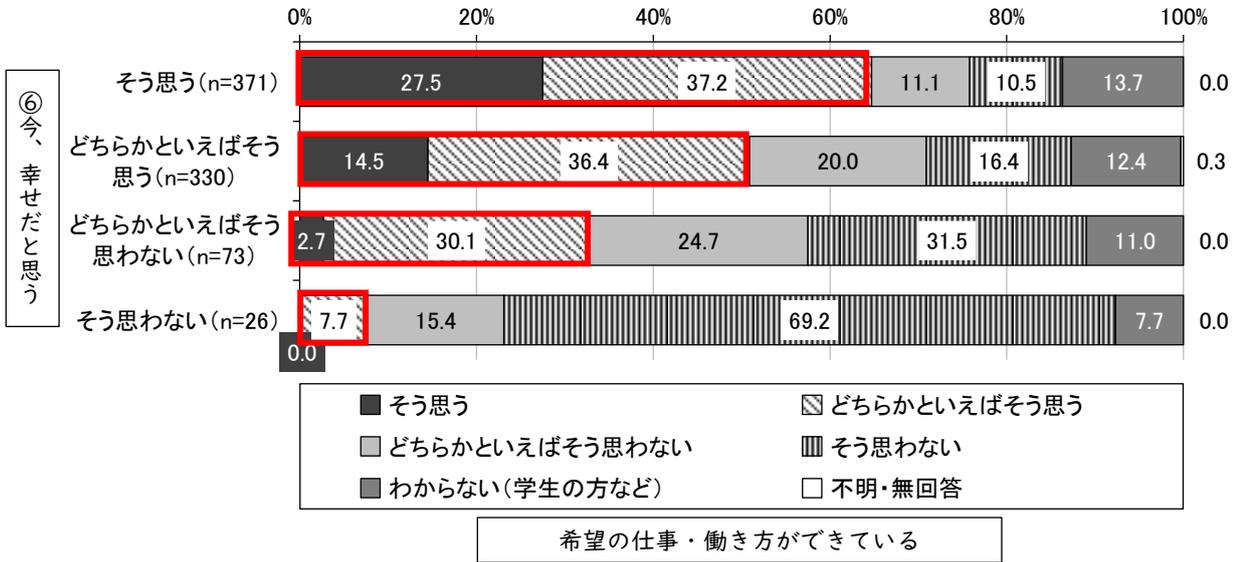
問 14 あなたは現在、希望していた仕事や働き方ができていると思いますか。（1つを選択）

「どちらかといえばそう思う」が35.3%と最も高く、次いで「そう思う」が19.0%、「そう思わない」が16.8%となっています。



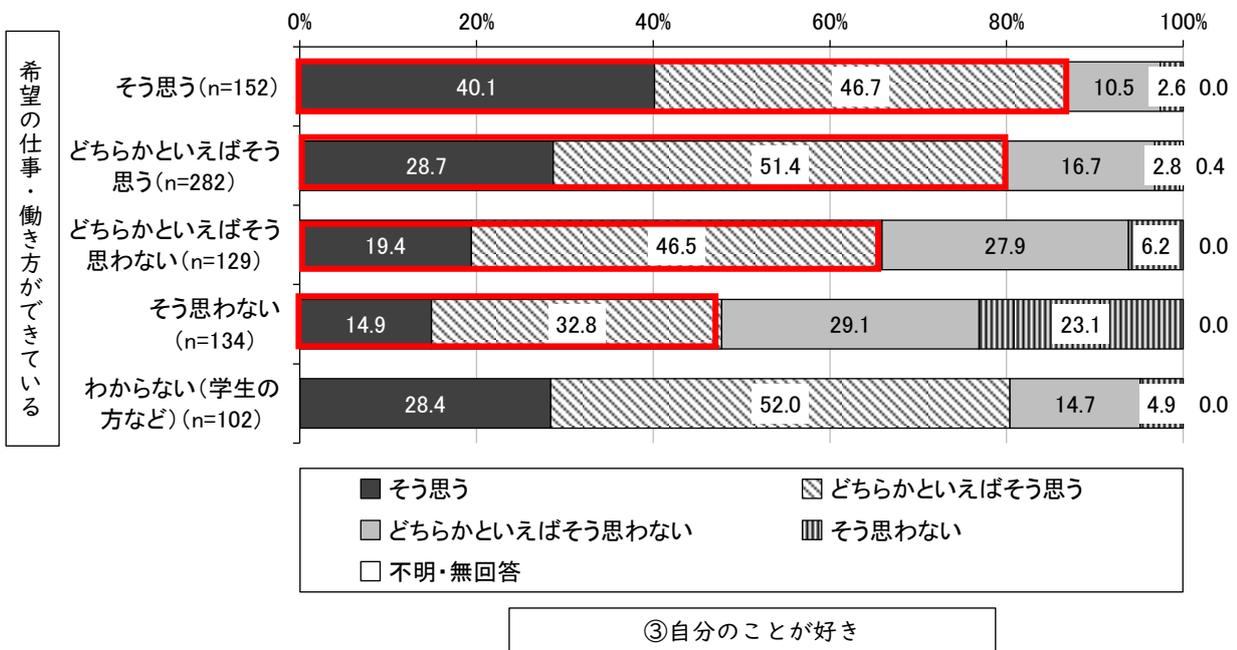
問8 ⑥今、幸せだと思う×問14 希望の仕事・働き方ができている

今、幸せだと思うかで見ると、幸福度の低下に伴い、希望の仕事・働き方ができていると『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっており、そう思わないでは7.7%と低くなっています。



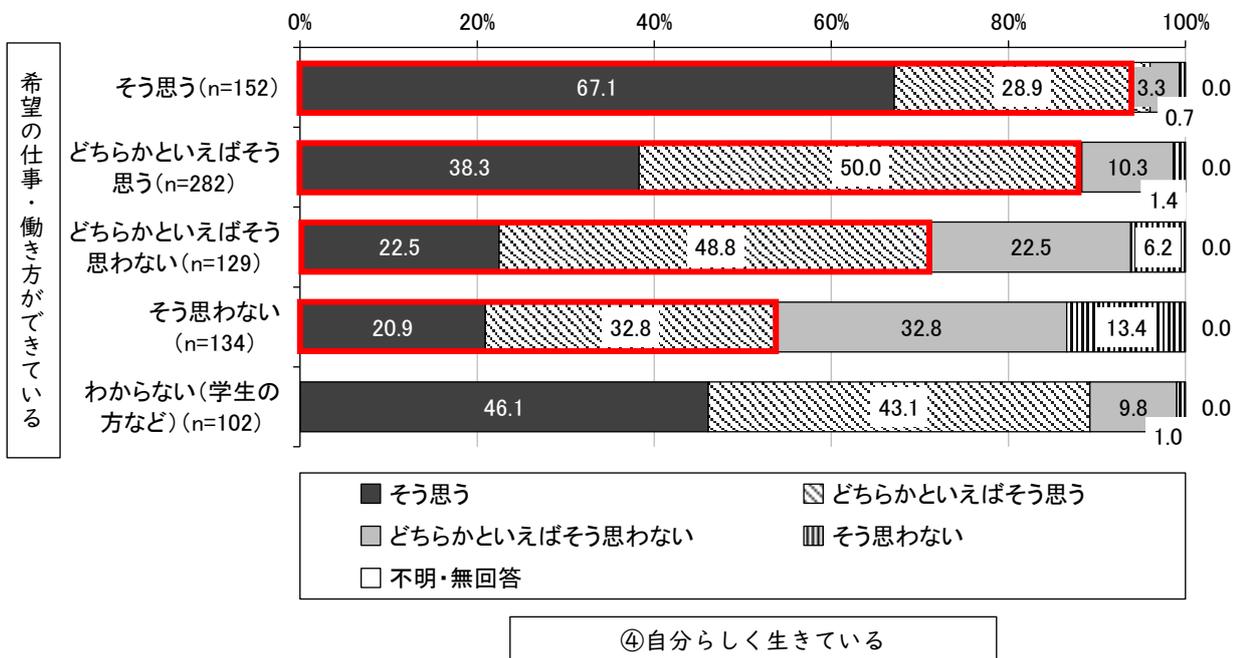
問14 希望の仕事・働き方ができている×問8 ③自分のことが好き

そう思わない人ほど、自分のことが好きだと『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっています。



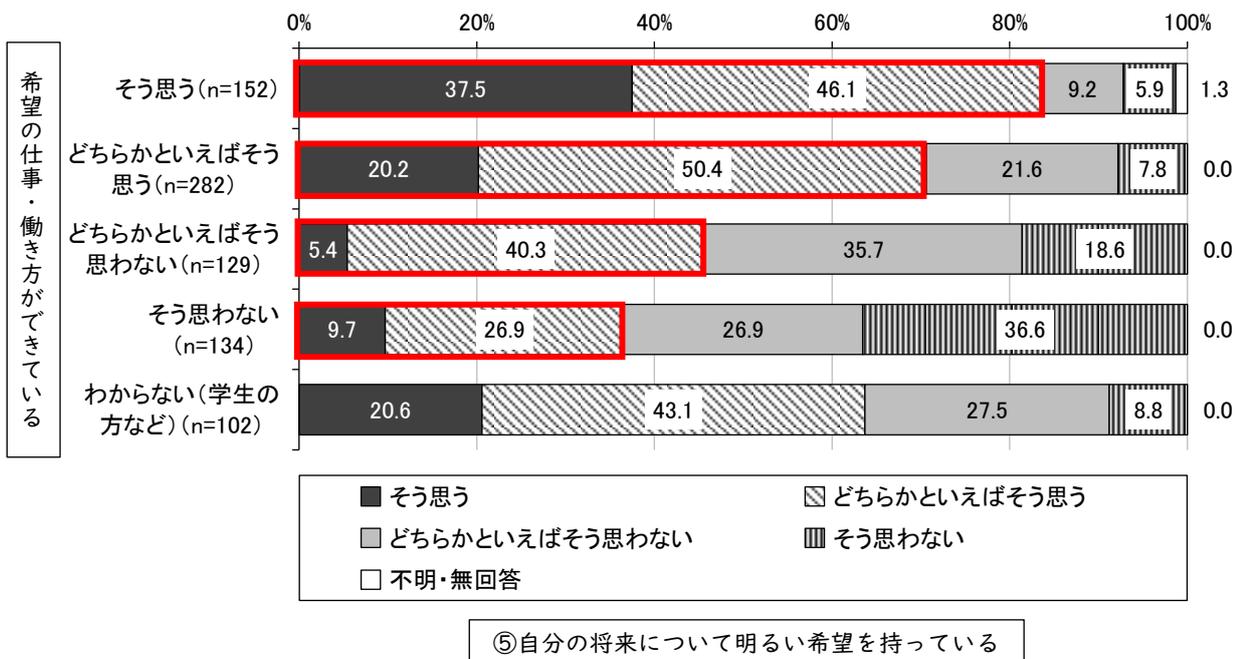
問 14 希望の仕事・働き方ができている×問 8 ④自分らしく生きている

そう思わない人ほど、自分らしく生きていると『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっています。



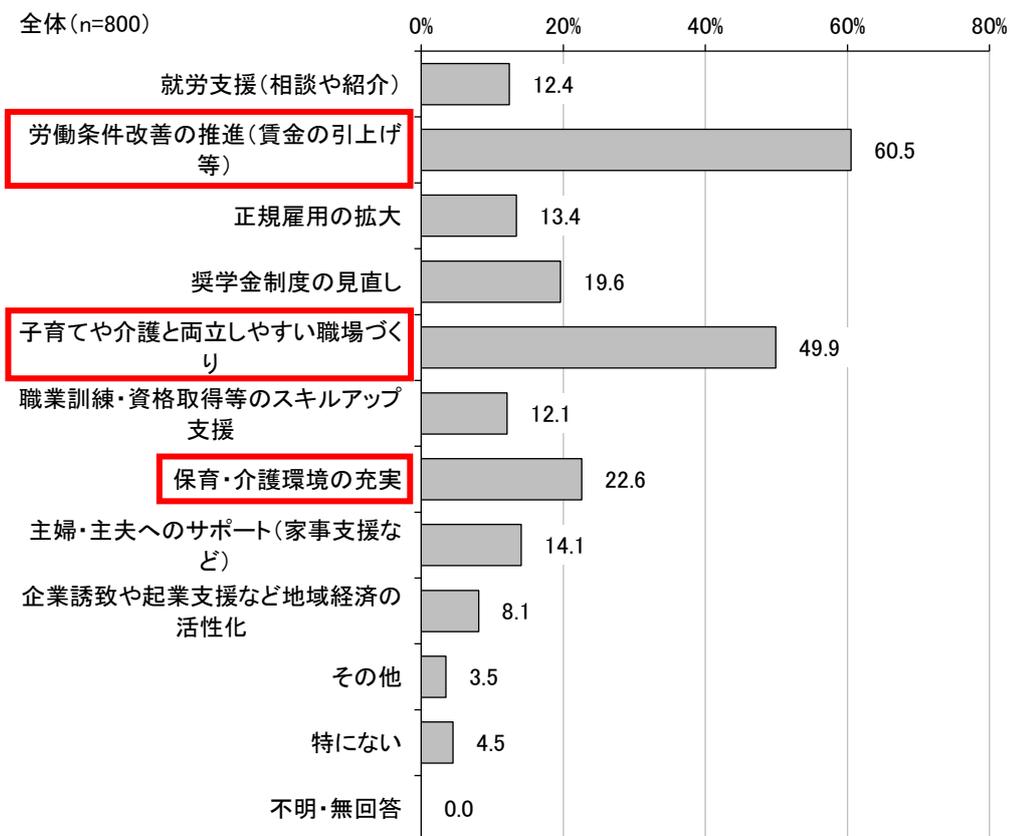
問 14 希望の仕事・働き方ができている×問 8 ⑤自分の将来について明るい希望を持っている

そう思わない人ほど、自分の将来に明るい希望を持っていると『思う』（そう思う+どちらかといえばそう思う）の割合が低くなっています。



問 15 仕事や経済面で必要だと思う支援は何ですか。(3つまで選択)

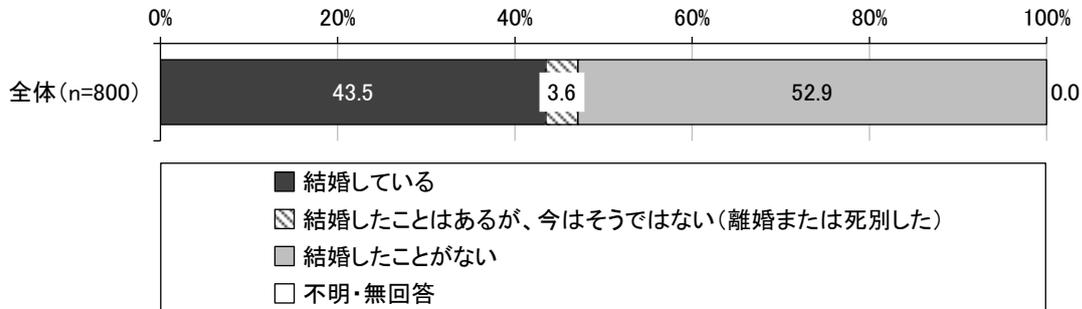
「労働条件改善の推進（賃金の引上げ等）」が60.5%と最も高く、次いで「子育てや介護と両立しやすい職場づくり」が49.9%、「保育・介護環境の充実」が22.6%となっています。



4 結婚・出産について

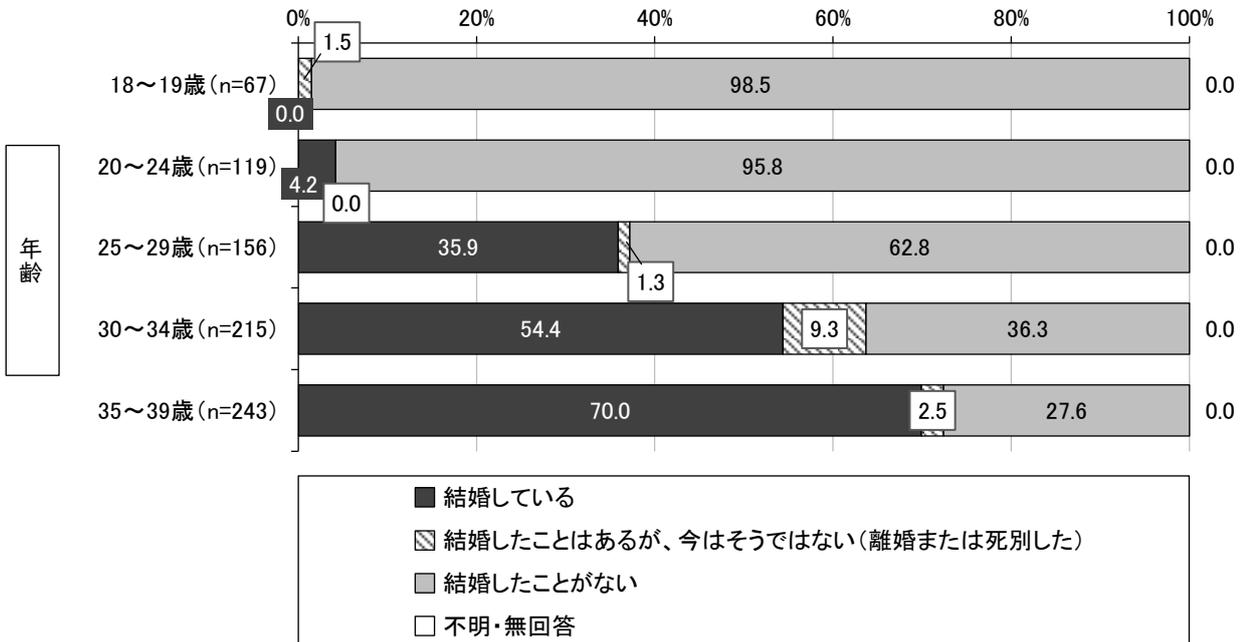
問 16 あなたは結婚していますか。現在の状況をお答えください。(1つを選択)

「結婚したことがない」が52.9%と最も高く、次いで「結婚している」が43.5%、「結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚または死別した)」が3.6%となっています。



問 2 年齢別×問 16 現在の婚姻状況

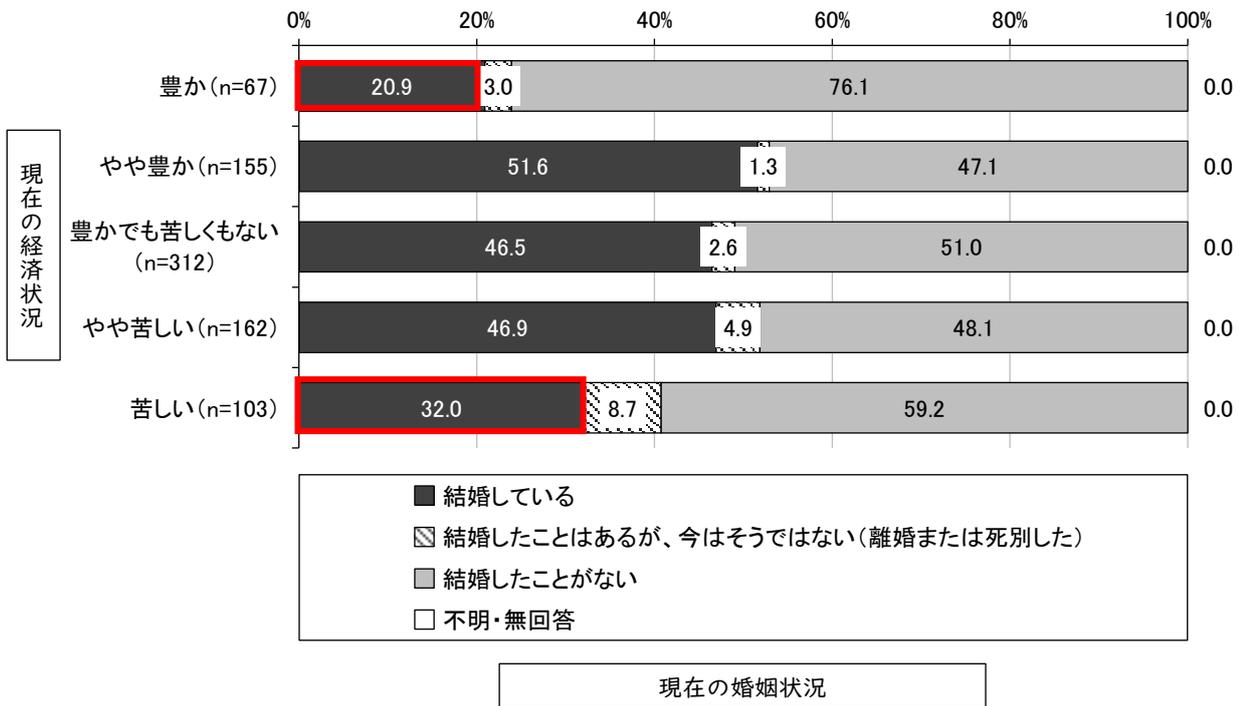
年齢別で見ると、年齢が上がるほど「結婚している」の割合が高くなり、35～39歳では「結婚している」が70.0%、「結婚していない」(結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚または死別した)+結婚したことがない)が30.0%となっています。



現在の婚姻状況

問 13 現在の経済状況×問 16 現在の婚姻状況

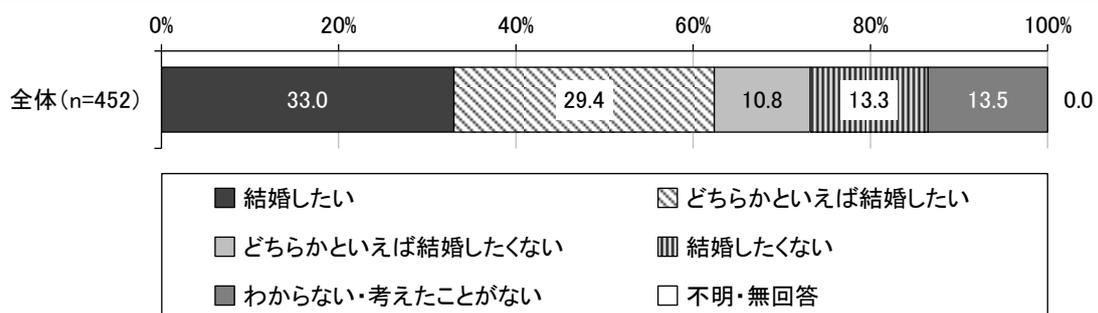
経済状況が豊かな人と苦しい人は、「結婚している」の割合が他の区分よりも低くなっています。



問 16 で「結婚したことはあるが、今はそうではない（離婚または死別した）」「結婚したことがない」を選んだ方

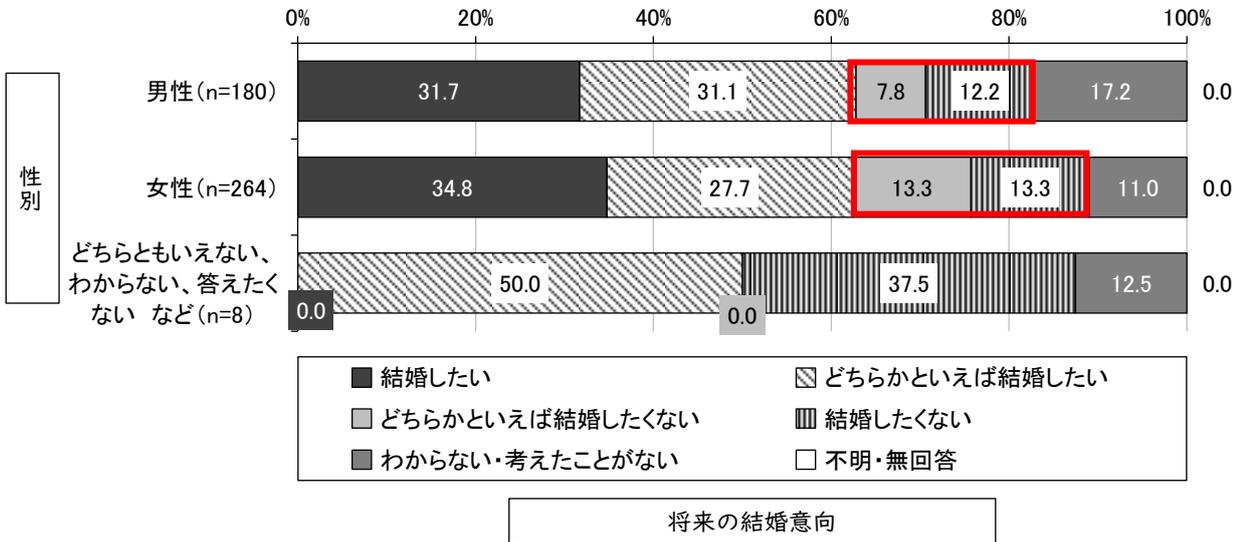
問 17 あなたは将来、結婚したいと思いますか。(1つを選択)

「結婚したい」が 33.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば結婚したい」が 29.4%、「わからない・考えたことがない」が 13.5%となっています。



問1 性別×問17 将来の結婚意向

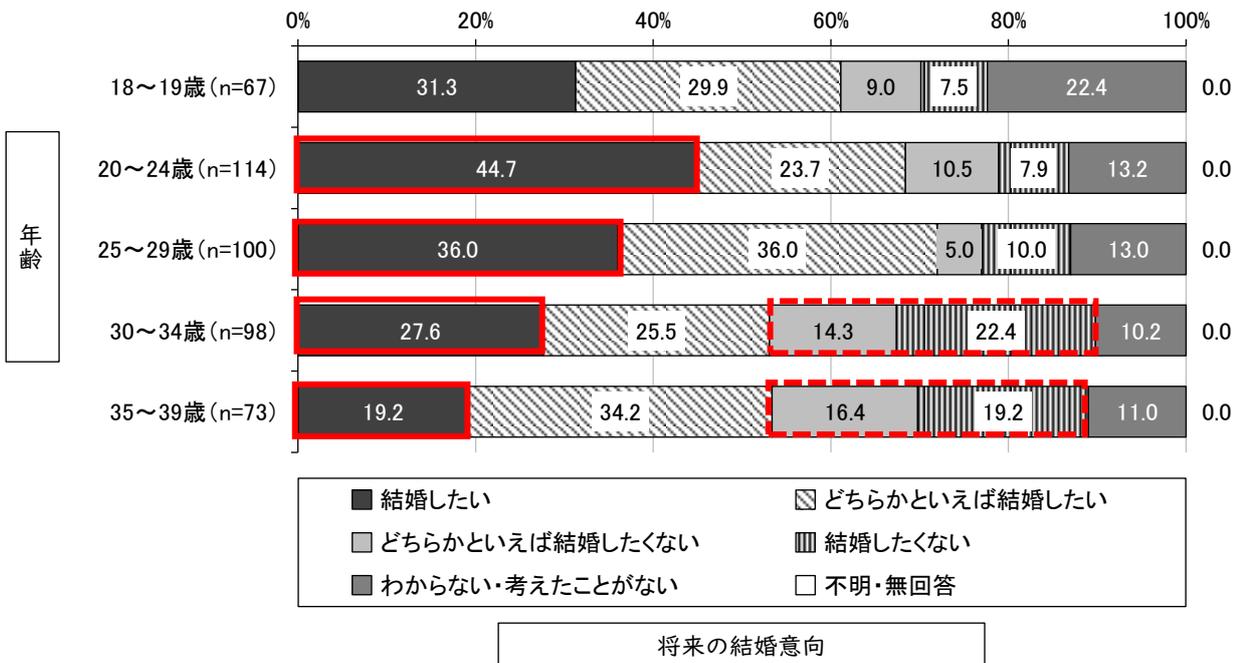
性別でみると、男性、女性ともに「結婚したい」、その他※では「どちらかといえば結婚したい」が最も高くなっています。『結婚したくない』（結婚したくない+どちらかといえば結婚したくない）の割合では、女性が男性よりも6.6ポイント高くなっています。



※その他…「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」

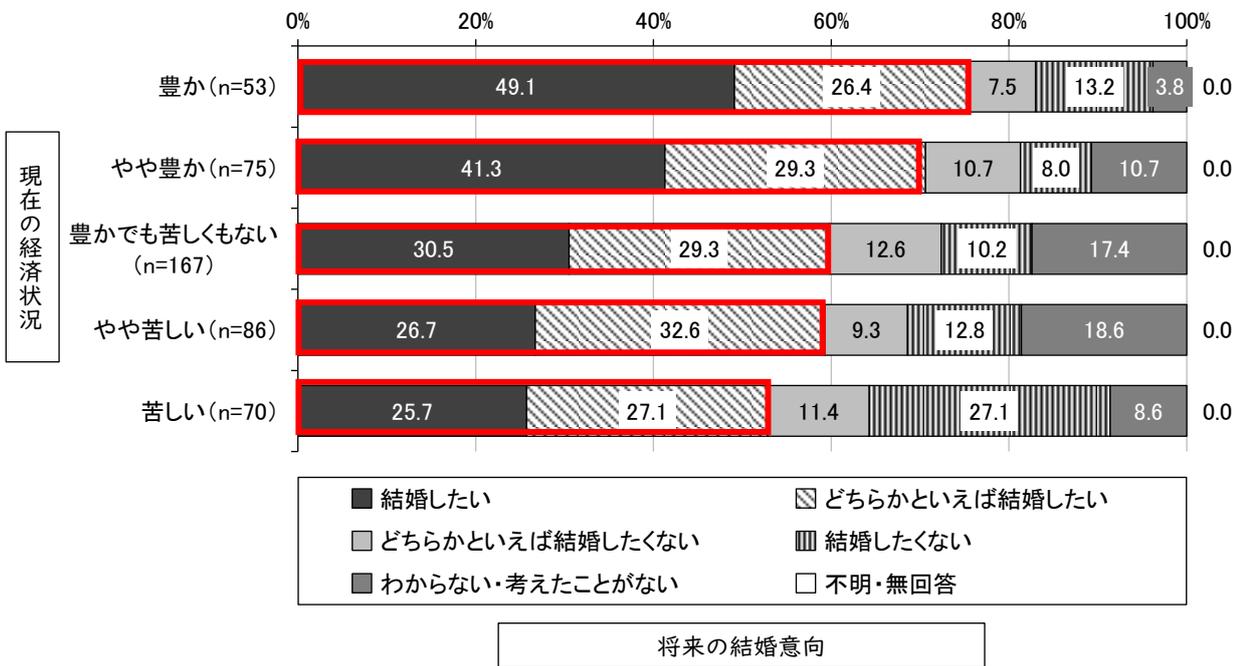
問2 年齢別×問17 将来の結婚意向

年齢別でみると、「結婚したい」の割合では、20～24歳が他の年齢より高くなっており、以降は年齢が上がるほど低くなっています。『結婚したくない』（結婚したくない+どちらかといえば結婚したくない）の割合では、30代が他の年齢と比べて高くなっています。



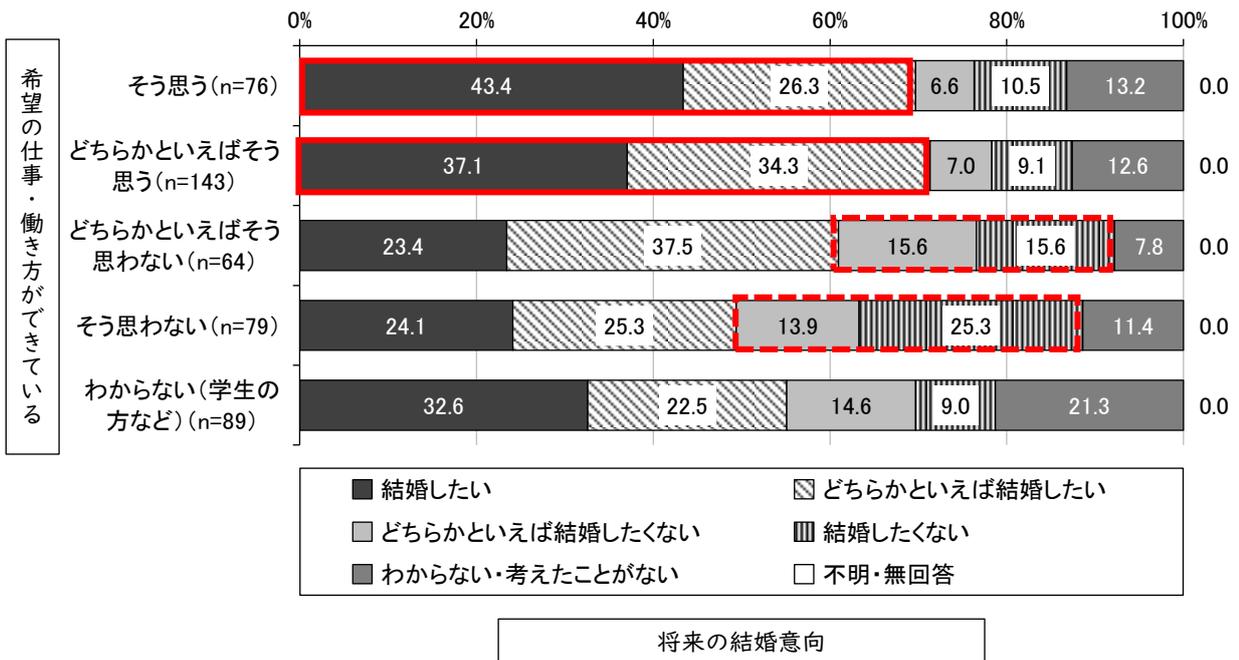
問 13 現在の経済状況×問 17 将来の結婚意向

経済状況が苦しい人ほど、『結婚したい』（結婚したい+どちらかといえば結婚したい）の割合が低くなっています。



問 14 希望の仕事・働き方ができている×問 17 将来の結婚意向

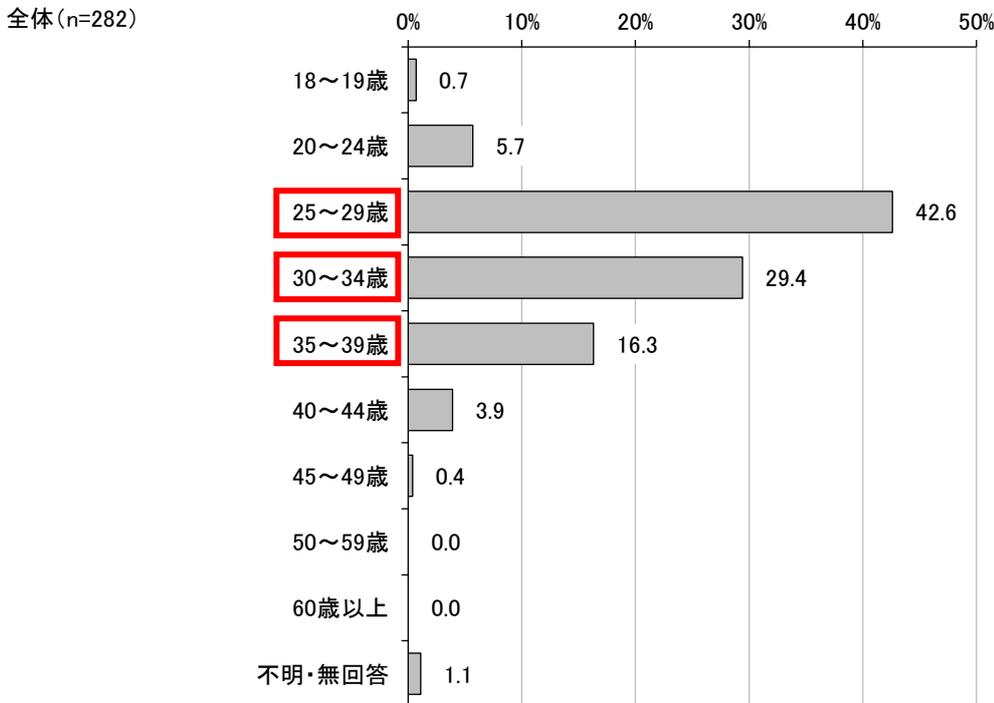
希望の仕事・働き方ができていると思う層は、『結婚したい』（結婚したい+どちらかといえば結婚したい）の割合が高く、そうでない層は『結婚したくない』（結婚したくない+どちらかといえば結婚したくない）の割合が高くなっています。



問 17 で「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」を選んだ方

問 17 (1) あなたは、自分が何歳くらいの時に結婚したいですか。(1つを選択)

「25～29歳」が42.6%と最も高く、次いで「30～34歳」が29.4%、「35～39歳」が16.3%となっています。



問 1 性別、問 2 年齢別×問 17 (1) 結婚したい年齢

性別でみると、いずれも「25～29歳」が最も高く、女性が男性よりも7.4ポイント高く、より早い年齢での結婚を望んでいます。

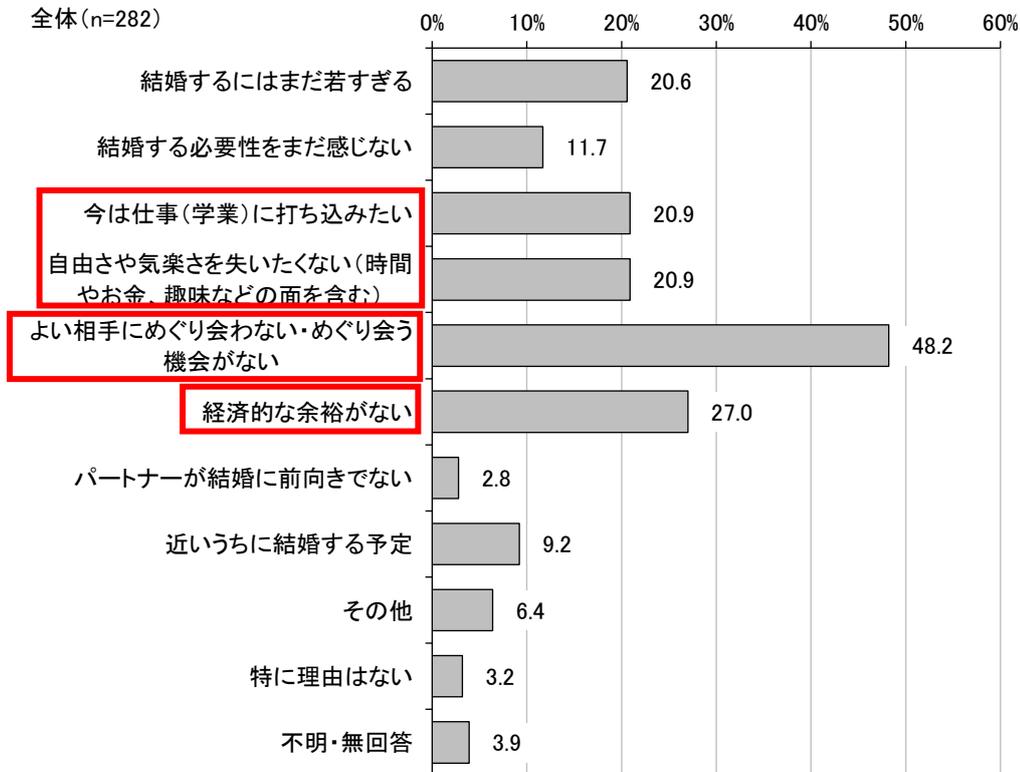
年齢別でみると、18～19歳、20～24歳の結婚したい年齢では「25～29歳」、25～29歳の結婚したい年齢では「25～29歳」「30～34歳」が最も高くなっています。30～34歳、35～39歳では、結婚したい年齢もそれぞれ同じ年齢区分が最も高くなっています。

単位: %		1 8 5 1 9 歳	2 0 5 2 4 歳	2 5 5 2 9 歳	3 0 5 3 4 歳	3 5 5 3 9 歳	4 0 5 4 4 歳	4 5 5 4 9 歳	5 0 5 5 9 歳	6 0 歳 以 上	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=282)		0.7	5.7	42.6	29.4	16.3	3.9	0.4	0.0	0.0	1.1
性別	男性 (n=113)	0.0	3.5	38.1	32.7	17.7	5.3	0.9	0.0	0.0	1.8
	女性 (n=165)	1.2	7.3	45.5	27.3	15.2	3.0	0.0	0.0	0.0	0.6
	どちらともいえない、わからない、答えたくない など (n=4)	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	18～19歳 (n=41)	4.9	19.5	61.0	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳 (n=78)	0.0	9.0	76.9	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
	25～29歳 (n=72)	0.0	0.0	47.2	47.2	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～34歳 (n=52)	0.0	1.9	0.0	63.5	34.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	35～39歳 (n=39)	0.0	0.0	2.6	0.0	61.5	28.2	2.6	0.0	0.0	5.1

問 17 で「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」を選んだ方

問 17 (2) 現在、結婚していない理由は何ですか。(3つまで選択)

「よい相手にめぐり会わない・めぐり会う機会がない」が 48.2% と最も高く、次いで「経済的な余裕がない」が 27.0%、「今は仕事(学業)に打ち込みたい」「自由さや気楽さを失いたくない(時間やお金、趣味などの面を含む)」が 20.9% となっています。



問1 性別、問2 年齢別×問17(2) 結婚していない理由

性別でみると、男性、女性ともに「よい相手にめぐり合わない・めぐり会う機会がない」、その他※では「経済的な余裕がない」が最も高くなっています。「よい相手にめぐり合わない・めぐり会う機会がない」の割合では、男性が女性よりも6.7ポイント高く、「経済的な余裕がない」の割合では、男性が女性よりも15.4ポイント高くなっています。また、「今は仕事(学業)に打ち込みたい」の割合では、女性が男性より6.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、18～19歳では「結婚するにはまだ若すぎる」、それ以外の年齢では「よい相手にめぐり合わない・めぐり会う機会がない」が最も高くなっています。30代では「よい相手にめぐり合わない・めぐり会う機会がない」の割合が他の年齢と比べて高くなっています。

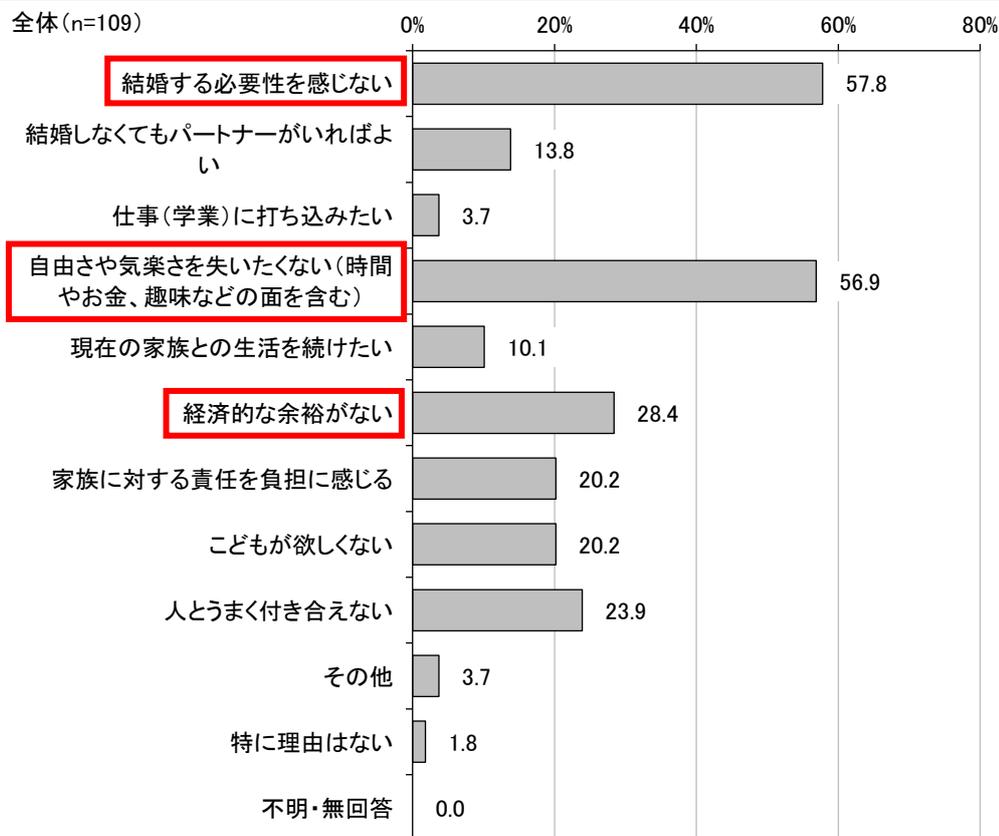
単位：%		結婚するにはまだ若すぎる	結婚する必要性をまだ感じない	今は仕事(学業)に打ち込みたい(時間やお金、趣味などの面を含む)	自由さや気楽さを失いたくない	よい相手にめぐり合わない・めぐり会う機会がない	経済的な余裕がない	パートナーが結婚に前向きでない	近いうちに結婚する予定	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体(n=282)		20.6	11.7	20.9	20.9	48.2	27.0	2.8	9.2	6.4	3.2	3.9
性別	男性(n=113)	18.6	7.1	16.8	19.5	52.2	35.4	0.0	7.1	6.2	2.7	5.3
	女性(n=165)	21.8	15.2	23.6	21.2	45.5	20.0	4.8	10.9	6.1	3.6	3.0
	どちらともいえない、わからない、答えたくない など(n=4)	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
年齢	18～19歳(n=41)	65.9	7.3	51.2	12.2	26.8	22.0	2.4	2.4	7.3	2.4	2.4
	20～24歳(n=78)	33.3	14.1	28.2	15.4	37.2	25.6	1.3	5.1	3.8	2.6	7.7
	25～29歳(n=72)	6.9	16.7	16.7	37.5	43.1	23.6	2.8	15.3	6.9	5.6	4.2
	30～34歳(n=52)	0.0	7.7	5.8	13.5	73.1	26.9	3.8	11.5	5.8	1.9	1.9
	35～39歳(n=39)	0.0	7.7	2.6	20.5	69.2	41.0	5.1	10.3	10.3	2.6	0.0

※その他…「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」

問 17 で「どちらかといえば結婚したくない」「結婚したくない」を選んだ方

問 17 (3) 結婚したくない理由は何ですか。(3つまで選択)

「結婚する必要性を感じない」が 57.8% と最も高く、次いで「自由さや気楽さを失いたくない(時間やお金、趣味などの面を含む)」が 56.9%、「経済的な余裕がない」が 28.4% となっています。



問1 性別、問2 年齢別×問17(3) 結婚したくない理由

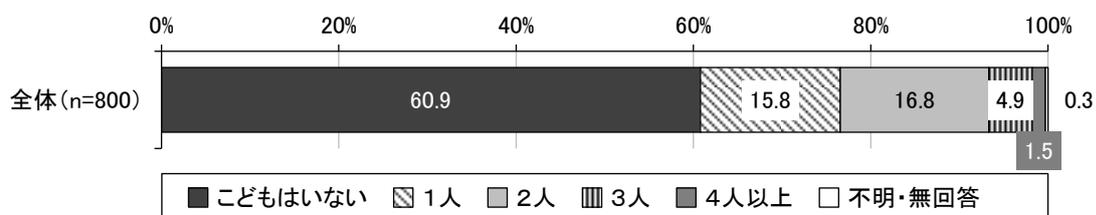
性別でみると、男性では「自由さや気楽さを失いたくない(時間やお金、趣味などの面を含む)」、女性では「結婚する必要性を感じない」が最も高くなっています。また、「自由さや気楽さを失いたくない(時間やお金、趣味などの面を含む)」「経済的な余裕がない」の割合では、男性が女性よりも15.0ポイント以上高い一方、「結婚する必要性を感じない」「こどもが欲しくない」の割合では、女性が男性よりも10.0ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、20～24歳、30～34歳では「自由さや気楽さを失いたくない(時間やお金、趣味などの面を含む)」、それ以外の年齢では「結婚する必要性を感じない」が最も高くなっています。25～29歳では「人とうまく付き合えない」の割合が53.3%と、他の年齢と比べて高くなっています。

単位: %		結婚する必要性を感じない	結婚しなくてもパートナーがいればよい	仕事(学業)に打ち込みたい	面を含む)	自由さや気楽さを失いたくない(時間やお金、趣味などの面を含む)	現在の家族との生活を続けた	経済的な余裕がない	家族に対する責任を負担に感じる	こどもが欲しくない	人とうまく付き合えない	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体(n=109)		57.8	13.8	3.7	56.9	10.1	28.4	20.2	20.2	23.9	3.7	1.8	0.0	
性別	男性(n=36)	47.2	13.9	0.0	66.7	5.6	44.4	19.4	13.9	27.8	11.1	0.0	0.0	
	女性(n=70)	61.4	11.4	4.3	51.4	12.9	20.0	21.4	24.3	22.9	0.0	2.9	0.0	
	どちらともいえない、わからない、答えたくない など(n=3)	100.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢	18～19歳(n=11)	81.8	18.2	0.0	18.2	0.0	18.2	18.2	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	
	20～24歳(n=21)	66.7	23.8	9.5	81.0	9.5	33.3	23.8	14.3	9.5	0.0	0.0	0.0	
	25～29歳(n=15)	60.0	6.7	0.0	53.3	6.7	26.7	20.0	20.0	53.3	13.3	0.0	0.0	
	30～34歳(n=36)	38.9	16.7	2.8	55.6	19.4	30.6	19.4	25.0	25.0	2.8	5.6	0.0	
	35～39歳(n=26)	65.4	3.8	3.8	57.7	3.8	26.9	19.2	19.2	19.2	3.8	0.0	0.0	

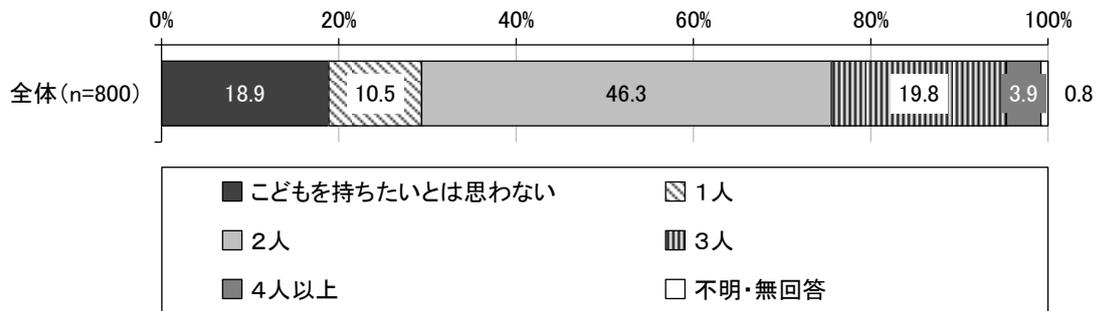
問18 あなたは、現在何人のこどもがいらっしゃいますか。(1つを選択)

「こどもはいない」が60.9%と最も高く、次いで「2人」が16.8%、「1人」が15.8%となっています。



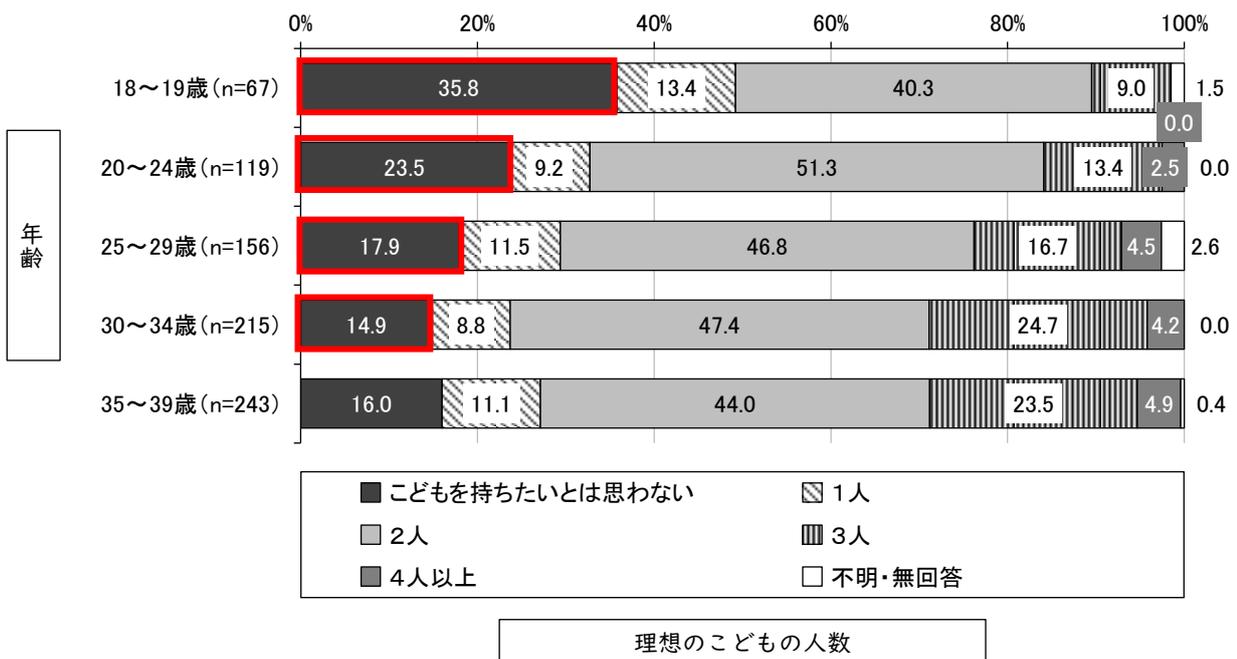
問 19 理想として、あなたが持ちたいこどもの人数は何人ですか（現在のこどもの人数を含めます）。（1つを選択）

「2人」が46.3%と最も高く、次いで「3人」が19.8%、「子どもを持ちたいとは思わない」が18.9%となっています。



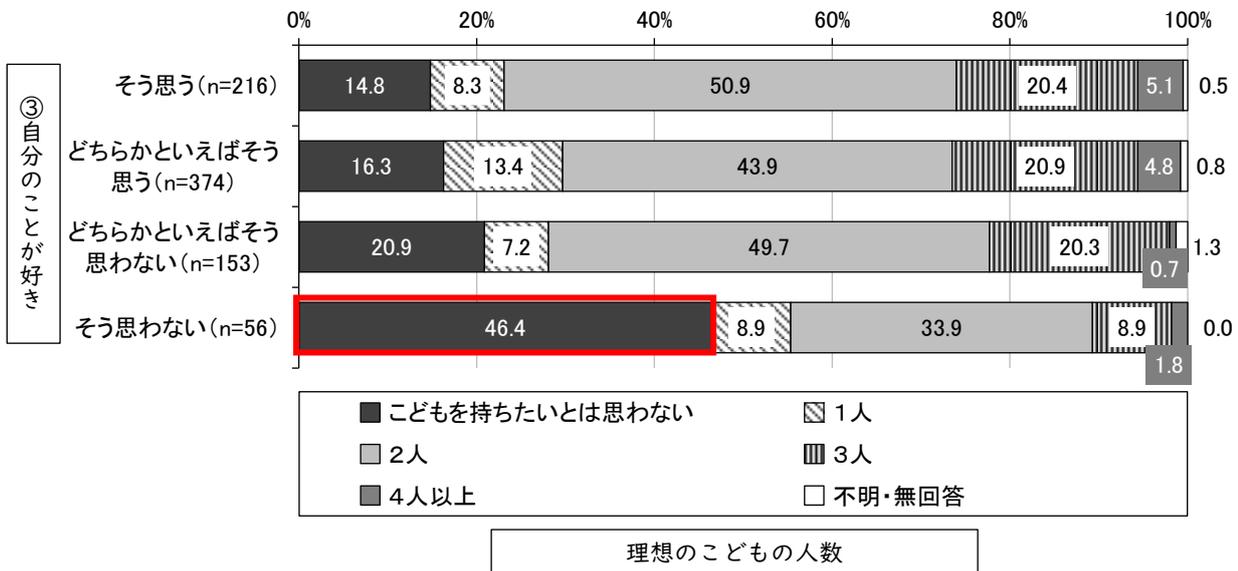
問 2 年齢別 × 問 19 理想のこどもの人数

年齢別で見ると、すべての年齢で「2人」が最も高くなっています。35～39歳を除き、年齢が上がるほど、「子どもを持ちたいとは思わない」の割合が低くなっています。



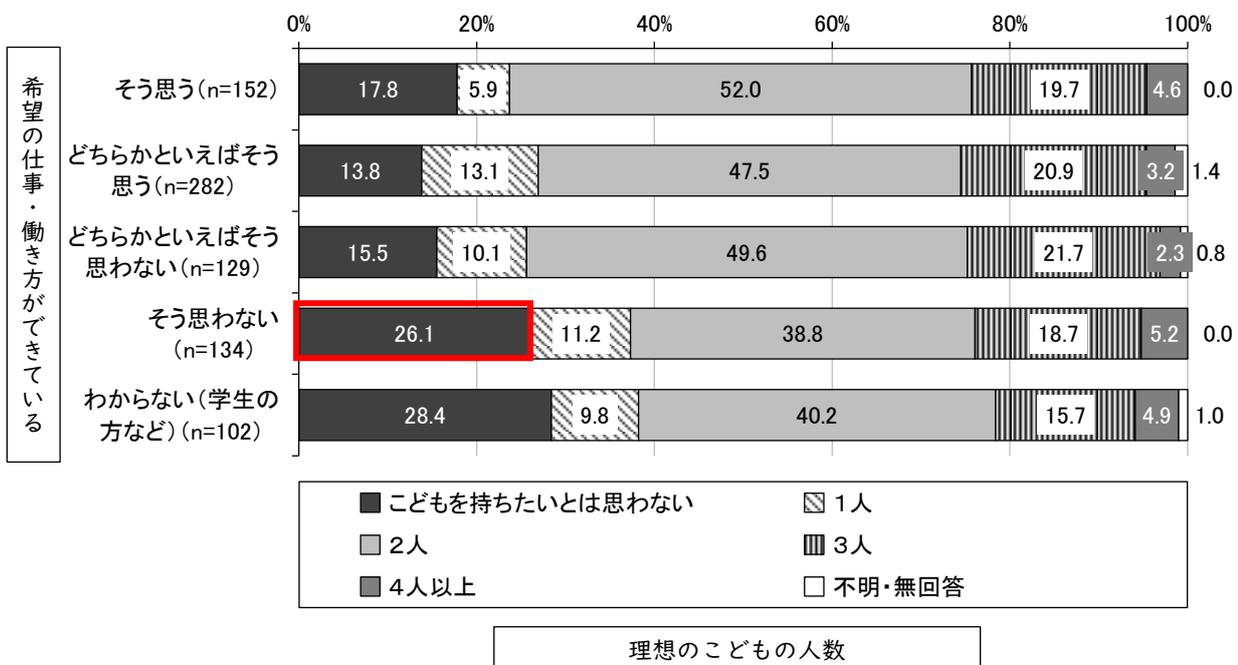
問8 ③自分のことが好き×問19 理想のこどもの人数

自分のことが好きかで見ると、そう思わないでは「こどもを持ちたいとは思わない」、それ以外の区分では「2人」が最も高くなっています。そう思わないときの「こどもを持ちたいとは思わない」の割合は46.4%と、他の区分と比べて高くなっています。



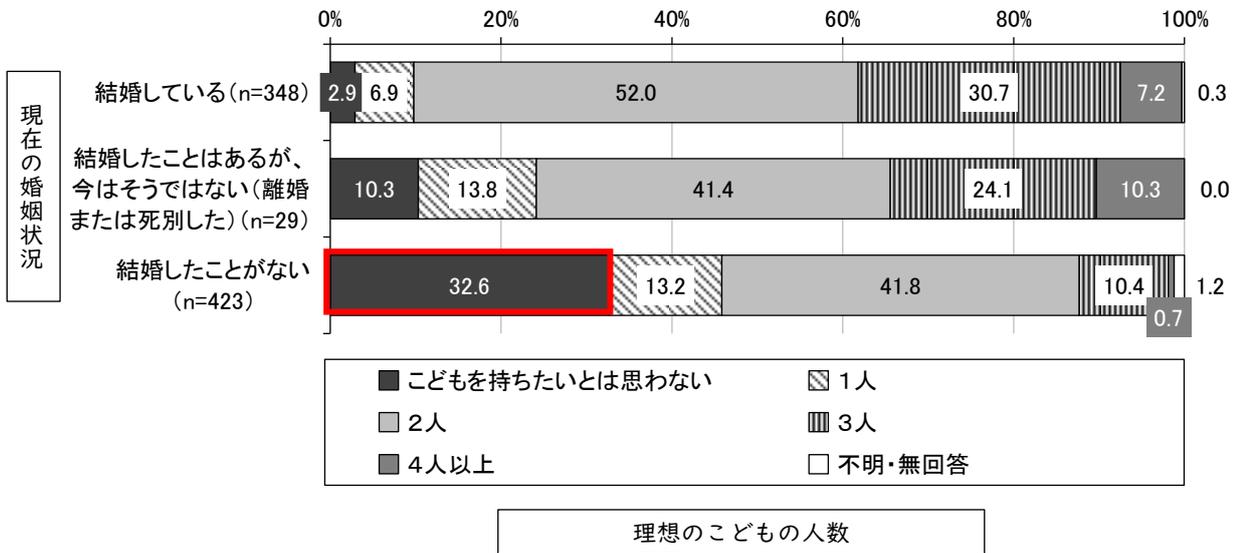
問14 希望の仕事・働き方ができている×問19 理想のこどもの人数

すべての区分で「2人」が最も高くなっています。そう思わないでは「こどもを持ちたいとは思わない」の割合が26.1%と、わからないを除く他の区分と比べて高くなっています。



問 16 現在の婚姻状況×問 19 理想のこどもの人数

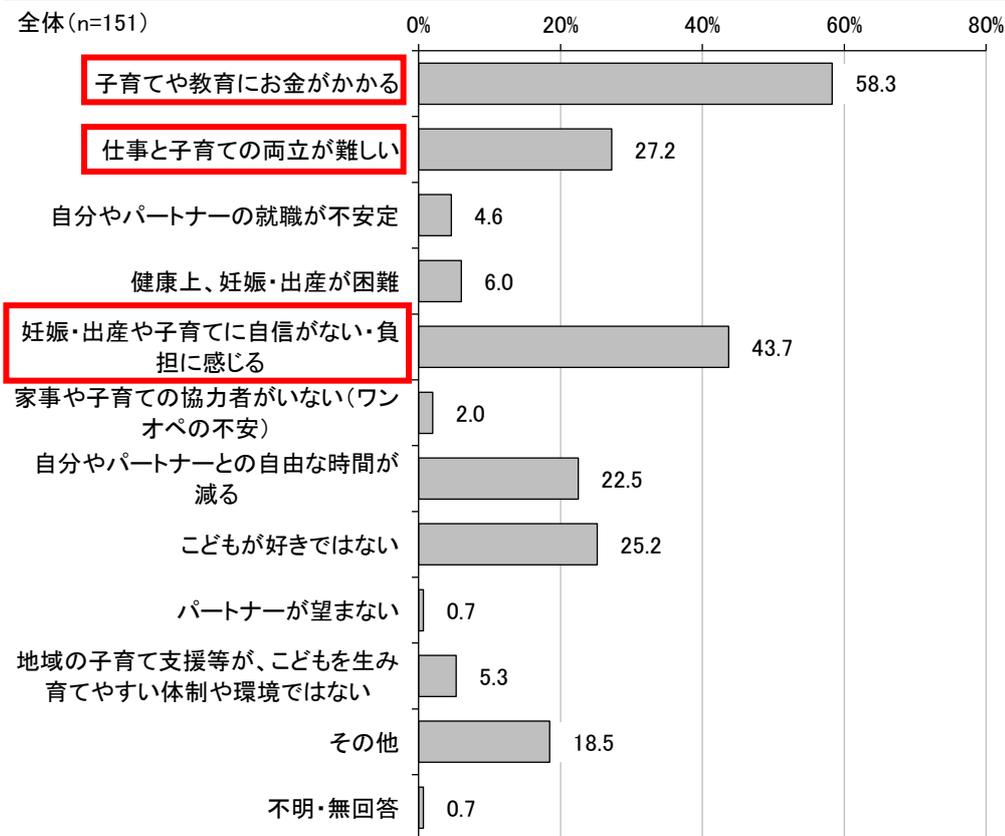
現在の婚姻状況でみると、すべての区分で「2人」が最も高くなっています。結婚したことがないでは「こどもを持ちたいとは思わない」の割合が32.6%と、他の区分と比べて高くなっています。



問 19 で「子どもを持ちたいとは思わない」を選んだ方

問 20 子どもを持ちたいとは思わない理由は何ですか。(3つまで選択)

「子育てや教育にお金がかかる」が 58.3%と最も高く、次いで「妊娠・出産や子育てに自信がない・負担を感じる」が 43.7%、「仕事と子育ての両立が難しい」が 27.2%となっています。



問1 性別、問2 年齢別×問20 こどもを持ちたいと思わない理由

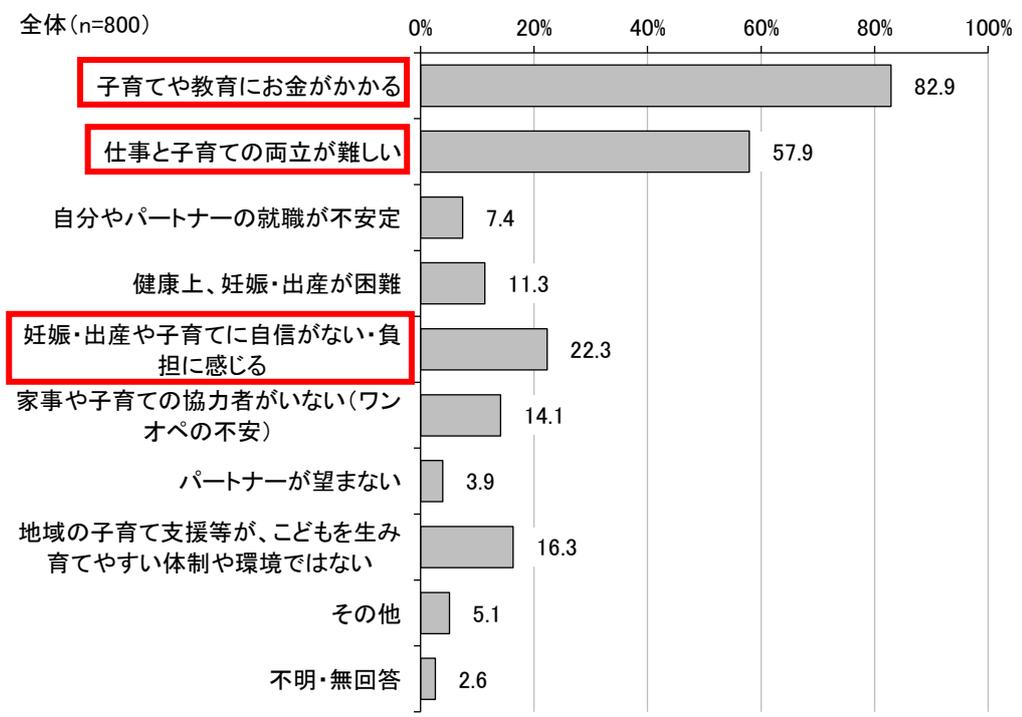
性別でみると、いずれも「子育てや教育にお金がかかる」が最も高くなっています。「子育てや教育にお金がかかる」「妊娠・出産や子育てに自信がない・負担に感じる」の割合では、女性が男性よりも大幅に高い結果となっています。

年齢別でみると、すべての年齢で「子育てや教育にお金がかかる」が最も高くなっています。25～29歳、30～34歳では「妊娠・出産や子育てに自信がない・負担に感じる」が50.0%と、他の年齢と比べて高くなっています。

単位：%		子育てや教育にお金がかかる	仕事と子育ての両立が難しい	安定 自分やパートナーの就職が不安定	健康上、妊娠・出産が困難	妊娠・出産や子育てに自信がない・負担に感じる	家事や子育ての協力者がいない（ワンオペの不安）	時間が減る 自分やパートナーとの自由な時間	こどもが好きではない	パートナーが望まない	地域の子育て支援等が、こどもを生まみ育てやすい体制や環境ではない	その他	不明・無回答
全体(n=151)		58.3	27.2	4.6	6.0	43.7	2.0	22.5	25.2	0.7	5.3	18.5	0.7
性別	男性(n=51)	49.0	23.5	7.8	0.0	25.5	2.0	29.4	19.6	2.0	2.0	27.5	0.0
	女性(n=93)	64.5	29.0	1.1	9.7	54.8	2.2	19.4	29.0	0.0	6.5	11.8	1.1
	どちらともいえない、わからない、答えたくない など(n=7)	42.9	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0
年齢	18～19歳(n=24)	62.5	29.2	0.0	4.2	41.7	4.2	25.0	16.7	0.0	4.2	25.0	0.0
	20～24歳(n=28)	75.0	39.3	7.1	3.6	35.7	0.0	17.9	14.3	3.6	14.3	17.9	0.0
	25～29歳(n=28)	53.6	14.3	0.0	0.0	50.0	3.6	25.0	32.1	0.0	3.6	17.9	0.0
	30～34歳(n=32)	56.3	34.4	6.3	12.5	50.0	3.1	18.8	28.1	0.0	3.1	21.9	0.0
	35～39歳(n=39)	48.7	20.5	7.7	7.7	41.0	0.0	25.6	30.8	0.0	2.6	12.8	2.6

問 21 理想のこどもの人数を持ってない（望めない）場合、その理由は何だと思えますか。
（3つまで選択）

「子育てや教育にお金がかかる」が 82.9%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が 57.9%、「妊娠・出産や子育てに自信がない・負担を感じる」が 22.3%となっています。



問1 性別、問2 年齢別×問21 理想のこどもの人数を持ってない（望めない）理由

性別でみると、いずれも「子育てや教育にお金がかかる」が最も高くなっています。「妊娠・出産や子育てに自信がない・負担を感じる」「家事や子育ての協力者がいない（ワンオペの不安）」の割合では、女性が男性よりも9.0ポイント以上高くなっています。また、「地域の子育て支援等が、子どもを生み育てやすい体制や環境ではない」の割合では、その他※が男性、女性より6.0ポイント以上高くなっています。

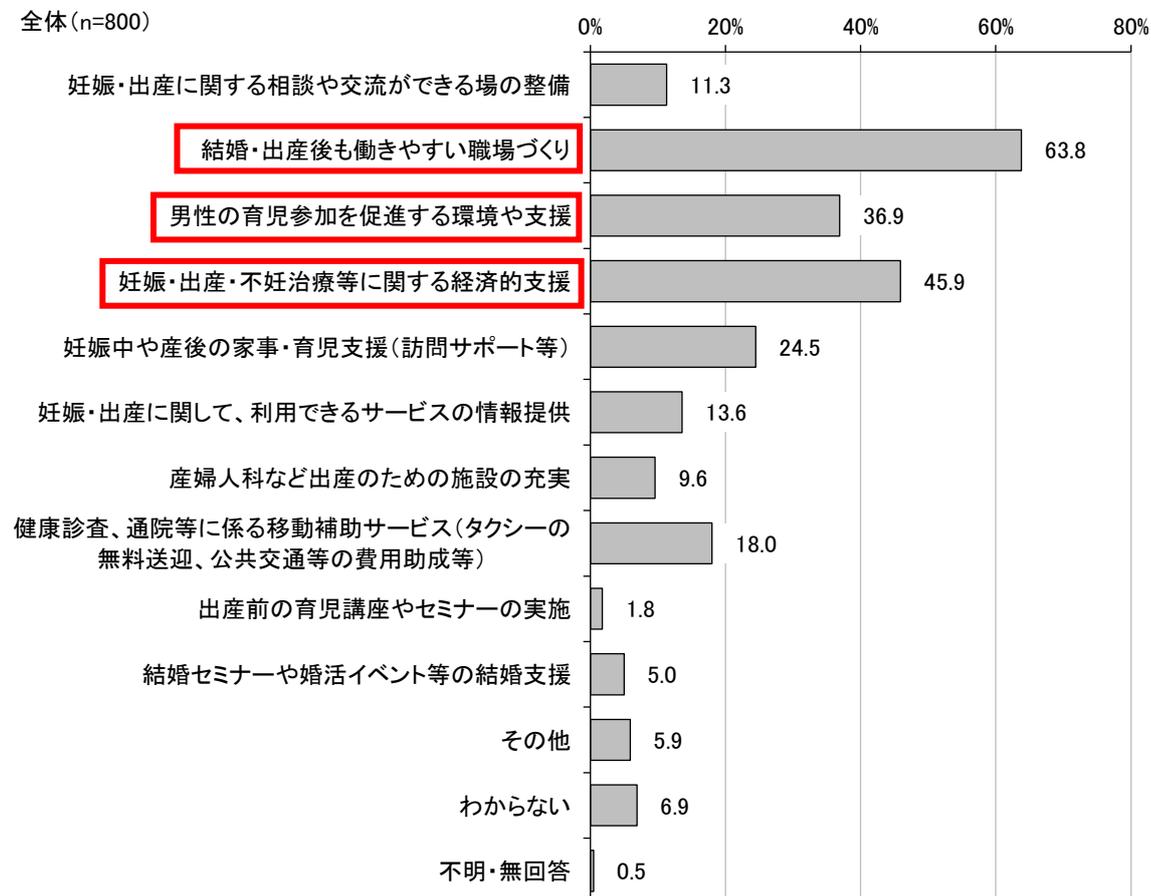
年齢別でみると、すべての年齢で「子育てや教育にお金がかかる」が最も高くなっています。年齢があがるにつれて、「家事や子育ての協力者がいない（ワンオペの不安）」の割合が高くなっています。

単位：%		子育てや教育にお金がかかる	仕事と子育ての両立が難しい	自分やパートナーの就職が不安定	健康上、妊娠・出産が困難	妊娠・出産や子育てに自信がない・負担を感じる	家事や子育ての協力者がいない（ワンオペの不安）	パートナーが望まない	地域の子育て支援等が、子どもを生み育てやすい体制や環境ではない	その他	不明・無回答
全体(n=800)		82.9	57.9	7.4	11.3	22.3	14.1	3.9	16.3	5.1	2.6
性別	男性(n=289)	83.7	57.8	9.0	9.7	16.3	7.6	6.6	14.5	5.5	2.1
	女性(n=498)	82.5	58.0	6.2	12.4	25.7	18.3	2.4	17.1	4.6	2.8
	どちらともいえない、わからない、答えたくない など(n=13)	76.9	53.8	15.4	0.0	23.1	0.0	0.0	23.1	15.4	7.7
年齢	18～19歳(n=67)	79.1	56.7	6.0	10.4	26.9	6.0	4.5	17.9	10.4	1.5
	20～24歳(n=119)	87.4	58.0	10.9	14.3	21.8	10.1	3.4	14.3	4.2	0.8
	25～29歳(n=156)	84.0	54.5	4.5	9.6	25.0	10.3	1.9	17.9	3.8	4.5
	30～34歳(n=215)	85.1	56.3	7.0	10.7	22.8	16.7	1.9	14.9	5.6	2.3
	35～39歳(n=243)	79.0	61.7	8.2	11.5	18.9	18.5	7.0	16.9	4.5	2.9

※その他…「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」

問 22 結婚や出産を望む方が、より実現しやすい環境をつくるには、どのような支援があればよいと思いますか。（3つまで選択）

「結婚・出産後も働きやすい職場づくり」が63.8%と最も高く、次いで「妊娠・出産・不妊治療等に関する経済的支援」が45.9%、「男性の育児参加を促進する環境や支援」が36.9%となっています。



問1 性別、問2 年齢別、問13 現在の経済状況、問16 現在の婚姻状況

×問22 結婚・出産しやすい環境づくりに必要な支援

性別でみると、いずれも「結婚・出産後も働きやすい職場づくり」が最も高くなっています。「結婚・出産後も働きやすい職場づくり」「妊娠中や産後の家事・育児支援（訪問サポート等）」の割合では、女性が男性よりも8.0ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、すべての年齢で「結婚・出産後も働きやすい職場づくり」が最も高くなっています。18～19歳では「男性の育児参加を促進する環境や支援」の割合が46.3%と、他の年齢と比べて高くなっています。

現在の経済状況でみると、すべての区分で「結婚・出産後も働きやすい職場づくり」が最も高くなっています。経済状況が豊かと感じている人では、「結婚・出産に関する相談や交流ができる場の整備」の割合が20.9%と、他の区分と比べて高くなっています。また、経済状況が苦しいと感じている人ほど、「健康診査、通院等に係る移動補助サービス（タクシーの無料送迎、公共交通等の費用助成等）」の割合が他の区分と比べて高くなっています。

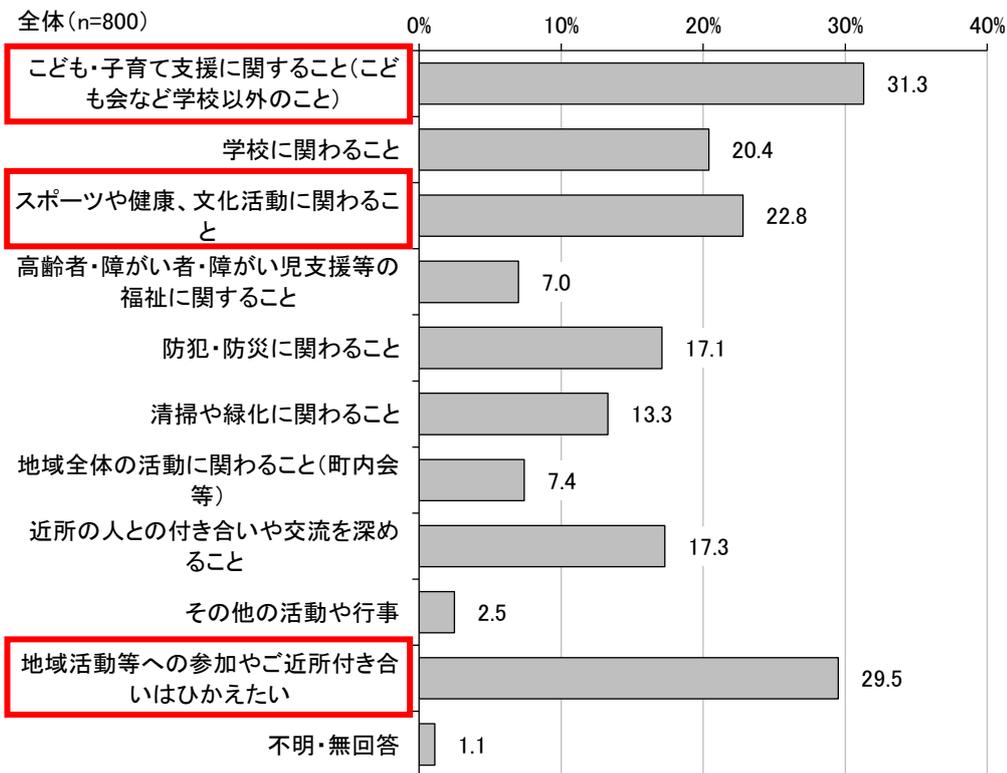
現在の婚姻状況でみると、すべての区分で「結婚・出産後も働きやすい職場づくり」が最も高くなっています。

単位：%		妊娠・出産に関する相談や交流	結婚・出産後も働きやすい職場	男性の育児参加を促進する環境	妊娠・出産・不妊治療等に関する経済的支援	妊娠中や産後の家事・育児支援（訪問サポート等）	妊娠・出産に関する情報提供	産婦人科など出産のための施設	健康診査、通院等に係る移動補助サービス（タクシーの無料送迎等の費用助成等）	出産前の育児講座やセミナーの実施	結婚セミナーや婚活イベント等	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=800)		11.3	63.8	36.9	45.9	24.5	13.6	9.6	18.0	1.8	5.0	5.9	6.9	0.5
性別	男性(n=289)	14.5	55.7	34.3	42.6	19.7	15.2	6.2	15.6	2.4	7.3	7.3	9.7	0.7
	女性(n=498)	9.4	68.5	38.4	48.4	27.9	13.1	11.4	19.1	1.4	3.6	5.0	5.0	0.2
	どちらともいえない、わからない、答えたくないなど(n=13)	7.7	61.5	38.5	23.1	0.0	0.0	15.4	30.8	0.0	7.7	7.7	15.4	7.7
年齢	18～19歳(n=67)	9.0	67.2	46.3	44.8	11.9	9.0	7.5	10.4	4.5	0.0	3.0	19.4	0.0
	20～24歳(n=119)	14.3	65.5	37.8	32.8	26.9	16.8	2.5	26.9	3.4	3.4	5.0	9.2	0.0
	25～29歳(n=156)	16.7	55.1	35.9	44.9	25.6	16.7	12.8	17.9	1.3	3.2	6.4	3.2	1.9
	30～34歳(n=215)	7.9	67.0	35.3	49.3	24.7	13.5	8.8	18.6	0.9	7.4	5.1	5.1	0.0
	35～39歳(n=243)	9.9	64.6	35.8	50.2	25.9	11.5	12.3	15.2	1.2	6.2	7.4	6.2	0.4
現在の経済状況	豊か(n=67)	20.9	52.2	34.3	31.3	28.4	17.9	6.0	10.4	3.0	7.5	4.5	11.9	1.5
	やや豊か(n=155)	9.7	71.0	40.6	42.6	29.0	15.5	11.0	18.1	0.6	1.9	3.9	4.5	0.0
	豊かでも苦しくもない(n=312)	11.9	65.4	37.2	47.1	23.4	14.4	9.6	15.1	2.6	6.1	6.1	6.1	0.6
	やや苦しい(n=162)	9.9	63.6	31.5	52.5	26.5	9.3	9.3	20.4	1.2	4.9	6.2	6.2	0.6
	苦しい(n=103)	7.8	55.3	40.8	45.6	14.6	12.6	10.7	28.2	1.0	4.9	8.7	10.7	0.0
現在の婚姻状況	結婚している(n=348)	8.3	67.8	42.5	55.7	27.3	12.1	11.2	15.2	0.6	2.0	6.6	1.4	0.3
	結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚または死別した)(n=29)	6.9	75.9	34.5	55.2	17.2	6.9	0.0	27.6	0.0	6.9	10.3	3.4	0.0
	結婚したことがない(n=423)	13.9	59.6	32.4	37.1	22.7	15.4	9.0	19.6	2.8	7.3	5.0	11.6	0.7

5 地域・まちづくり・行政等について

問 23 あなたは、今後、どのような地域の活動や行事に参加したいと思いますか。
(あてはまる番号すべてを選択)

「こども・子育て支援に関すること(こども会など学校以外のこと)」が31.3%と最も高く、次いで「地域活動等への参加やご近所付き合いはひかえたい」が29.5%、「スポーツや健康、文化活動に関わること」が22.8%となっています。



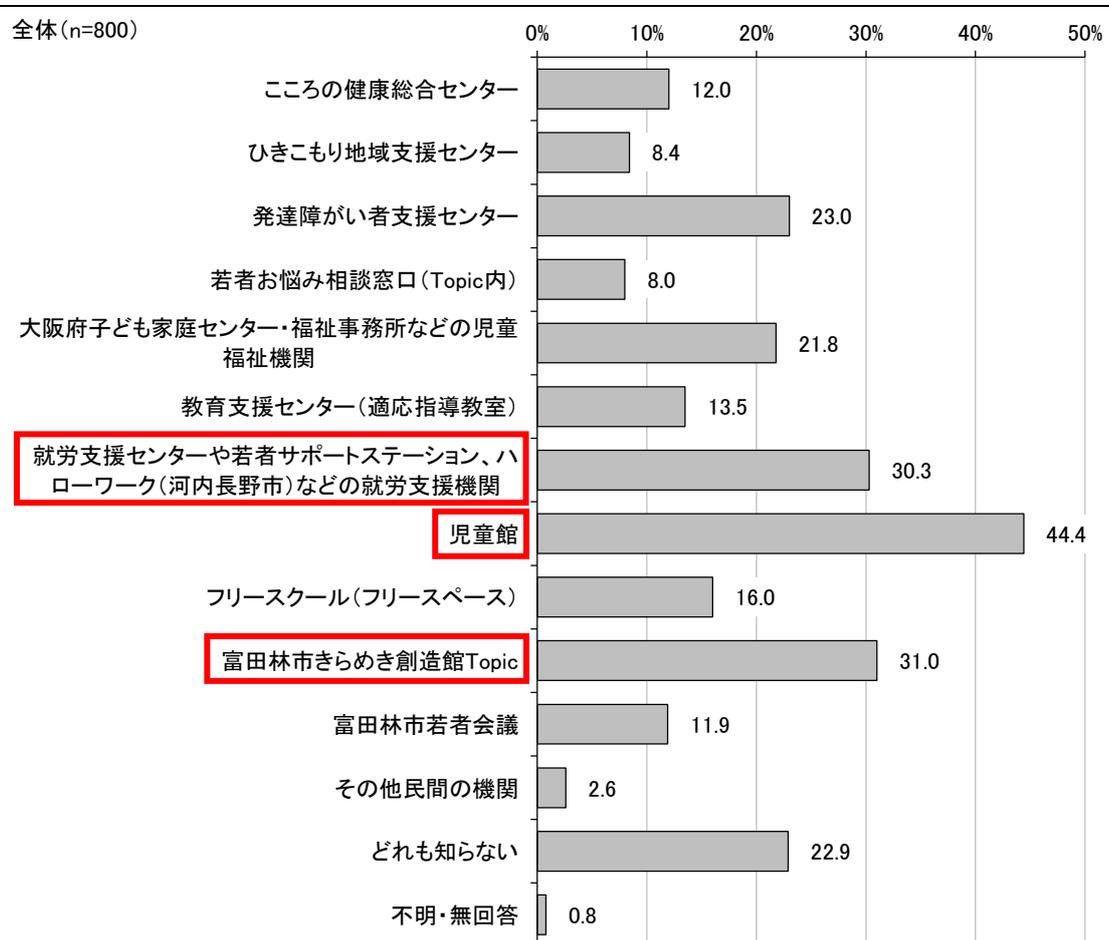
問2 年齢別×問23 今後参加したい地域の活動や行事

年齢別で見ると、18～19歳では「地域活動等への参加やご近所付き合いはひかえたい」、20～24歳では「スポーツや健康、文化活動に関わること」、25～29歳、35～39歳では「子ども・子育て支援に関すること（子ども会など学校以外のこと）」、30～34歳では「子ども・子育て支援に関すること（子ども会など学校以外のこと）」「地域活動等への参加やご近所付き合いはひかえたい」が最も高くなっています。また、年齢があがるにつれて、「子ども・子育て支援に関すること（子ども会など学校以外のこと）」の割合が高くなっています。

単位：%		子ども・子育て支援に関すること (子ども会など学校以外のこと)	学校に関わること	スポーツや健康、文化活動に関わること	高齢者・障がい者・障がい児支援等の福祉に関すること	防犯・防災に関わること	清掃や緑化に関わること	地域全体の活動に関わること(町内会等)	近所の人との付き合いや交流を深めること	その他の活動や行事	地域活動等への参加やご近所付き合いはひかえたい	不明・無回答
全体(n=800)		31.3	20.4	22.8	7.0	17.1	13.3	7.4	17.3	2.5	29.5	1.1
年齢	18～19歳(n=67)	7.5	25.4	20.9	7.5	10.4	22.4	1.5	17.9	3.0	26.9	3.0
	20～24歳(n=119)	21.8	16.0	31.1	11.8	17.6	13.4	10.1	21.0	0.8	29.4	0.8
	25～29歳(n=156)	31.4	14.7	20.5	7.1	16.0	12.8	5.8	15.4	4.5	28.2	1.3
	30～34歳(n=215)	35.3	17.7	20.5	4.2	13.5	6.0	6.5	16.7	1.9	35.3	0.5
	35～39歳(n=243)	38.7	27.2	22.6	7.0	22.6	17.3	9.5	16.9	2.5	25.9	1.2

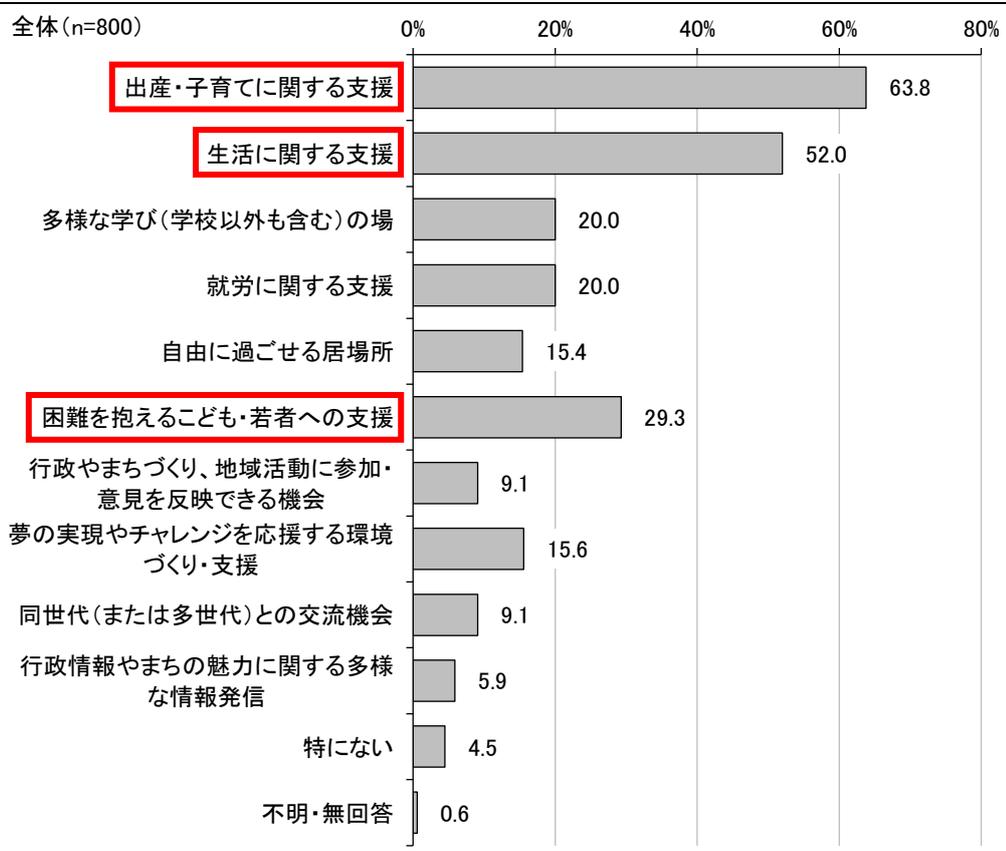
問 24 こども・若者を対象とした支援機関等について、知っているものを選んでください。
(あてはまる番号すべてを選択)

「児童館」が44.4%と最も高く、次いで「富田林市きらめき創造館 Topic」が31.0%、「就労支援センターや若者サポートステーション、ハローワーク（河内長野市）などの就労支援機関」が30.3%となっています。



問 25 あなたは、これからの若者のために、富田林市で今後充実すべき取組は何だと思えますか。(3つまで選択)

「出産・子育てに関する支援」が63.8%と最も高く、次いで「生活に関する支援」が52.0%、「困難を抱えるこども・若者への支援」が29.3%となっています。



問1 性別、問2 年齢別×問25 これからの若者のために今後充実すべき取組

性別でみると、男性、女性ともに「出産・子育てに関する支援」、その他※では「生活に関する支援」が最も高くなっています。「出産・子育てに関する支援」「困難を抱えるこども・若者への支援」の割合では、女性が男性よりも8.0ポイント以上高くなっています。また、「生活に関する支援」「多様な学び（学校以外も含む）の場」「困難を抱えるこども・若者への支援」の割合では、その他が男性、女性よりも13.0ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、18～19歳では「生活に関する支援」、20～24歳では「出産・子育てに関する支援」「生活に関する支援」、それ以外の年齢では「出産・子育てに関する支援」が最も高くなっています。「自由に過ごせる居場所」「行政やまちづくり、地域活動に参加・意見を反映できる機会」「夢の実現やチャレンジを応援する環境づくり・支援」「行政情報や町の魅力に関する多様な情報発信」は、24歳以下の層でより高い傾向がみられます。

単位：%		出産・子育てに関する支援	生活に関する支援	多様な学び（学校以外も含む）の場	就労に関する支援	自由に過ごせる居場所	困難を抱えるこども・若者への支援	動に参加・意見を反映できる機会	行政やまちづくり、地域活動	夢の実現やチャレンジを応援する環境づくり・支援	同世代（または多世代）との交流機会	行政情報やまちの魅力に関する多様な情報発信	特になし	不明・無回答
全体(n=800)		63.8	52.0	20.0	20.0	15.4	29.3	9.1	15.6	9.1	5.9	4.5	0.6	
性別	男性(n=289)	58.8	52.2	19.7	20.1	14.5	22.1	13.5	18.0	11.8	8.0	5.2	0.7	
	女性(n=498)	67.1	51.4	19.5	20.1	15.9	32.9	6.6	14.3	7.8	4.8	4.2	0.6	
	どちらともいえない、わからない、答えたくない など(n=13)	46.2	69.2	46.2	15.4	15.4	46.2	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢	18～19歳(n=67)	46.3	47.8	16.4	19.4	20.9	25.4	13.4	16.4	10.4	3.0	11.9	0.0	
	20～24歳(n=119)	43.7	43.7	20.2	21.0	21.0	30.3	14.3	26.1	10.1	10.9	5.9	0.8	
	25～29歳(n=156)	68.6	57.7	13.5	17.3	11.5	28.8	9.0	14.1	10.9	5.8	4.5	1.3	
	30～34歳(n=215)	71.2	56.7	17.7	18.1	13.5	26.0	7.4	9.8	8.8	4.7	4.7	0.0	
	35～39歳(n=243)	68.7	49.4	27.2	23.0	15.2	32.9	7.0	16.5	7.4	5.3	1.6	0.8	

※その他…「どちらともいえない、わからない、答えたくない など」

Ⅲ その他回答まとめ

ここでは自由記述の主な内容をまとめました。詳細については資料編をご覧ください。

問3 あなたのお住まいの小学校区をお答えください。（1つを選択）

内容	件数
寺池台	3
美山台	2
五軒家	2
新堂	2
須賀	2
甘山2丁目	1
甲田	1
津々山	1

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。（あてはまる番号すべてを選択）

内容	件数
グループホーム	1
父、母	1

問5 あなたの現在について、あてはまるものをお答えください。（1つを選択）

内容	件数
会社員育休中・育児休業中	2
休職中	1
弁護士	1
就労継続支援	1
求職者	1
障害者福祉作業所	1

問6 あなたにとって安心できる居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）はどこですか。（3つまで選択）

内容	件数
友人・友達・友達の家・友達といる時・友人と過ごす時間や空間	5
車・車の中・自家用車内	3
カフェ・カフェや映画館などの一人になれる空間	2

内容	件数
睡眠中の夢	1
1人である時	1
彼氏の家	1

問7 あなたがよく会話をする人や、一緒にいたいと思う人はどなたですか。（3つまで選択）

内容	件数
子供の保育園の保育士	1
療育や広場のスタッフ	1
児童館や子育てひろばのスタッフさん	1
子育てひろばのスタッフさんやママさん	1
作業所の職員	1

問10 あなたは、現在どのような悩みや心配ごとがありますか。（あてはまる番号すべてを選択）

内容	件数
不妊について・妊娠について	2
日本の平和は続くのか	1
この国の未来	1
親戚のこと	1
自分らしさのこと	1
いじめ	1
離婚	1
日本語が不十分	1
外国人の犯罪が増えすぎていて怖いこと	1
制作	1
事業の事	1
不当解雇され労災申請も傷病手当申請も妨害されている	1

問11 あなたは普段悩みや心配ごとを誰に相談しますか（または相談しやすいですか）。（あてはまる番号すべてを選択）

内容	件数
ChatGPT	3
AI	1
読書をして気分を発散	1
作業所の職員	1

問12(1) 問12で「していない」を選んだ場合、その理由について最もあてはまる番号1つを選択してください。

内容	件数
子育て・子育て中のため・育休中・育休中のため・育休のため	8
学生・学生のため・大学生	5
妊娠中	1
引越して来たばかりかつ小さな子供がいるため	1
親がご飯や光熱費を払ってる	1
休職中のため	1
働きたいが、子育てをしているため、希望の仕事に就職することが難しい	1
働きたいけど無職の期間が長くて人と関わるのが怖くて気力が出ない	1

問15 仕事や経済面で必要だと思う支援は何ですか。(3つまで選択)

内容	件数
税金について	8
税の見直し・103万枠の引き上げ・社会保険料の減税	など
働く環境について	3
したい仕事を年齢に関係なくチャレンジしたい・夜勤の是正・休暇	
経済的支援について	3
光熱費等の公共料金・手当など	など
外国人政策について	2
外国人を雇うのではなく、求職している日本人を見合った報酬で優先して雇う事	など
子育て支援について	2
子育て・出産に関する消耗品のサポートや金銭的なサポート・子育て支援	
その他	7
障害への支援・引きこもりの学びなおし・人生経験がまだ浅いので考えつかないです	など

問17(2) 現在、結婚していない理由は何ですか。(3つまで選択)

内容	件数
学生・学生だから・まだ学生だから・学生の為	4
精神疾患の関係	1
自身が結婚するに値しない	1
人との関係性を深く継続しづらい	1
正社員ではないため	1
お金が無い	1
そもそもパートナーがいない	1

内容	件数
今の状況だと相手に負担を多くかけそうで	1

問17（3） 結婚したくない理由は何ですか。（3つまで選択）

内容	件数
結婚前に死別したため	1
性的指向によって	1
目標優先	1

問20 こどもを持ちたいとは思わない理由は何ですか。（3つまで選択）

内容	件数
子どものことを考えて	5
自分自身生まれてよかったと感じたことがないので生まれてきた子供が可哀想・自分が辛い思いしてきたから子供に辛い思いさせるくらいなら産まない・持病を子供に遺伝させたくないため など	
結婚しない	2
結婚したくないから・結婚しない	
考えていない	2
まだ考えていない・そこまで考えたことが無いから	
生きることが大変	2
生きることが地獄・この世に生まれて生きていくのは辛いことだと考えている	
障害があるから	2
知的障害者のため・自身に障がいがある為考えられない	
自身のこと	2
自分以外の責任を持ちたくない・自分のことで精一杯	
その他	5
学生だから・ほしいと思わない・LGBTQで育児をするというイメージが湧かない など	

問21 理想のこどもの人数を持ってない（望めない）場合、その理由は何だと思えますか。（3つまで選択）

内容	件数
パートナーがいない・結婚していない	8
パートナーがいない・結婚してないから・別居中・離婚しているため	など
子どもが授からない	4
授からないため・不妊治療中・年齢的に	など
学生	3
学生・現在、学生なのでわからない・学生の為まだわからない	
その他	10
予定より超えた・自分が子供を望まないのわからない・もう男の人と関わりたくない・早めに子育てを終えたい・この質問に関しては全て必要	など

問22 結婚や出産を望む方が、より実現しやすい環境をつくるには、どのような支援があればよいと思えますか。（3つまで選択）

内容	件数
経済的支援について	19
子育てにかかる費用の削減（補助金ではなく無償または低額に）・育児への経済的支援・金銭面のサポート・国、府、市からの支援金	など
就労について	6
就労支援や賃金の引き上げ・妊娠中に働きやすい環境、妊娠出産があっても妊娠前と同じ額の給料をもらえる環境、パートでも正社員同様に有給等を使える環境	など
子育てについて	6
学童保育の拡大・妊娠出産に対するパートナーの理解・妊娠中体調が悪い人には特に支援が必要	など
税金について	4
減税・働き世代の税金が高すぎて、結婚・子供のことで及ばない	など
障害者支援について	2
障害児の支援の手厚さ・ADHDなど不注意が多い人が子育てをするときの支援	
その他	8
経済的ゆとりがない以上、どのような制度があっても困難・そう思わない方もいる。・この質問に関しては全て必要	など

問23 あなたは、今後、どのような地域の活動や行事に参加したいと思えますか。（あてはまる番号すべてを選択）

内容	件数
祭り・秋祭り・お祭りなど	4

内容	件数
バザー、スタンプラリー	1
社会運動	1
もっと富田林が観光化してほしい	1
動物愛護	1
テラスモール湘南の近くに住んでいた過去がありますが、そこやその付近で開催するような駅前のイベントは、他地域から引っ越してきた身でも参加しやすくなる。	1
環境関連（地球温暖化防止など）に関わること	1
畑仕事	1
まだわからない	1

問26 最後に、若者の育成や少子化対策等のテーマで必要と思う取組などについて、ご意見がありましたら自由にお書きください。

内容	件数
経済的負担の軽減、経済的支援	89
子供を持つことについて、経済的に苦しい家庭が多くあると思います。保育料無償化など、経済的支援を拡充していただければ、将来的には少子化対策にも繋がっていくと思います。	
子どもはもう1人産みたいけれどお金がありません。税金が高すぎる。老人への補助ばかり。助産師が話聞きますとか、相談とか窓口とか、いらないので、経済的なサポートがほしいです。お米クーポンみたいのもいいです。資産たっぷりある年金生活非課税世帯より、納税しすぎて貧乏な中間層助けてほしいです。	
保育所の0歳から2歳も保育料金が無料になって欲しいです。 妊娠初期の身体の変化やつわりなどで働けない時の金銭的な支援、職場の理解があればいいと思います。 母子手帳をもらう前の期間にも何らかの支援やサービス、マタニティグッズへの支援もあればいいなと思います。	
物価が次から次へと上がっており、生活が厳しくなる一方です。物価高に対する政策を求めます。	
結婚や出産の助成金の対象者を増やす。	
①奨学金制度を拡充する。（子供の教育ついて平等な世の中になってほしい。） ②新婚さんにずっと富田林市に住んでもらえるようなメリットを与える。	
賃上げや、住民税の引き上げ。子供を作れる環境を作っていただきたい	
社会保障制度、消費税 見直し 一択	
大阪市内のように、習い事支援などを通じて、地域の子どもたちが家庭や学校外でも平等に学べる環境を整えることが大切だと考えます。経済状況や家庭環境に関わらず、多様な経験や学びの機会を持つことは、子どもたちの将来の可能性を広げるために必要です。	
	など

内容	件数
行政への要望や施策	39
<p>隣の美原はららぼーとの誘致に成功したりしているが、富田林市にその気概を感じない。 大型施設が欲しいとは言わないが、もう少し未来志向な政策をして欲しい。 市税でPL花火を復活させて、観光客を呼ぶくらいの気概が欲しい。 近鉄沿線という立地で、富田林の駅の近くにも寺内町という観光地があるのに、人を集める気がないのか不思議です。もう少し頑張ってください。</p>	
<p>金剛付近の団地の多さが気になります。 少子高齢化が進んでるなか、あの数の団地がまだ必要なのでしょうか？ 団地に住む方々の住まいはもちろん大事ですが、建物の老朽化もありますので、必要な数に絞り、跡地を有効活用する方法も考えるではないかと思います。 金剛駅や大阪狭山市駅付近は緑や公園も多く、利便性も素晴らしい場所なので、子育て世代がどんどん集まるような街づくりを進めてほしいです。</p>	
<p>本当は働けるのに、働かずに生活保護などの手当をもらっている人がいたり、車をもっていたり…そのお金は税金のはず。働ける人が働きやすい環境、相談できる場所があるといいなと思うし、働けるのに手当をもらうのはおかしいと思うので、きちんと判断してほしいです。</p>	
<p>富田林市が今どういったことに取り組んでいるかをわかりやすく（SNSなどを積極的に活用して）提示すれば、若い方も市の魅力に気付くのではないかと思います。市の魅力に気付けば意見も出てくるかも。少子化対策や若者の育成をするには、若い世代が必要なはずなので、魅力的な商業施設を誘致したり、子供に対してこういう政策をしています！ということをもっと発信した方がいいかなと思います。確か富田林市の子供さんに対する政策はかなり充実していたように思えたので！</p>	
<p>市と民が直接、対話できる、ディスカッションできるような環境、機会を作って欲しい。</p>	
<p>富田林で育った子供たちが、帰ってきてここで暮らしたいと思えるような魅力ある街づくり。</p>	
<p>首長の判断で子育て施策を全面に打ち出した予算編成に取り組んでほしい。 具体的には子育てに関する以外の事業を廃止・縮小し、その財源を子育て施策へ回すなど。 市独自の子育て支援が充実すれば住み良いまちになると思う。</p>	
<p>親世代の不安がこれからより大きくなると思われる上、Z世代の影響で間違った知識が広まる可能性が高い。影響力も、市や県よりもSNSの方が持っている。それらを理解し、情報伝達媒体をしっかりと選定し、適当な対応を頂きたい。最低限判明していることは、これからの親世代は文字が読めない人間が増えるということだ。</p>	
<p>適切な情報が得られないことが多い。 行政で働いてる人たちは理解していることでも 市民は初めて知る情報も多いので 簡潔に説明するのではなく 相手が理解できるまで詳しく市民が知りたがっている情報を説明していく必要があると思います。</p>	など

内容	件数
遊び場や居場所	36
保育園や幼稚園は充実しているが、小学校の学童の利用条件が厳しいと思う。子育てと家事、仕事の両立のためパートで働いてる家庭は学童が利用できず、子どもの長期休暇のために転職や、働く条件変更を余儀なくされる。せめて長期休暇の利用可能など、改良してほしい。	
室内で子供が遊べる場所がほしい。河内長野のあいつくのような場所が理想。	
子供たちが集える場所が必要だと思います。小さい子に限らず、青年たちの集える場所も必要だと思います。	
日曜日に未就学児を連れて行ける場所がない	
勉強ができる場所を探しています。図書館で勉強ができないことに困っています。	
神戸のこべっこランドのような、子どもたちが遊び、学び、心身ともに健やかに育つための施設が必要だと考えます。その施設では、富田林高校や大阪芸術大学の学生達が地域に関わる活動を行い、若者から地域が活性化することが重要だと思います。	
子供が遊べる場所、親同士が交流できる場所をもっと増やして欲しい。	
もっと子供たちが自由に遊べる公園を増やして欲しい。最近はボール遊びができない公園も増えている。また、熱中症対策に公園のベンチの上に屋根などを設置して、日陰を増やして欲しい。せめて、ひとつの公園に1箇所は欲しい。子供たちは地域の宝ですので。	
図書館を河内長野みたいに綺麗に充実させてほしい	など

内容	件数
子育て支援	35
保育業界で仕事をしているが、仕事に対してやはり給料が低め。今後家庭をもって子育てしたいが、その後の生活を考えると共働きは必須だと感じてしまう。頼るところがなく大変そうにしているご家庭もよく見るので、子育てに関する支援が手厚ければ子育てしやすい地域によりなると思う。	
小学生の長期休暇だけなど単発で預かって貰える施設が欲しい。	
子育てをしているものとして、オムツ定期便にて子供用品の提供と見守りはすごく助かります。月齢の成長、発達に関するチラシも助かってます。また、つどいの広場がさまざまな場所にあることにより、ほかのママとの交流や、子供の遊び場になっており、とても助かっています。施設の方の方からよく話しかけてくださるのも、緊張せず行きやすく感じています。ありがとうございます。	
共働きが増えた今、送迎ができない理由で習い事させてあげられなかったり、パートでしか働けない人もいます。習い事送迎サービスのようなものがあればいいと考えてます。	
子育てなどに悩む方へのメンタルサポートを強化してほしいです。	
子育てについては世間的にネガティブなイメージが付きすぎている。二世帯同居が少ない今、核家族でも余裕を持って子育てできる環境が必須。	

内容	件数
子育て支援	35
市の育児ヘルパー事業について、オンラインで当日申し込みができるようにしてほしい。 ワンオペで急な病気になった時このサービスを利用しようと思ったが、体調の悪い中子連れで窓口まで行くことすら難しかった。また急だったからこそ、周りに頼れず利用しなかったのが、申し込みから利用までの期間を短くしてほしい。	
出産費用無償以前に物価高騰見直しや安心して妊娠出産子育てできる環境づくりをしてほしい など	

内容	件数
若者支援	21
若者を支援するのはもちろんですが、その親御さんも一緒に支援できる取り組みが大事になると 思います。	
すべての課題は少子化に結びつくと思います。子育て支援（働くママ、パパへの支援、金銭面も 含む）や、保育園、幼稚園のサポート、学生への支援（学習、食事、悩み相談）等、若者への支 援に焦点を当ててほしいです。	
若者の個別相談室の設立 少子化に対する意見の発信が出来る発表会	
若者の働き世代の税金が高すぎるため、まず結婚、子供のことまで考えられない。 働き世代から集めたお金での子供家庭への支援ばかりではなく、その働き世代への支援も行って 欲しい。	
若者に税金を使ってくれてる感覚がないです。 図書館行くほか分からない。 平日しか空いてない窓口等には仕事で行けません。健康的な現役世代からすると、税金を自分た ちに使ってくれている感覚がないので、富田林に住み続けたいといった考えはありません。	
市が積極的に若者に対して就労支援を行い、斡旋してほしい。	
若者が生きやすい環境の整備を積極的に進めてほしいです。	
学校を中退したり、就職に失敗した若者の再起を阻まない社会であって欲しいと思っています。 など	

内容	件数
学校・教育	19
欲しい人が、不安なく子供をつくることができるようになればいい、 子供の教育には、お金をかけるべき、給食は、お腹いっぱい食べれるようにする、重すぎる教科 書など廃止して、タブレットだけにする、学校の環境をよくする、など、子供が、全力で学んで 遊べて、食べられるような制度が必要	

内容	件数
学校・教育	19
若者の育成について、自ら考えて答えを導くことが出来るような教育が必要だと思ひます。また、デジタル化が進み、リアルでのコミュニケーションを取る機会が減り、コミュニケーションを上手く取ることが出来ない（他人の視点で物事を考えられない）人も増えていると思うので、社会に出て働いていく上で重要となる能力を伸ばすような取組みも大切だと思ひます。	
学生が過ごす学校現場の充実は必要だと思ひます。特別教室や体育館への冷房完備、給食内容の充実など子どもたちが学びやすい場を作っていたきたいです。	
税金の使い方を少し考えてください。外国人に手をさしのべるのではなく、自国民の教育に力を入れてください	
義務教育の中で、子どもを持ったときのメリット・デメリットを詳しく教える等、将来を見据えたカリキュラムが必要だと思ひます。	
若者の育成では、全体を伸ばすのではなく、興味のある内容や意欲のある子を伸ばす環境作りが大切だと思ひます。 学校での勉強が苦手な子ども、この事については詳しく学んでみたいなどあると思うので、学校の成績だけを重要視するのではなく、その子自身のやる気を伸ばせるよう育成すべきだと思ひます。	
学校の環境がよくない。トイレが古くて汚いのを子どもが怖がって1日我慢してしまったり、クーラーがついていない教室があって学習に支障をきたしたりしている。1日の活動のほとんどを過ごす学校の環境を整えることも若者の育成に必要なだと思ひます。子どもが安心・安全に過ごせる学校環境を早く整えてほしい。	など

内容	件数
保育所・幼稚園・認定こども園	15
最近、第四子を妊娠していることが分かりました。その立場から…の意見が強くなりますが、誰でも登園制度の仕組みを早く確立させてほしい。市のホームページで見ましたが時間数、受け入れ人数ともに少な過ぎて『登園』とはとても言えたものじゃないです。近くの公立幼稚園も入園出来る年齢になる頃には募集を停止してると思うので、お腹の中の子は就学前はどこに通うことになるのか？通えるところはあつるか？不安です。保育園に預けるほどの就労を考えていないので。	
保育料の無償化 保育園の入所受付枠の拡大 それに伴ってやはり保育士の確保が必要となると思ひます。質のいい保育士確保のための施策も必要であると思ひます。	
まだ子供はほしいけど…ってぐらいの気持ちです 保育園が少子化によって園児がなかなか入ってこないで閉鎖されてきているところもあるようで、仕事をしつつ子育てする、考えると保育園に入れたとしても場所が遠いと体力的、経済的にしんどいかなと思ひ、なかなか子供を作る気になれないです	

内容	件数
保育所・幼稚園・認定こども園	15
オムツ満2歳までの期間を増やしてほしい 休日保育の保育園を増やしてほしい 土日祝の世間の休日に働く家庭にもう少し働きやすい制度を 冷ややかな目で見ないで欲しい 病児保育の受付の時間を8時からにしてほしい	
核家族化で複数の子どもを育てるにはマンパワーが少ない家庭も多く、かといってファミリーサポートなどの訪問サービスなど他者との交流に抵抗を感じる人も多いように思う。そうすると孤立した育児になりやすく、複数の子どもを持ちたいと思いがなくなる。そのため就労に関わらずに預けられる保育園や幼稚園を拡充して育児の孤立化を防いで欲しい。また、保育園においても保育料は払っているのに仕事が休みでも快く預かってもらいたい。保育園側も先生の人数確保などに苦勞していると思うので、家庭協力日で子どもを休ませるときは日割りて保育料を返金するなどで両者ともにメリットがあるようにしてほしい。	など

内容	件数
イベント・交流	14
図書館にスタバなどカフェを併設したり、自習できるデスクを多く配置することで市民が集まる場となったり交流できる場所になると思う。 トピックは学生が多いイメージで社会人は行きづらい。 出会いがないのでパートナーと出会えるきっかけが欲しい	
少子化問題について叫ばれていますが、それ以前に、人と関わる場がインターネットへ移行したことが問題だと思います。私は運良くパートナーと出会いましたが、そうでなければ結婚して子供は授からなかったと思います。人付き合いは、一度会って話した程度では相性が分かりません。加えて相性が良かったとしても、自分も相手も変わっていくので、人付き合いのトラブルが起きたりします。昔はご近所付き合いや、学校活動などで、人付き合いの訓練が自然と行われていたと思うのですが、それが最近では人間関係に潔癖な人が増えたことで、全体的に疎遠になっているような気がします。それによって結婚が遠のき、出産も遠のいているのではないのでしょうか。SNSで問題を起こすのは、若者もいるかも知れませんが、対面での人間関係構築しか経験していない中年の方も多いと思います。SNSでの交流と、実際の交流は別物ですので、実際の交流の場へ前向きに参加できる流れになるといいな。など思うだけ思っています。 長々と失礼しました。	
婚活イベントの開催などをお願いしたい	
中高生時代にきらめき創造館 topic をかなり活用させていただいた経験から、topic のような家にあまりいられない子どもの救いとなるような交流の場・勉強の場は、施策として非常に優秀だと思います。今後 topic を活用した世代が次の親世代になると思うので、topic の会議室などを活用して出産・育児の交流の場を設けても良いと思いました。	など

内容	件数
防犯・防災・交通安全対策	8
外国人移住者が多すぎると思います。今は4人に1人が外国人だと聞いていますが、ほとんどの方は真面目に過ごされていると思います。多様性や外国の方への支援は大事だと思いますが、外国人の不審者も出ていますし、自分の子供が安心して過ごせる環境作りを希望します。	
若者も含め治安が悪いので、子供を産み育てるなら別の市に住む。 若者の育成や少子化対策の前に育てる大人が富田林市を選ばない。 ノーヘルで原付に乗る者、深夜に爆音を立てながら暴走する者、 信号無視のロードバイク通勤者、何も取り締まりされていない。 各町村の秋祭りに行われるだんじり祭り期間前後は特にひどくなる。 だんじり祭り自体もコロナ自粛あけの再開で気が緩んだのか 公道で銀テープのクラッカーを使用し、信号機（自動車用）に 銀テープが絡まったまま翌朝まで放置、完全除去には数日掛かっていた、 かんしゃく玉を公道にばらまく等も続いている。 街灯の増設や防犯カメラの設置を増やす等も必要ではないでしょうか。	
自転車や車の交通ルールの認識をもっと高めて、子供を外で遊ばせても安心できるような街作り ノールックで一時停止の交差点とか突っ切って来る子供自転車とか多すぎ富田林市	
自転車のマナー講座を小学校等で行ってもいいと思います。猛スピードで歩道を走り、歩行者にベルを鳴らして避けさせるなどの危険運転をよく見かけます。歩行者優先であることなど、マナーを知るべきがないからかと考えます。自転車に乗っている子供自身や歩行者を守るためにも自転車運転のマナーを知る機会が必要かと思います。	など

内容	件数
産業・商業	8
子を持つ親としての意見になるため少子化対策のテーマでの意見とさせていただきます。 まず、富田林市では出産や子育て支援策には注力いただき大変感謝しております。 おかげさまで同世代の子の親御さんと交流する機会にも恵まれて孤独を感じることはありません。いつもありがとうございます。 また高齢になる大先輩方についても、大らかな気持ちに余裕のあるように見受けられる方も多く子育てを見守っていただいている気持ちになりますので、ぜひ高齢者への施策にもバランスよくご注力いただけると幸いです。 ここからはより良い改善を求めての意見です。 私は運良く在宅勤務が可能な職種のため、東京本社の高い給与レートが適用されており問題ありませんが、周りの同級生からは関東や都市部からのUターンをすると給与ダウンになってしまうため、子育ての環境こそ良いとなれど収入面で不安が残るため帰ってこれないという嘆きをよく耳にします。 子育て環境は比較的高い水準にある中で、保護者となる生産年齢人口となる方が高所得のまま富田林に根を下ろせるように優良企業の誘致等にも一石投じていただけますでしょうか。	

内容	件数
産業・商業	8
<p>交際費すら節約しなければならない、生活する上で少しの贅沢も許されないほどの経済状況の時代なので、将来に繋がるような機会を設けていただいても、お金が無いことで何事も余裕がなく、気力もなく、幸福度も低いままかと思います。</p> <p>全体の経済力アップに越したことはありませんが、せめて、お金を稼ぐ力が低い方々の雇用の機会を増やしていただければと思います。</p> <p>アンケート回答の機会を設けていただき有難うございました。</p>	
<p>銭湯やサウナのような施設があるといいと思います。</p>	
<p>若い人が住んでいて誇りが持てる自治体かどうかが大 通勤・通学の利便性の向上、ショッピングモールの誘致、学力向上の支援など</p> <p style="text-align: right;">など</p>	

内容	件数
道路・公共交通	5
<p>自由がない。交通も不便である。</p> <p>出かけようと思わないから出会いもなくて付き合う人もできづらい。</p>	
<p>事故防止のため自転車専用レーンを作って欲しい。</p>	
<p>近鉄バスの本数が少ない、電車との接続が悪いなど交通の便があまり良くない。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	

内容	件数
障がいのある子どもへの支援	4
<p>障害児が18歳になった後の支援（高校卒業後）を手厚くしてほしいです。障害者が就労につける手厚い支援をもっと増やしてほしいです。</p> <p>富田林市民の子供やその親などが、無料で利用できる施設などの充実。</p>	
<p>発達障害の子供が年々、増えているのは結構前から言われています。より障がいの重い子を優先して、軽い子は普通級に。と、ならないようにしてほしいです。軽い=支援不要、ではありません。むしろ軽い子は見た目からわかりづらいので、誤解されることも多く、サポートが必要です。発達障害の子供が増えたから、入れる人数を減らすのでは無く、受け皿を是非、増やしていただきたい。これから、もっと増えると思います。そういった場所の拡大、人材の育成に力を入れてほしいです。今のままでおさまろうとしないでほしいです。ちょっとのサポートで学校に行ける子もいるのです。どんな子も学校に通える、そんな環境作りに力を入れていただきたいです。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	

内容	件数
その他	17
富田林市最高やと思って住んでいます！！	
将来についてしっかり考えるためにいろんな体験をしたかった	
<p>今後戦争になるなら産むだけ可哀想。 犠牲になる子ども、若者は少ない方がいい。 若者が戦争に巻き込まれずに済むような取り組みがなにより必要だと思う。</p>	
誰もが悩まず学校に行けて大人になったら就職も出来て精神的にも身体的にも負担の少ない社会になれば、いいと思います。	
子どもを食べ物にする大人にはならなければいい	
<p>特に案は無いですが、住みやすいところだと思っています。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	

IV 調査票

富田林市こども計画策定のための
若者対象 WEB アンケート調査
ご協力のおねがい



富田林市では「富田林市こども計画」の策定をめざしています。

この調査は、7月1日時点で 18 歳～39 歳の市民(無作為抽出)を対象に、みなさまの声を幅広くお聴きし、その声を計画に反映するための重要な資料となります。

ご多忙のこととは存じますが、ご理解の上、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

※このアンケートは本調査の目的以外に使用することはありません。
※無記名回答のため、個人が特定されることはありません。
※ご本人の回答が難しい場合は、保護者や家族の方が代わりにご回答ください。

アンケートの回答先



二次元コードまたは URL からご回答
ください

URL:
<https://smilesurvey.co/s/bc1b605a/o>

回答期限は令和 7 年 8 月 15 日(金)まで



紙での回答をご希望の方は、【お問合せ】まで
ご連絡ください。(ふりがなつき用紙あり)

お問合せ

富田林市 こども未来部 こども政策課 政策係
Tel:0721-25-1000(内線 202)
Mail:k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp

富田林市 若者の生活や意識に関する アンケート調査（18～39 歳対象）

皆様におかれましては、日頃から富田林市の行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

富田林市では、子どもや若者がいきいきと自分らしく暮らせる社会の実現に向け、令和7年度中に「富田林市子ども計画」の策定を予定しています。

そこで、富田林市内に住む「若者世代（18～39 歳までの方）」（無作為抽出）を対象とし、アンケート調査により、みなさまの現状やご意見を幅広くお聞きし、計画に反映したいと考えています。

ご多忙のこととは存じますが、少しだけお時間をいただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※目安時間：5～10 分程度

令和7年7月

富田林市

<ご回答にあたってのお願い>

①アンケートは、あて名のご本人のことについてお答えください。ご本人の回答が難しい場合は、保護者や家族の方が代わりにご回答ください。

②この調査は無記名で行います。お名前をご入力いただく必要はありません。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。できるだけありのままをご回答ください。

③アンケートは全部で 26 問あります。ご回答は、あてはまる選択肢をお選びいただく場合と、枠内に数字等をご入力いただく場合があります。また、「その他」をお選びいただいた場合は、表示される枠内に具体的な内容をご入力ください。

④このアンケートは8月15日（金）までにご回答ください。

★アンケート用紙（ふりがなあり）が必要な方は、下記へお問い合わせください。

=====

★設問の中には、個人の意識やプライベートに係るものもあります。

答えたくない設問については、未回答のまま進んでください。

=====

<調査に関するお問い合わせ>

富田林市 子ども未来部 子ども政策課 政策係

電話：0721-25-1000（内線202）

FAX：0721-24-8976

メール：k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp

1. あなたのことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)

1 男性	2 女性
3 どちらともいえない、わからない、答えたくない など	

問2 あなたの年齢（令和7年7月1日時点）をお答えください。(1つを選択)

1 18～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳
4 30～34歳	5 35～39歳	

問3 あなたのお住まいの小学校区をお答えください。(1つを選択)

1 富田林小学校区	2 新堂小学校区	3 喜志小学校区	4 大伴小学校区
5 彼方小学校区	6 錦郡小学校区	7 川西小学校区	8 東条小学校区
9 高辺台小学校区	10 久野喜台小学校区	11 寺池台小学校区	12 伏山台小学校区
13 喜志西小学校区	14 藤沢台小学校区	15 小金台小学校区	16 向陽台小学校区
17 小学校区がわからない ()			

※「17 小学校区がわからない」を選んだ方は表示される枠内に町名などを記入してください。(例) 平町、喜志町など

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。(あてはまる番号すべてを選択)

1 父	2 母	3 きょうだい	4 祖父母
5 あなたの配偶者・パートナー	6 あなたの子ども	7 その他親族	
8 その他（シェアハウスをしている人など）()			
9 同居している人はいない（ひとり暮らし）			

※パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓書をお持ちの方や、婚姻の届出をしていないが事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

問5 あなたの現在について、あてはまるものをお答えください。(1つを選択)

1 学生・生徒（予備校生などを含む）	2 パート・アルバイト
3 派遣社員	4 契約社員・嘱託
5 正社員・職員・従業員	6 会社などの役員
7 自営業・自由業	8 専業主婦・主夫
9 無職	10 その他 ()

3. 仕事・経済面について

問12 あなたは、自身の収入で生活していますか。(1つを選択)

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

(1) 問12で「2 していない」を選んだ場合、その理由について最もあてはまる番号1つを選択してください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 希望職につくための準備中である(就活中、職業訓練、資格取得など) |
| 2 就職を希望しているが就職先が見つからない |
| 3 働いているが収入が少ない |
| 4 家族やパートナーの収入で生活できる |
| 5 病気やケガ、心身の障がいなどにより就労が難しい |
| 6 働きたくない |
| 7 その他() |

問13 あなたは現在の経済状況をどのように感じていますか。(1つを選択)

- | | | |
|---------|--------|--------------|
| 1 豊か | 2 やや豊か | 3 豊かでも苦しくもない |
| 4 やや苦しい | 5 苦しい | |

※普段の生活費等(仕送りや家族の収入も含む)をもとに、お答えください。

問14 あなたは現在、希望していた仕事や働き方ができていますか。

(1つを選択)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない(学生の方など) | |

問15 仕事や経済面で必要だと思う支援は何ですか。(3つまで選択)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 就労支援(相談や紹介) | 2 労働条件改善の推進(賃金の引上げ等) |
| 3 正規雇用の拡大 | 4 奨学金制度の見直し |
| 5 子育てや介護と両立しやすい職場づくり | 6 職業訓練・資格取得等のスキルアップ支援 |
| 7 保育・介護環境の充実 | 8 主婦・主夫へのサポート(家事支援など) |
| 9 企業誘致や起業支援など地域経済の活性化 | 10 その他() |
| 11 特にない | |

4. 結婚・出産について

問16 あなたは結婚していますか。現在の状況をお答えください。(1つを選択)

- 1 結婚している
- 2 結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚または死別した)
- 3 結婚したことがない

問17 現在結婚していない方(問16で「2」または「3」を選んだ方)におうかがいします。

あなたは将来、結婚したいと思いますか。(1つを選択)

- 1 結婚したい
- 2 どちらかといえば結婚したい
- 3 どちらかといえば結婚したくない
- 4 結婚したくない
- 5 わからない・考えたことがない

(1) 将来結婚したい方(問17で「1」または「2」を選んだ方)におうかがいします。

あなたは、自分が何歳くらいの時に結婚したいですか。(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 2 20～24歳 | 3 25～29歳 |
| 4 30～34歳 | 5 35～39歳 | 6 40～44歳 |
| 7 45～49歳 | 8 50～59歳 | 9 60歳以上 |

(2) 将来結婚したい方(問17で「1」または「2」を選んだ方)におうかがいします。

現在、結婚していない理由は何ですか。(3つまで選択)

- 1 結婚するにはまだ若すぎる
- 2 結婚する必要性をまだ感じない
- 3 今は仕事(学業)に打ち込みたい
- 4 自由さや気楽さを失いたくない(時間やお金、趣味などの面を含む)
- 5 よい相手にめぐり会わない・めぐり会う機会がない
- 6 経済的な余裕がない
- 7 パートナーが結婚に前向きでない
- 8 近いうちに結婚する予定
- 9 その他()
- 10 特に理由はない

(3) 問 17 で「3 どちらかといえば結婚したくない」「4 結婚したくない」を選んだ方におうかがいします。

結婚したくない理由は何ですか。(3つまで選択)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1 結婚する必要性を感じない | 2 結婚しなくてもパートナーがいればよい |
| 3 仕事(学業)に打ち込みたい | |
| 4 自由さや気楽さを失いたくない(時間やお金、趣味などの面を含む) | |
| 5 現在の家族との生活を続けたい | 6 経済的な余裕がない |
| 7 家族に対する責任を負担に感じる | 8 こどもが欲しくない |
| 9 人とうまく付き合えない | 10 その他() |
| 11 特に理由はない | |

問18 あなたは、現在何人のこどもがいらっしゃいますか。(1つを選択)

- | | | | |
|-----------|------|------|------|
| 1 こどもはいない | 2 1人 | 3 2人 | 4 3人 |
| 5 4人以上 | | | |

問19 理想として、あなたが持ちたいこどもの人数は何人ですか(現在のこどもの人数を含めます)。(1つを選択)

- | | | |
|------------------|--------|------|
| 1 こどもを持ちたいとは思わない | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人以上 | |

問20 問 19 で「1 こどもを持ちたいとは思わない」を選んだ方におうかがいします。

こどもを持ちたいとは思わない理由は何ですか。(3つまで選択)

- | |
|------------------------------------|
| 1 子育てや教育にお金がかかる |
| 2 仕事と子育ての両立が難しい |
| 3 自分やパートナーの就職が不安定 |
| 4 健康上、妊娠・出産が困難 |
| 5 妊娠・出産や子育てに自信がない・負担を感じる |
| 6 家事や子育ての協力者がいない(ワンオペの不安) |
| 7 自分やパートナーとの自由な時間が減る |
| 8 こどもが好きではない |
| 9 パートナーが望まない |
| 10 地域の子育て支援等が、こどもを生み育てやすい体制や環境ではない |
| 11 その他() |

5. 地域・まちづくり・行政等について

問23 あなたは、今後、どのような地域の活動や行事に参加したいと思いますか。

(あてはまる番号すべてを選択)

- 1 こども・子育て支援に関すること (こども会など学校以外のこと)
- 2 学校に関わること
- 3 スポーツや健康、文化活動に関わること
- 4 高齢者・障がい者・障がい児支援等の福祉に関すること
- 5 防犯・防災に関わること
- 6 清掃や緑化に関わること
- 7 地域全体の活動に関わること (町内会等)
- 8 近所の人との付き合いや交流を深めること
- 9 その他の活動や行事 ()
- 10 地域活動等への参加やご近所付き合いはひかえたい

問24 こども・若者を対象とした支援機関等について、知っているものを選んでください。(あてはまる番号すべてを選択)

- 1 こころの健康総合センター
- 2 ひきこもり地域支援センター
- 3 発達障がい者支援センター
- 4 若者お悩み相談窓口 (Topic 内)
- 5 大阪府子ども家庭センター・福祉事務所などの児童福祉機関
- 6 教育支援センター (適応指導教室)
- 7 就労支援センターや若者サポートステーション、ハローワーク (河内長野市) などの就労支援機関
- 8 児童館
- 9 フリースクール (フリースペース)
- 10 富田林市きらめき創造館 Topic
- 11 富田林市若者会議
- 12 その他民間の機関
- 13 どれも知らない

**問25 あなたは、これからの若者のために、富田林市で今後充実すべき取組は何だと思
いますか。(3つまで選択)**

- 1 出産・子育てに関する支援
- 2 生活に関する支援
- 3 多様な学び(学校以外も含む)の場
- 4 就労に関する支援
- 5 自由に過ごせる居場所
- 6 困難を抱える子ども・若者への支援
- 7 行政やまちづくり、地域活動に参加・意見を反映できる機会
- 8 夢の実現やチャレンジを応援する環境づくり・支援
- 9 同世代(または多世代)との交流機会
- 10 行政情報やまちの魅力に関する多様な情報発信
- 11 特になし

**問26 最後に、若者の育成や少子化対策等のテーマで必要と思う取組などについて、ご
意見がありましたら自由にお書きください。**

質問は以上です。ありがとうございました。
最後に送信ボタンを押してください。

富田林市 若者の生活や意識に関する
アンケート調査
結果報告書

発行：富田林市こども未来部こども政策課
富田林市常盤町1番1号 市役所4階
TEL：0721-25-1000（内線291）
FAX：0721-24-8976

発行年月：令和7年10月